

30年のあゆみ

八尾市体育連盟





はじめに

昭和60年、八尾市体育連盟結成30周年を迎えることができましたことは、まことに喜ばしいことであり、共に祝い合いたいと思います。

戦後、その日を生きるに精一杯で、スポーツに親しむ余裕すらなく、又、スポーツに枯渇していた時代から、互いに力を合わせながら立ち上がり、少しの時間や場所を見つけてスポーツやレクリエーションに親しむ様になり、やがて、今日の隆盛を迎えるに至ったのは、並々ならぬ先人の努力や苦勞の賜であります。

八尾市体育連盟も昭和30年に発足して以来、歴代の会長を中心に、スポーツレクリエーションを熱愛する多くの人々の献身的な努力によって着実にその基礎を固め、今日では26協会の参加を見るに至ったのであります。その間、文部大臣より、社会教育優良団体として表彰を受ける他各協会においても輝かしい足跡を残してまいりました。

これひとえに、市当局をはじめ関係各位のご理解、ご尽力の賜と感謝するとともに、この30周年を一つの区切りとして八尾市体育連盟の益々の発展と、市民スポーツの振興の為に最善の努力をいたすことを誓うものであります。

ここに30周年のあゆみをまとめ、年史とし、八尾市体育連盟加盟の各協会の歴史や記録を振りかえりながら明日からの飛躍になればと念じております。どうか皆様方の旧倍のご指導とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

昭和60年11月

目 次

はじめに・目次	
連盟旗・八尾市歌	
発刊の辞 八尾市体育連盟会長	大澤 秀 壽…………… 1
祝 辞 八尾市長	山 脇 悦 司…………… 2
八尾市議会議長	東 口 晃 治…………… 3
八尾市教育長	西 崎 宏…………… 4
八尾市体育連盟第2代会長	植 松 鉦 吉…………… 5
八尾市体育連盟規約……………	6
八尾市体育連盟組織図……………	9
八尾市体育連盟歴代役員一覧表……………	10
八尾市体育連盟あゆみ……………	20
八尾市体育連盟被表彰者名簿……………	24
八尾市体育連盟加盟団体紹介	
八尾市 弓 道 協会……………27	八尾市 相 撲 協会…………… 74
〃 柔 道 〃 ……31	〃 バスケット 〃 …… 76
〃 連 合 青 年 会……………35	〃 空 手 ^{ボール} 道 〃 …… 79
〃 ソフトボール 協会……………37	〃 バレーボール 〃 …… 83
〃 卓 球 〃 ……41	〃 体 操 〃 …… 87
〃 軟 式 庭 球 〃 ……45	〃 サ ッ カ ー 〃 …… 91
〃 軟 式 野 球 〃 ……48	〃 ハンドボール 〃 …… 95
〃 陸 上 競 技 〃 ……52	〃 ローンテニス 〃 …… 97
〃 剣 道 〃 ……56	〃 拳 法 〃 …… 99
〃 サイクリング 〃 ……60	〃 バドミントン 〃 ……102
〃 野 外 活 動 〃 ……64	〃 合 気 道 〃 ……105
〃 民 踊 〃 ……68	〃 ラグビー 〃 ……109
〃 スカウト 〃 ……70	フットボール
大阪府総合体育大会成績一覧表……………	113
広告協賛団体……………	116
八尾市体育連盟結成30周年記念事業の経過……………	154
あとがき……………	156



八尾市体育連盟

八尾市歌

一、

山河明るき河内野に
 勤勞の腕 高鳴りて
 世界の空へ隈もなく
 産業八尾市 猛り飛ぶ

二、

真理を究め 美はかおる
 ああ麗しき 曙の
 天地清明に照らすもの
 文化の八尾市 彌光る

三、

豊栄のぼる陽の如く
 自治の理想へ血は燃えて
 こころは愛に睦び合う
 民主の八尾市 勇み立つ

ごあいさつ

八尾市体育連盟 会長 大澤 秀壽



八尾市体育連盟創立30周年にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。
 振り返ってみますと、昭和23年八尾市制誕生と同時に卓球、軟式庭球、軟式野球の各団体が中心となって、八尾市体育同好会が結成され、八尾市のスポーツ活動は種目間の連係のもとに、地域活動を通じて体育の向上と振興が広く市民に呼びかけられるようになりました。そして、昭和30年に至り、卓球、軟式庭球、軟式野球、陸上競技、弓道、

柔道、青年会、ソフトボール、中学校体育連盟の9団体を中心に八尾市の体育関係者が協力し、八尾市体育同好会を発展解消し、新たに八尾市体育連盟を発足させ、今日まで市民の体育振興の中心として活躍してまいったのであります。

発足以来、連盟は市の主催する市民体育大会、各種スポーツ大会・教室に協力し、これらの諸行事には毎年多数の市民の参加を頂き盛大に実施してまいりました。また、昭和42年には市立体育館、昭和49年には(財)八尾体育振興会による格技を中心とした八尾体育会館の建設に協力するなど、市の実施するスポーツに関する諸施策に対し、連盟は常に協力を惜しまず市民生活の中に体育スポーツの定着をはかってまいったのであります。

その間、発足と同時に社会教育優良団体として文部大臣より表彰を受け、また毎年行われる大阪府総合体育大会において上位入賞するなど輝かしい足跡を残してまいりました。

30年前9団体で発足いたしました連盟は現在では、26協会、会員数1万6千名を数える組織に育てていただきました。このことは、市当局の絶大なるご指導、ご援助と共に市民各位の温かいご理解とご協力の賜と存じ、心から御礼を申し上げる次第であります。同時に先輩の皆様、連盟役員並びに会員の皆様の並々ならぬご尽力ご努力に対し深く感謝申し上げます。

この30周年を機会に八尾市体育連盟としての目的とその役割を再確認し、連盟の発展に邁進努力し、スポーツ活動を広く市民の間に浸透させてゆかねばなりません。

関係各位には今後も何かとご面倒をおかけすることと存じますが、どうぞよろしくご指導、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

30周年に寄せて

八尾市長 山脇 悦司



八尾市体育連盟の結成30周年を心からおよろこび申し上げます。
市内の各競技団体が、スポーツの振興・普及はもとより、広く市民の体力向上と健康増進を目ざして、そのエネルギーと英知を連盟に結集されてより、早や30年の歳月が過ぎ行きましたが、その歴史は、そのままに、本市体育の興隆にかけた先人のあゆみの記録であり、努力の果積と言わなければなりません。

とりわけ、加盟26団体、会員数1万6千有余を擁する確固たる組織として数々の成果を収め、所期の目的達成に着々と邁進されるはもちろん、スポーツを通じたコミュニティの醸成、心身ともに健やかな青少年の育成、心豊かな人間づくりといった今日の課題に取り組まれ、市勢伸展に大きく貢献いただいておりますが、役員並びに会員各位の熱意と不断の努力に対し、深く敬意と誠意を表する次第です。

体育は心身を鍛錬し明朗健全な人間を作ると言われ、また、近年人々の意識・觀念が、「ものからこころへ。経済的豊かさから精神的豊かさの追求へ」と変化してきており、さらには、スポーツの生活化ということも言われております。

本市においては、このような状況を踏まえ、市民テニスコートや多目的に利用できる運動広場の建設、学校開放等、社会体育の場づくり、条件整備を行う一方、人と人の心かようまちづくり、いこいとうるおいに満ちた市民都市の創造に努めてまいりました。

今後においても、八尾のまちを活力と個性あるすばらしい郷土にし、21世紀を担う人々に引き継ぐためにも、スポーツ・体育の浸透・普及はもとより、文化・コミュニティの振興・緑化推進といった施策を重点的に展開したいと考えております。

八尾市体育連盟におかれても、記念すべき30周年を契機にスポーツの一層の普及、水準向上に尽くされるとともに、市政各般に変らぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、お祝いのごことばといたします。

結成30周年を祝して

八尾市議会議長 東口 晃治



このたび、八尾市体育連盟が、結成30周年という記念すべき年を迎えられましたことを心からお喜びし、お祝い申し上げます。

顧りみますと、八尾市体育連盟は、市制施行と同時に発足されました八尾市体育同好会を発展的解消して、昭和30年に結成されたのでありまして、以来幾多の試練を乗り越えてさまざまな活動を繰り広げられながら、ここにめでたく30周年を迎えられたのであります。

この間、連盟に加盟される協会は、年々増加の一途をたどり、今日では26協会、1万6000人を数え、まさに本市における市民スポーツの中核となる組織、陣容を築き上げられ、各協会におかれましては、府下大会や全国大会にも数多く出場して、輝かしい成績をおさめられたのであります。

一方では、広く市民がスポーツに親しめるよう、その環境づくりに努められるなど、体育の向上と振興に果たされた役割は、まことに大なるものがあります。

これもひとえに、歴代会長をはじめ多くの役員の方々の寝食を忘れたご尽力とご苦勞の賜ものでありまして、ここに衷心から敬意を表する次第でございます。

ご承知のように、今日のスポーツは、お互いの技を競うということはもちろんであります。が、トリム運動といわれるようにスポーツによる健康増進、余暇の健全な活用、青少年の健全な育成、さらには地域社会におけるコミュニティの場としての重要な側面をもっています。

それだけに、市民の多種多様なスポーツニーズに応じていくことが必要でありますし、そのための体育施設の整備はもとより、市民の皆様が気軽にスポーツに親しみ、楽しんでいただける場が特に求められているときと存じます。

したがって、私達市議会といたしましても、その必要な条件整備に精一杯努力を重ねてまいり所存でございます。

どうか、八尾市体育連盟におかれましてはこの30周年を契機とされまして、各協会のそれぞれの力を相寄せられ、スポーツの技術の向上はもとより、より多くの市民の方が参加でき、スポーツを楽しめるよう、なお一層のご尽力を賜りますよう念願する次第でございます。

終りに、八尾市体育連盟及び加盟各協会のますますの飛躍、発展と関係各位のご健勝をお祈り申し上げまして、簡単ではありますが、お祝の言葉といたします。

祝 辞

八尾市教育委員会 教育長 西崎 宏



八尾市体育連盟が、発足30周年を迎えられ記念誌を発行されますことを心からお祝い申し上げます。

八尾市体育連盟におかれましては、昭和30年に八尾市体育同好会を改組され、新たな発足をされて以来30年間、本市スポーツの普及と振興につとめられ、今日のめざましい発展充実に導かれてこられたところ

であります。このことは、ひとえに歴代の会長さんをはじめ、役員方ならびに会員みなさま方の、多年に亘るご熱意とご尽力の賜ものであり、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

申すまでもなく、貴連盟の活動は、全てボランティアの精神によって展開されているところであり、この精神に徹したみなさまの献身的なご努力によりまして、年々立派で多彩な事業が展開され、その成果は広く市民の体位・体力の向上とスポーツ愛好者の拡がりに大きく貢献し、その功績はまことに多大なものがございます。青少年の健全育成をはじめ、明るい家庭、活力のある社会を築きあげるためには、ひとりひとりの健康と、なにごとにも負けないたくましい心と体力が不可欠であります。

そのためには、スポーツ・レクリエーション等体力づくり運動の果たす役割がますます重要となり、また市民の強いニーズとして現われてまいっております。

本市といたしましてもこれらに対応するため、市の重点施策として市民スポーツ活動の普及・振興に努めているところでありますが、生涯にわたる学習の一つとしてのスポーツ活動といった面からの取組みをすすめるうえからも、スポーツ施設の整備をはじめとする社会体育活動のより一層の充実にみなさまのご協力を得ながら推進してまいりたいと考えております。

八尾市体育連盟の結成30周年の記念すべき年にあたり、これを契機とされ貴連盟がますます充実発展されますようご期待申し上げ、お祝いのことばといたします。

お祝いの言葉

八尾市体育連盟第2代会長 植松 鉦吉



八尾市体育連盟の創立30周年に当り、元体育連盟会長として、この30年を顧み、お祝いの言葉を述べる機会を与えられましたことは私の望外の喜びとするところであります。

昭和30年代の始め頃、八尾市体育連盟は大阪府知事表彰を受けることになり、私は藤沢先生の後を継いで体育連盟会長の役をお引き受けすることになりました。

当時、私は帝国製糸株式会社に勤めて居りましたが、会社には野球場や、テニスコートの設備があって、従業員のスポーツに対する関心も高く、市民の方々にも運動場が開放されて居りました。消防署の前で長瀬川沿いの1万6千平方メートルの空き地でしたが、消防出初め式にもよく使われた所で、今は姿を変えてしまいました。ここで野球をしたり、テニスをした当時は懐かしく覚えて居られる方々も大勢居られることと思えます。私も体育連盟に関係したお陰で、市役所の体育担当の岡本さん、かもしやの伊藤さん、スポーツ店のご主人池田さん達と一緒に、神奈川県体の入場パレードに参加することが出来て、大変感激したことは今でも私の記憶に新しく残って居ります。八尾高校の女子がソフトボールで優勝したのも、たしかその時でした。

その当時は体育連盟の組織は未だ確立されて居らず、体育指導委員の制度も定められたばかりで、特に申し上げられる様な活動もせずじまいに過ごしてしまった様に思われ、慙愧に耐えませんが、幸いにも後を引き継がれた方々のご努力により体育連盟の組織は大いに充実され、今日の隆盛を見るに至ったわけで、それらの方々に対し深甚なる敬意を表する次第であります。市政だよりのスポーツ案内に報じられる各種行事は、明るい八尾市の建設に大きく貢献していることは疑う余地なき所であり、今日の如くプロ・アマの区別判然とせざるスポーツ界に於ては、市民スポーツこそ真のアマチュアスポーツであり、フェアプレーの精神が培われる道場でもあります。この意味に於て、市民スポーツに関係されているリーダーの方々への責任は、重大でありまして誠に苦勞なことではありますが、どうか奉仕のお気持ちで、ご指導をお続け下さいますことをお願いして、八尾市体育連盟30周年のお祝いの言葉に代えます。

八尾市体育連盟規約

(名称および事務局)

第1条 本連盟は八尾市体育連盟と称し、事務局を八尾市教育委員会事務局社会教育部体育青少年課に置く。

(目的)

第2条 本連盟は体育、スポーツを振興して、市民の体力向上とスポーツ精神の啓蒙に努め、健康で楽しい市民生活と平和な社会建設に努め、相互の親睦をはかることを目的とする。

(事業)

第3条 本連盟は前条の目的を達成するため、つぎの事業を行う。

- (1) 体育、スポーツの指導奨励とアマチュア精神の確立
- (2) 体育大会、講習会等、体育、スポーツに関する各種行事の実施および協力
- (3) 体育関係諸団体行事の連絡調整
- (4) 体育、スポーツに関する調査研究
- (5) 体育、スポーツ関係功労者の表彰
- (6) その他、本連盟の目的を達成するために必要な事業

(組織)

第4条 本連盟は本市におけるアマチュア・スポーツを各種目別に統轄する体育、スポーツ団体をもって組織する。

第5条 前条の団体(以下「加盟団体」という)になろうとする団体は、団体の規約、役員等の名簿、事務所等を記して、加盟申し込みをし、理事会の承認を経て加盟することができる。

2. 加盟団体は、団体の規約改正、役員改選などについては、そのつど会長に報告すること。

第6条 加盟団体が脱退しようとするときは、その理由を付して脱退届を提出し、理事会の承認を受けなければならない。

2. 加盟団体は第4条に掲げる資格を失ったとき、又は、本連盟の加盟団体として不適当と認めるときには理事会の議決を経て、これを脱退させる。

(役員とその職務)

第7条 本連盟につきの役員を置く。

- | | |
|----------|-----|
| (1) 会長 | 1名 |
| (2) 副会長 | 若干名 |
| (3) 理事長 | 1名 |
| (4) 副理事長 | 1名 |

- | | |
|--------|-----|
| (5) 理事 | 若干名 |
| (6) 会計 | 1名 |
| (7) 監事 | 2名 |

2. 前項に定めた者のほか、必要あるときは、名誉会長を置くことができる。

第8条 会長は理事会の推挙によって決定する。

2. 会長は本連盟を代表し、会務を統轄する。又、会議の議長となる。

第9条 副会長は理事会の推せんにより会長がこれを委嘱する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。

第10条 理事長、副理事長は、理事会において理事の互選で定める。

2. 理事長は会長の命を受けて本連盟の会務を執行する。

3. 副理事長は理事長を補佐し、理事長事故あるときは、その職務を代行する。

第11条 加盟団体は加盟団体ごとに1名ずつの代表者を選出し、本連盟の理事となる。

2. 理事が会長、副会長、理事長、副理事長、会計、監事に選出されたときは、その理事の選出団体はこれに代る理事を選出する。

3. 理事は前2項の規定により選出された者について会長がこれを委嘱する。

4. 会長は、前項のほか、理事会の議決により、本連盟に関係ある学識経験者から理事を委嘱することができる。

第12条 会計、監事は理事会の議決に基づき、会長がこれを委嘱する。

2. 会計は本連盟の会計業務を行う

3. 監事は本連盟の会計業務および財産状況を監査する。

第13条 本連盟に顧問および参与を若干名置くことができる。

2. 顧問 参与は会長がこれを委嘱する。

3. 顧問 参与は会長および理事会の諮問に応ずる。

第14条 役員任期は2年とする。ただし再任を妨げない。

2. 理事に欠員が生じたときは、当該加盟団体より補欠理事を選出する。

3. 補欠ならびに増員による役員任期は、他の役員残任期間とする。

4. 役員は、任期満了後も後任者が就任するまでその職務を行う。

(会議)

第15条 本連盟はつぎの会議をもち、いずれも会長が招集する。

理事会は第7条に定める役員をもって構成し、連盟の重要事項を審議する。

2. 役員会は会長、副会長、理事長、副理事長、会計、監事をもって構成し、連盟の運営に関し審議する。

第16条 会議は構成員の1/2以上出席しなければ開催することができない。

2. 構成員の1/3以上の請求があったときは、会長は理事会を招集しなければならない。

3. 理事会に出席できない理事は当該加盟団体の役員をその代理人として出席させる。

ことができる。

4. 理事会のなかに専門部会をもうけることができる。

第17条 会議の議事は出席者の過半数の議決で決め、可否同数のときは議長がこれを決める。

(会計)

第18条 本連盟の経費はつぎに掲げるもので支弁する。

- (1) 補助金
- (2) 負担金
- (3) 寄附金
- (4) その他

第19条 理事会の議決で特別会計を設けることができる。

第20条 会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

第21条 予算は毎会計年度開始に理事会の承認を受けるものとし、決算は毎会計年度終了後、監事の監査を経た上、理事会に報告し、その承認を得るものとする。

第22条 加盟団体は別に定める負担金を毎年納入する。

(補助)

第23条 この規約は理事会の2/3以上の同意を得なければ変更することができない。

第24条 この規約の施行についての細則は、理事会で別に定める。

附 則

この規約は昭和30年4月1日から施行する。

附 則

この規約は昭和37年4月1日から施行する。

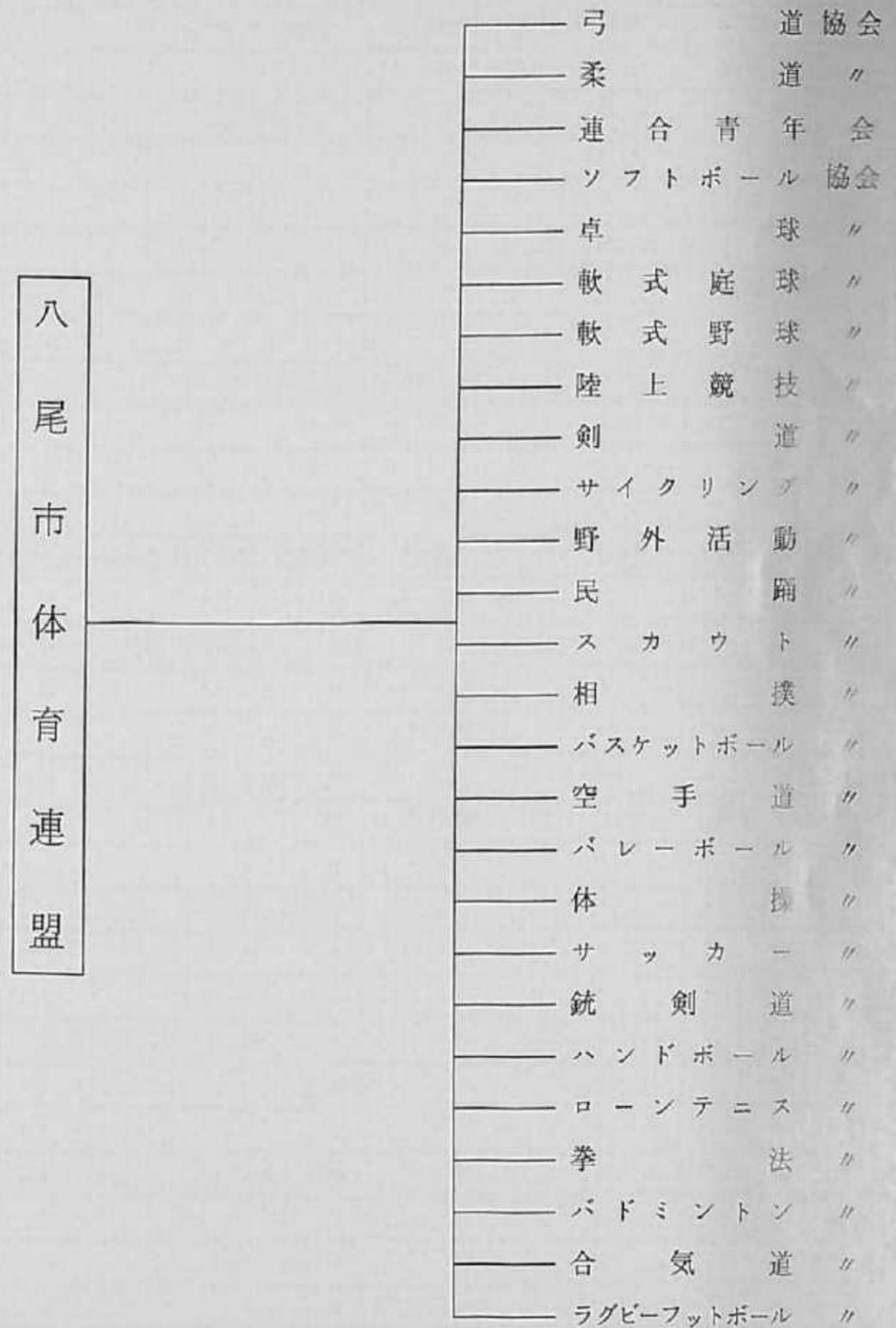
附 則

この規約は昭和42年11月20日から施行する。

附 則

この規約は昭和48年4月1日から施行する。

八尾市体育連盟組織図



各協会歴代役員一覧表

協会名	弓道	柔道	青年会	ソフトボール	卓球	軟式庭球
加盟年月日	30. 4	30. 4	30. 4	30. 4	30. 4	30. 4
30年	会-西川繁 副-井上敦 理-西川繁	会-小林弥毅 副-村井繁造 理-柴田英一	会-畑中正一 (4月6日) 会-辻田常三郎	会-湯村正夫 理-坂上勇	会-中谷俊雄 副-中西正 理-中川一	会-植松鑑吉
31	"	"	"	"	"	会-田中彰
32	"	"	"	"	会-中谷俊雄 副-林隆 理-中西正	"
33	"	"	"	"	"	"
34	"	"	"	"	"	会-斎藤正雄
35	"	"	"	"	"	"
36	会-西川繁 副-井上敦 理-小沢三男	"	"	"	"	"
37	"	"	"	"	"	"
38	"	"	"	会-湯村正夫 理-逸民正剛	"	"
39	"	"	"	"	"	"
40	"	"	会-柏倉信次	"	会-中谷俊雄 副-林隆 理-中西正	会-斎藤正雄 副-宮川信治 理-佐合芳之
41	"	"	"	"	"	"
42	"	"	"	会-安彦忠次 副-三藤半雄 理-湯村正剛	"	会-池田信治 副-斎藤正 理-余田尚
43	"	"	"	会-三藤半男 副-湯村正剛 理-逸民正剛	"	"
44	"	"	"	"	"	"

会-会長 副-副会長 理-理事長

軟式野球	陸上競技	剣道	サイクリング	野外活動	民踊	スカウト
30. 4	30. 4	34. 10	36. 4	36. 4	38. 11	40. 4
会-寺坂登 理-阿尾彰	会-秋山義信					
"	"					
"	"					
"	会-上山義					
"	"	会-石田善規 副-尾形勝躬 "-中西政太郎 理-西沢製装人				
"	"	会-中西政太郎 副-尾形勝躬 理-西沢製装人				
"	"	"	会-西橋吉 副-田畑源一郎 理-西峯義春	会-角倉俊一		
"	"	"	"	"		
"	"	会-尾形勝躬 副-本田留五郎 "-西沢製装人 理-奥平昌男	"	"	会-松本栄蔵 副-松本富美子	
"	"	"	"	会-角倉俊一 副-楠実 "-楠本可頭雄	"	
"	"	"	"	"	"	会-本田源信
"	"	"	"	会-角倉俊一 副-岡本孝	"	"
会-古橋了 理-柴田日文	"	会-尾形勝躬 副-本田留五郎 理-奥平昌男	"	"	"	"
"	"	"	"	"	"	"
"	"	"	"	"	"	"

協会名	弓道	柔道	青年会	ソフトボール	卓球	軟式庭球
加盟年月日	30. 4	30. 4	30. 4	30. 4	30. 4	30. 4
45年	"	"	"	"	"	"
46	"	"	"	"	"	"
47	会-西川繁 副-小沢三男 理-出田一男	"	会-寺西繁利	"	"	"
48	会-西川繁 副-牧瀬隆敏 理-出田一男	"	"	"	"	"
49	"	会-小林弥毅 副-村井繁造 理-堂前春一 理-柴田英一	"	会-三藤隼男 副-湯村正夫 理-福西忠治 理-逸民正剛	"	会-山中良一 副-宮川・斉藤 理-余田尚正 理-藤井克造
50	"	会-柴田英一 副-村井・堂前 理-坂本俊雄 理-塚原光唐	会-上田敏次	"	"	"
51	"	"	"	"	"	会-余田尚正 副-前地司夫 理-花咲芳善 理-滝木和一 理-藤井克造
52	"	"	"	会-三藤隼男 副-湯村正夫 理-坂上勇 理-逸民正剛	"	"
53	"	"	"	"	"	"
54	"	"	"	会-中谷俊雄 副-林・倉健一 理-中西正	"	"
55	"	"	会-高田佳定	"	"	会-余田尚正 副-前地・花咲 理-滝木・額良 理-中桐文代 理-藤井克造
56	"	会-柴田英一 副-安田重悟 理-塚原光唐	"	"	会-中谷俊雄 副-浦島・大倉 理-山田有樹 理-中西正	"
57	"	"	"	"	"	"
58	"	"	会-前川勝己	"	"	会-藤井克造 副-花咲・滝木 理-宮部正治 理-南野勝 理-福西謙治
59	"	"	"	"	"	"

軟式野球	陸上競技	剣道	サイクリング	野外活動	民踊	スカウト
30. 4	30. 4	34. 10	36. 4	36. 4	38. 11	40. 4
"	会-上山 鶴 副-本鍋田一義	"	"	"	"	"
"	"	"	"	"	"	"
"	"	"	会-田畑源一郎 理-西峯義春	"	"	"
"	"	"	"	"	"	"
会-古橋了 副-西村亀雄 理-岡崎倉太郎 理-柴田日文	会-上山 鶴 副-本鍋田一義 理-加納康秀	"	"	"	"	会-本田淳 副-小林達夫
"	"	会-本田留五郎 副-奥平昌男 理-伊藤龍太郎	"	"	"	"
"	"	"	会-西峯義春 副-西峯義人	"	"	"
"	"	"	"	会-岡本孝史 副-島本隆司 理-浜田澄子	"	"
"	"	"	"	会-岡本孝史 副-島本隆司 理-杉本恵子	"	"
会-古橋了 副-西村亀雄 理-柴田日文 理-小柳毅博 理-隅谷博	会-上山 鶴 副-本鍋田一義 理-柏山芳孝	会-奥平昌男 副-山口 薫 理-和泉正信	"	"	"	会-小林達夫 副-吉澤登子
"	"	"	"	"	"	"
"	"	会-奥平昌男 副-山本常夫 理-福井兼太郎 理-和泉正信 理-田中純治	"	"	"	会-北和 吉 副-澤田明美
"	"	"	"	会-岡本孝史 副-南野忠朗 理-矢倉幸一	"	"
会-古橋了 副-西村・柴田・小橋 理-隅谷博 理-平井正治 理-小川忠昭	"	会-小室 樹 副-山本・福井 理-藤江弘地	会-西峯義人 副-西峯正人 理-西峯義人	"	"	"
"	"	"	"	"	会-松本富美子	"

協会名	相撲	バスケ	空手道	バレーボール	体操	サッカー
加 年 月 日	40. 4	40. 4	41. 4	42. 4	43. 4	44. 4
45年	会-高田寛治 理-宮字地親之	"	"	"	"	"
46	"	"	"	会-大澤秀寿 副-井上・神立 理-堀 博 幸	"	"
47	"	会-国尾一嘉 副-川本好秀 理-佐藤茂	"	"	"	"
48	"	"	"	会-大澤秀寿 副-井上・神立 理-山本健次	"	"
49	会-高田寛治 副-西川忠 理-宮字地親之	"	"	会-神立悦二 副-井上・神立 理-山本健次	"	会-千波正 副-嶋野耕三 理-新納正彦
50	"	"	"	会-井上昭彦 副-堀 博 幸 理-山本健次 下藤真太郎	"	"
51	"	"	"	"	"	"
52	"	"	"	会-井上昭彦 副-堀 博 幸 理-山本健次 下藤真太郎	"	"
53	"	"	"	"	"	"
54	"	"	"	会-井上昭彦 副-堀 博 幸 理-山本健次 下藤真太郎	"	"
55	"	"	"	会-井上昭彦 副-堀 博 幸 理-山本健次 下藤真太郎	"	会-日吉政男 副-嶋野耕三 理-新納正彦
56	会-高田寛治 理-北山徳彦	"	"	"	"	"
57	"	"	"	会-井上昭彦 副-堀 博 幸 理-山本健次 下藤真太郎	"	会-日吉政男 理-新納正彦
58	"	"	"	"	"	"
59	"	"	"	"	"	会-日吉政男 副-奥村信夫 理-新納正彦

銃剣道	ハンドボール	ローンテニス	拳法	バミントン	合気道	ラグビー フットボール
44	47. 1	49. 9	51. 3	51. 3	56. 4	59. 4
"	"	"	"	"	"	"
"	"	"	"	"	"	"
"	会-幸田良一 副-松井良夫 理-内田邦夫	"	"	"	"	"
"	"	"	"	"	"	"
会-松村昌一 副-松野義男 理-荒木秋男	"	会-乾春雄 副-乾隆光 理-藤原堅三	"	"	"	"
"	"	"	"	"	"	"
"	"	"	会-堀田正造 副-正木義章 理-羽多野昇 吉田寛之	会-山口博一 副-三好 晃 理-東 幹 芳 堀 平 千里	"	"
"	会-中務敏男 副-松井良夫 理-内田邦夫	会-乾隆光 理-藤原堅三	"	"	会-山口博一 副-倉地孝 理-志野伊三男	"
"	"	"	会-堀田正造 副-正木・羽多野 理-吉田徹三	"	"	"
"	会-中務敏男 副-松井良夫 理-内田邦夫	"	"	会-堀田正造 副-正木・羽多野 理-西川孝敏	"	"
"	"	"	"	"	会-山口博一 副-倉地孝 理-豊田昭	"
"	"	"	"	"	"	会-山田文也 副-泉谷一弘 理-赤崎真佐夫
"	"	"	会-堀田正造 副-正木・羽多野 理-吉田寛之	会-山口博一 副-倉地孝 理-千草秋男	"	"
"	"	"	"	"	"	"
"	会-内田邦夫 副-松井良夫	"	会-堀田正造 副-正木・羽多野 理-中矢富数	"	"	会-岡 島 猛 副-加藤泰一郎 理-森 田 満

体育連盟のあゆみ

年	特記事項	年	特記事項
23	<ul style="list-style-type: none"> 八尾市制発足と同時に、卓球、軟式野球、軟式庭球の各団体が中心となって、八尾市体育同好会を結成。 	33	<ul style="list-style-type: none"> 6月) 第1回八尾市駅伝競走大会開催。
30	<ul style="list-style-type: none"> 八尾市体育連盟結成(弓道、柔道、青年会、ソフトボール、卓球、軟式庭球、軟式野球、陸上、中体連)。 役員 初代会長 藤沢鈴彦 副会長 伊藤勝治 公民館(社会体育係)に事務局を置く。 第10回国民体育大会で、社会教育優良団体として表彰を受ける。(10月) 	34	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選、会長 植松敏吉、副会長 伊藤勝治 剣道協会体育連盟に加盟。
		35	<ul style="list-style-type: none"> 5市親善交歓卓球大会開催 第1回八尾市長旗争奪軟式野球大会開催 第1回八尾市青少年剣道大会開催
		36	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選 会長 伊藤勝治、副会長 西澤袈裟人 理事長 阿尾 彰(4月)この年から理事長を置く。 サイクリング協会、野外活動協会体育連盟に加盟(4月)
31	<ul style="list-style-type: none"> 2代目会長に植松敏吉就任(4月) 八尾市体育連盟社会教育優良団体表彰記念として、市民の体育増進と親睦をはかる第4回八尾市民体育大会開催される。(5月、6月) 近鉄山本球場を買収し、八尾市立山本球場として市民に開放。(11月1日) 第1回東大阪6市駅伝競走大会開催。 	37	<ul style="list-style-type: none"> 八尾市体育連盟規約の一部改正(監事を置く) 東大阪6市マラソン大会開催 第1回八尾市個人卓球選手権大会開催
		38	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選 会長 伊藤勝治、副会長 西澤袈裟人、宮川宗一、清水良一、理事長 阿尾 彰、監事 西川 繁、角倉俊一(4月) 民謡協会体育連盟に加盟(11月) 市制15周年記念第11回市民体育大会開催卓球他9種目(5月、6月) 第1回八尾市卓球団体選手権大会開催
32	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選 会長 植松敏吉 副会長 伊藤勝治 	33	<ul style="list-style-type: none"> 八尾市教育委員会に社会教育課(体育係)が新設、同課に事務局を移す。(4月) 市制10周年記念第6回八尾市民体育大会開催、空手他10種目(5月、
33	<ul style="list-style-type: none"> 八尾市制発足と同時に、卓球、軟式野球、軟式庭球の各団体が中心となって、八尾市体育同好会を結成。 		

年	特記事項	年	特記事項
39	<ul style="list-style-type: none"> 第1回八尾市陸上選手権大会開催 第1回八尾市卓球事業所大会開催 第1回八尾市長杯争奪郡市親善弓道大会開催 第1回八尾市柔道選手権大会開催 第1回八尾市民サイクリングパレード開催(4/19) 	42	<ul style="list-style-type: none"> 八尾市体育連盟規約一部改正(副理事長、会計を置く) バレーボール協会体育連盟に加盟 八尾市立体育館落成記念第15回市民体育大会開催(バレーボール他11種目) 第1回大阪府下招待柔道選手権大会開催(5月) 第1回八尾市空手道選手権大会開催 第1回八尾市軟式庭球選手権大会開催 第1回八尾市バスケットボール選手権大会開催 第1回冬季卓球大会開催 第1回八尾市9人制バレーボール選手権大会開催
41	<ul style="list-style-type: none"> 空手道協会体育連盟に加盟 	43	<ul style="list-style-type: none"> 体操協会体育連盟に加盟 市制20周年記念第16回八尾市民体育大会開催(柔道他12種目) 第1回八尾市軟式庭球インドア選手権大会開催 第22回大阪郡市体育大会女子総合2位
42	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選 会長 西澤袈裟人、副会長 池田信治、斧田誠司、小林弥毅、田中誠三郎、西川 繁 理事長 本田留五郎、副理事長 中谷俊雄、会計 角倉俊一 監事 佐合芳之、上山 巍 		
42	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選 会長 西澤袈裟人、副会長 池田信治、斧田誠司、小林弥毅、田中誠三郎、西川 繁 理事長 本田留五郎、副理事長 中谷俊雄、会計 角倉俊一 監事 佐合芳之、上山 巍 	44	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選 会長 西澤袈裟人、副会長 池田信治、皆見皓三、小林弥毅、寺坂 登、西川 繁 理事長 本田留五郎、副理事長 中谷俊雄 サッカー協会、銃剣道協会体育連盟に加盟

年	特記事項	年	特記事項	
44	<ul style="list-style-type: none"> 市民憲章制定記念八尾市民スポーツ祭開催(10/26) 第1回八尾市サッカー選手権大会開催 第1回八尾市ソフトボール選手権大会開催(8月) 第1回八尾市6人制バレーボール選手権大会開催 	47	<ul style="list-style-type: none"> ハンドボール協会体育連盟に加盟 第1回八尾市家庭人卓球大会開催 	
	45	<ul style="list-style-type: none"> 八尾市教育委員会に保健体育課(体育係)が新設、同課に事務局を移す。 第1回シニア軟式庭球大会開催 第24回大阪郡市体育大会 男女総合2位 男子総合2位、女子総合2位 	48	<ul style="list-style-type: none"> 八尾市体育連盟規約の一部改正(事務局を社会教育課から体育振興課に、中学校体育連盟を削除) 役員改選 会長 大澤秀寿、副会長 西川 繁、三藤隼男、古橋了、理事長 本田留五郎、副理事長 中谷俊雄、会計 角倉俊一、監事 平田正司、上山 巍
		46	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選 会長 西澤袈裟人、副会長 池田信治、岡畑千代治、小林弥毅、寺坂 登、西川 繁 理事長 本田留五郎、副理事長 中谷俊雄、会計 角倉俊一、監事 佐合芳之、上山 巍 第25回大阪郡市体育大会 女子総合3位 第1回八尾市体操選手権開催 第1回家庭人バレーボール大会開催 第1回バスケットボール総合選手権大会開催 	49
47	<ul style="list-style-type: none"> 体育振興課(体育係)が新設、同課に事務局を移す。 	50	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選 会長 大澤秀寿、副会長 西川 繁、三藤隼男、古橋了 理事長 本田留五郎、副理事長 中谷俊雄、会計 角倉俊一、監事 平田正司、上山 巍 第1回八尾市ソフトボール大会開催(10/19) 	
		51	<ul style="list-style-type: none"> 体育青少年課(体育係)が新設、同課に事務局を移す。 バドミントン協会、拳法協会体育連盟に加盟(3/18) 	
47	<ul style="list-style-type: none"> 第1回八尾市バドミントン選手権大会開催 	52	<ul style="list-style-type: none"> 第1回八尾市バドミントン選手権大会開催 	

年	特記事項	年	特記事項
52	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選 会長 大澤秀寿、副会長 西川 繁、三藤隼男、古橋了、理事長 本田留五郎、副理事長 中谷俊雄、会計 角倉俊一、監事 平田正司、嶋野耕三郎 役員改選 会長 大澤秀寿、副会長 西川 繁、三藤隼男、柴田英一 理事長 本田留五郎、副理事長 中谷俊雄 会計 角倉俊一、監事 平田正司、嶋野耕三郎 	59	<ul style="list-style-type: none"> 事 平田正司、宮宇地親之 第37回大阪府総合体育大会 男子総合2位
			<ul style="list-style-type: none"> ラクビーフットボール協会体育連盟に加盟 八尾市立市民運動広場竣工(9/8) 第38回大阪府総合体育大会男子総合3位 体育連盟理事会で30周年記念事業を行うことを決定(10/8)
54	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選 会長 大澤秀寿、副会長 西川 繁、三藤隼男、柴田英一 理事長 本田留五郎、副理事長 中谷俊雄 会計 角倉俊一、監事 平田正司、嶋野耕三郎 	55	<ul style="list-style-type: none"> 第34回大阪府総合体育大会 男子総合1位 女子総合3位 男女総合2位 第1回社会人剣道選手権大会開催
56	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選 会長 大澤秀寿、副会長 西川 繁、三藤隼男、柴田英一 理事長 中谷俊雄、副理事長 宮宇地親之、会計 角倉俊一、監事 平田正司、嶋野耕三郎 合気道協会体育連盟に加盟 第35回大阪府総合体育大会男子総合3位 第1回家庭婦人バドミントン大会開催 		58



文部大臣表彰

八尾市体育連盟被表彰者（団体）受賞記録

文部大臣
 昭和30年 八尾市体育連盟
 大阪府教育委員会
 昭和42年 伊藤勝治（会長）
 昭和44年 西沢袈裟人（会長）
 昭和48年 中谷俊雄（副理事長）
 昭和50年 西川 繁（副会長）
 昭和54年 大澤秀壽（会長）
 昭和57年 三藤隼男（副会長）
 大阪府体育連合
 昭和42年 中谷俊雄（卓球）
 昭和43年 池田信治（軟庭）
 昭和44年 尾方勝躬（剣道）
 昭和45年 柴田英一（柔道）
 昭和46年 佐合芳之（中体連）
 昭和47年 柴田日文（野球）
 昭和48年 井上愿彦（バレー）
 昭和49年 中西 正（卓球）
 昭和50年 余田尚正（軟庭）
 昭和51年 三藤隼男（ソフト）
 昭和53年 国尾一嘉（バスケット）
 昭和57年 大澤秀壽（体連会長）
 昭和58年 隅谷 博（野球）
 （感謝状）
 昭和42年 岡本繁（事務局）
 昭和51年 辻村 昇、楠 茂之
 平井道弘（以上事務局）
 八尾市長
 昭和29年 池田庄太郎（野球）
 昭和32年 木村 保（野球）
 昭和33年 植松敏吉（体連会長）
 昭和36年 中谷俊雄（卓球）
 昭和37年 卓球協会
 昭和38年 藤沢鈴彦（体連会長）
 ソフトボール協会
 昭和39年 伊藤勝治（体連会長）
 駒田静雄（バレー）
 昭和40年 尾方勝躬（剣道）
 齊藤政男（軟庭）
 昭和41年 西沢袈裟人（体連副会長）
 上山 纈（陸上）
 池田信治（軟庭）
 昭和42年 西川 繁（弓道）
 昭和43年 湯村正夫（ソフト）
 八尾市体育連盟

昭和45年 柴田英一（柔道）
 宮字地親之（相撲）
 昭和46年 奥平昌男（剣道）
 昭和47年 小林弥彦（柔道）
 中西 正（卓球）
 昭和48年 柴田日文（野球）
 逸民正剛（ソフト）
 昭和49年 田中 博（ソフト）
 井上愿彦（バレー）
 昭和50年 余田尚正（軟庭）
 村井繁造（柔道）
 昭和51年 本田留五郎（剣道）
 田中富美江（ソフト）
 昭和52年 国尾一嘉（バスケット）
 大澤秀壽（体連会長）
 林 隆（卓球）
 昭和53年 西峯義春（サイクリング）
 隅谷 博（軟式野球）
 昭和54年 綿野耕三郎（サッカー）
 矢田耕二（ソフト）
 山本フェローズ（ソフト男子）
 昭和55年 牧瀬隆敏（弓道）
 坂上 勇（ソフト）
 藤井克造（軟庭）
 上山 纈（陸上）
 昭和56年 大倉健一（卓球）
 三藤隼男（体連副会長）
 辻本壽美子（バレー）
 八尾フレンズ（ソフト女子）
 昭和57年 山本寿夫（ソフト）
 小川幹之（バスケット）
 小川忠昭（野球）
 石井静子（バレー）
 新居 正（空手道）
 昭和58年 杉本 博（ソフト）
 平井正治（野球）
 千田文一（卓球）
 中務敬男（ハンド）
 本鍋田一義（陸上）
 昭和59年 福井兼太郎（剣道）
 小野忠信（ソフト）
 田河 悟（柔道）
 柏山芳考（陸上）

八尾市体育連盟結成30周年記念被表彰者名簿（敬称略、順不同）

出 田 一 男 弓道協会
 井 上 孜 〃
 梅 田 穂 〃
 牧 瀬 隆 敏 〃
 秋 山 啓 二 柔道協会
 芦 田 靖 二 〃
 今 川 滋 〃
 尾 方 信 明 〃
 紀 野 賢 次 〃
 久 米 将 男 〃
 阪 本 勝 俊 〃
 柴 田 英 一 〃
 鈴 木 脩 弘 〃
 田 中 勝 仁 〃
 田 河 悟 〃
 竹 田 伸 二 〃
 塚 本 良 之 〃
 堂 前 春 義 〃
 中 野 光 磨 〃
 東 山 幸 雄 〃
 別 所 克 己 〃
 松 井 斌 〃
 村 井 繁 造 〃
 安 河 内 寛 〃
 安 多 重 忠 〃
 山 崎 敬 祐 〃
 大 西 寿 美 子 ソフトボール会
 萩 原 孝 義 〃
 坂 上 勇 〃
 杉 本 博 〃
 田 中 博 〃
 田 中 富 美 江 〃
 蔦 本 隆 司 〃
 逸 民 正 剛 〃
 松 川 敬 〃
 三 藤 隼 男 〃
 百 瀬 正 康 〃
 矢 田 耕 二 〃
 矢 部 稔 〃
 山 口 和 子 〃
 山 本 悦 治 〃
 山 本 寿 夫 〃
 湯 村 正 夫 〃
 荒 井 澄 子 卓球協会
 池 田 嘉 次 〃
 石 垣 三 郎 〃
 大 倉 健 一 〃
 上 村 春 義 〃

菅 理 台 〃
 千 田 文 一 〃
 高 岡 公 男 〃
 中 川 善 雄 〃
 中 谷 俊 雄 〃
 中 西 正 〃
 松 沢 長 正 〃
 水 本 利 子 〃
 涌 嶋 良 和 〃
 池 田 信 治 軟式庭球
 早 川 登 美 子 〃
 福 西 謙 治 〃
 藤 井 克 造 〃
 余 田 尚 正 〃
 赤 松 正 行 軟式野球協会
 浅 尾 和 己 〃
 小 川 忠 昭 〃
 小 柳 毅 〃
 小 芝 崎 秀 雄 〃
 柴 田 日 文 〃
 隅 谷 博 〃
 田 中 信 夫 〃
 田 中 幸 雄 〃
 中 矢 國 雄 〃
 永 島 和 夫 〃
 西 村 亀 雄 〃
 濱 田 清 巨 〃
 濱 田 清 二 〃
 濱 田 清 三 〃
 早 瀬 康 弘 〃
 平 井 正 治 〃
 古 橋 了 〃
 上 山 纈 陸上競技協会
 小 澤 実 〃
 大 額 治 〃
 柏 山 芳 孝 〃
 清 川 敬 太 郎 〃
 本 鍋 田 一 義 〃
 丸 田 悦 子 〃
 足 立 重 夫 剣道協会
 和 泉 正 信 〃
 伊 藤 龍 太 郎 〃
 上 羽 守 〃
 唐 木 義 夫 〃
 下 川 智 司 〃
 須 藤 乃 木 人 〃
 苗 加 貞 和 〃
 野 田 求 〃

福井 兼太郎	〃
山田 清昭	〃
福地 勝	サイクリング協会
松間 孝三	〃
岡本 孝史	野外活動協会
小枝 祥巳	〃
杉本 恵以子	〃
南野 忠朗	〃
矢倉 孝廣	〃
岡部 千代子	民踊協会
寺田 ハツ子	〃
花崎 淑子	〃
松本 富美子	〃
岩城 義雄	スカウト協会
北 和吉	〃
澤田 明美	〃
広瀬 立男	〃
本多 淳信	〃
山野 正雄	〃
吉澤 経子	〃
大木 行徳	バドミントン協会
小川 幹之	〃
川本 好秀	〃
國尾 一嘉	〃
佐藤 茂	〃
寺辺 浩二	〃
長田 正治	〃
新居 正	空手道協会
泉 泰樹	〃
大矢 高久	〃
垣内 博美	〃
田中 彰	〃
堂園 建次	〃
廣川 弘	〃
石井 絹子	バレーボール協会
井上 愿彦	〃
神立 悦二	〃
阪岡 重治	〃
辻本 寿美子	〃
中井 明子	〃
福島 政尊	〃
堀 博幸	〃
山本 健次	〃
山脇 正和	〃
岡崎 則子	体操協会
島崎 武男	〃
島崎 康行	〃
平田 花意	〃

平田 正司	〃
森脇 純	〃
加田 満夫	サッカー協会
椎葉 教光	〃
新納 正彦	〃
土井 浩二	〃
西原 貢	〃
内田 邦夫	ハンドボール協会
田村 繁	〃
古野 弘	〃
乾 隆光	コーンテニス協会
今 一亨	〃
藤原 堅三	〃
梶田 正造	拳法協会
柏本 武雄	〃
中矢 富敏	〃
西川 孝敏	〃
平田 治	〃
倉地 孝	バドミントン協会
高野 久美子	〃
滝口 芳治	〃
千草 秋男	〃
辻 芳雄	〃
藤崎 千里	〃
宮崎 恵美子	〃
山口 博一	〃
三木田 博則	合気道協会
山田 文也	〃
上野 国彦	ラケットボール協会
岡島 猛	〃
加藤 泰一郎	〃
小室 樹	剣道協会
高田 寛治	相撲協会
西田 進	体操協会
西峯 義人	サイクリング協会
日吉 政男	サッカー協会
前川 勝巳	連合青年会
大澤 秀壽	体連会長
角倉 俊一	〃 会計
宮字 地親	〃 監事
阿尾 彰	元体連理事長
植松 欽吉	元体連会長

八尾市弓道協会

活動のねらい

本協会は、八尾市の弓道を代表するもので、上部団体である八尾市体育連盟および大阪府弓道連盟に加盟する。

本協会は、弓道を普及振興して体位の向上に資し、社会文化の進展に寄与すると共に、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

本協会は、前項の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 弓道の普及振興に関する一般方策の樹立
2. 組織団体の強化発展と相互の連絡
3. 研究会、講演会、射会の開催
4. 上部団体主催、講演の射会参加
5. 功労者及び優秀射手の表彰
6. 弓道愛好者の練成及び養成
7. 名簿の作製及び弓道資料の発行
8. その他、本協会の目的を達成するために必要な事業



八尾体育会館弓道場竣工 矢渡し



市民大会(遠的)風景

創立年月日 昭和30年4月1日

代表者 会長 西川 繁

副会長 牧瀬 隆敏

理事(道場代表) 出田 一男

事務局 八尾市旭ヶ丘3-47 出田 一男方

電話23-2462

道場所在地(財)八尾体育会館内 弓道場

八尾栄町1丁目16-2

電話 0729(94)2388~9

沿 革

八尾市在住の弓道愛好者は、当時八尾市内に市営、個人の弓道場がなく、大阪市内の尾崎弓道場に週2～3回の練習に通っていたが、なんとかして八尾市内に弓を引く場所がないかと考えていた。現西川会長が市役所へ相談に行った帰り、八尾税務所裏の細い空地で弓を引いている人を見て、西川会長が私達にも弓を引かしてもらえないかと話かけたのが八尾市弓道協会の始まりである。当時（昭和28年3月頃）市役所勤務の井上さん以下4～5名と西川会長以下4～6名の市民が仲良く、仮設道場で弓を引くなごやかな練習風景が続いたが、地主から仮設道場地明渡しの通告を受け、楽しい練習もできなくなり、空地探しが始まる。西川会長、井上さん達が色々の方々をお願いし、府立八尾高校東隣の会社の敷地の一部を借りて、仮道場を作った。練習時間はその会社終了後、18時～21時頃迄で週に3～4回練習が出来た。弓道愛好者は少しずつ増えてゆき、昭和29年の春には市助役（熊又さん）の力添えを得、八尾弓道愛好会の初会式典を市立八尾小学校の校庭を借用し、多数の参加を願い行う。初会式の祝射には、尾崎弓友会の田中惣吉先生の装束での大的式の儀式をご披露願ひ、八尾弓道協会からは、故牧瀬先生の近的の儀式が行われ、盛大な式典であった。しかし工場内敷地を借りた仮設道場のため、昼の練習は出来ないし、夜といえども、思うように使えないので、練習に打ち込める道場がほしいと願った。昭和30年4月、八尾市体育連盟設立と同時に八尾市弓道協会と正式に名を称し、体育連盟に加盟、大阪府弓道連盟にも加盟する。昭和31年3月25日、第一回八尾市民弓道大会を市立八尾小学校を借り開催する。当時は午前大的、午後近的と2種類の競射会を行った。昭和32年4月頃協会員一同の願いが実を結び、久宝寺2丁目（現在コココーラ八尾営業所北東）に道場が建設されることになり、協会員の練習は一層熱が入った。昭和32年7月頃、八尾市弓道場が完成し、協会員一同内輪の射会を行う。西川会長、井上副会長以下全会員の喜びの射会であった。昭和32年11月23日（祝）当道場の祝賀射会を大阪府弓道連盟の諸先生方、各クラブ、弓友会等多数参加のなか、故牧瀬先生の四方拝、天地被の儀式、西川先生の矢渡し、来賓の先生による礼射、午後には競射会と盛大な八尾市弓道場及び

協会の道場開きであった。又協会員、府連の諸先生方ともども今後は安心して練習に励むことが出来ると西川会長はじめ協会員一同、万歳三唱のうえ散会する。

昭和32年道場開き以来、協会員の練習は弓道一射一射が心の射であった。市民弓道大会春季（毎年4月29日（祝）遠的大会）秋季の年2回、恒例の行事となる。昭和33年春頃から八尾市役所弓道部も出来、井上さんを中心に市弓道場にて、大阪府実業団の弓道射会に参加、上位入賞され大いに活躍された。又道場において弓道の礼法、基本体動作と多彩な練習に励み、市役所弓道部、弓道協会が一体となり、八尾市弓道協会を盛り上げていった。昭和39年第19回新潟国体、昭和40年第20回岐阜国体と2年連続、協会員より国体大阪代表選手が選出される。これもひとえに市民の弓道場での豊富な練習量と充実した練習のたまものであった。昭和39年第1回八尾市長杯郡市親善弓道大会を開催し、大阪府下多数の参加者を得て終始なごやかな射会であった。この親善弓道大会も毎年3月下旬の日曜日に行われる年中行事となる。道場での練習、協会行事、市民弓道大会の行事も順調に進み、八尾市弓道協会の全盛期となる。昭和48年、当道場の廃止、八尾市栄町1丁目16番地に八尾体育会館が建設され、昭和49年1月に移転し、新規まき直し新しい道場での修業練習の場としての喜びも一しおであった。

昭和49年8月15日（財）八尾体育会館落成記念式典行事が行われるに当り、各関係団体の盛大な式典の中、弓道場において八尾市弓道協会西川会長の矢渡しに始まり、一ツ的礼射、持的礼射と多彩な式典には初めて見る弓道の礼射に、大きなため息とともに拍手が鳴り止まなかった。

昭和49年10月20日、八尾市弓道協会の道場開きには、近畿2府4県の諸先生、愛弓者多数の参加を願い盛大な行事を行う。昭和54年第33回大阪府総合体育大会に参加する。昭和55年第34回大阪府総合体育大会で八尾市弓道協会が優勝する。話が前後するが、春秋の近的市民大会、4月29日（祝）には大的大会、3月下旬の日曜日には八尾市長杯争奪郡市親善大会の開催、6月第4日曜日には大阪府弓道連盟段級（夏期）審査が行われ、8月下旬から9月上旬に大阪府総合体育大会の参加、又上部団体の月例会（射会）参加と八尾市

弓道協会も多彩な行事に取り組んでいる。

八尾市弓道協会（市民関係大会の成績）

- 1) 昭和47年4月29日 第20回遠的大会 団体優勝 市協会
- 2) " " 48年3月25日 第9回八尾市長杯都市親善大会 団体優勝 八尾市
- 3) " " 48年11月25日 第21回秋季市民大会段別 優勝3~5段・松岡
" 無 段・秋田
- 4) " " 49年3月21日 第10回八尾市長杯都市親善大会 団体優勝・八尾市
- 5) " " 54年3月25日 第15回" " " " " "
- 6) " " 54年10月21日 第27回秋季市民近的大会 団体優勝 市協会
- 7) " " 55年8月31日 第34回大阪府総合体育大会 団体優勝 八尾市
- 8) " " 57年4月29日 第30回春季市民遠的大会 個人1位 出田
- 9) " " 58年5月22日 第31回春季市民近的大会 個人1位 出田
- 10) " " 58年10月30日 第31回秋季市民近的大会 個人1位 出田
- 11) " " 59年4月15日 第32回春季市民近的大会 個人1位 出田

上部団体参加競技成績、表彰、感謝状

- 1) 昭和42年6月25日 大阪府民体育大会 個人2位 西川 繁
- 2) " " 50年10月10日 (財)八尾体育振興会 感謝状 西川 繁
- 3) " " 51年5月4日 第27回全日本弓道大会優秀賞 出田一男
- 4) " " 52年4月10日 (財)全日本弓道連盟30周年感謝状 西川 繁
- 5) " " 53年4月1日 (財)八尾体育振興会 感謝状 西川 繁
- 6) " " 54年10月5日 (財)全日本弓道連盟表彰状 梅田 穂
- 7) " " 55年5月11日 大阪府民体育大会 個人2位 出田一男
- 8) " " 55年11月3日 八尾市文化の日 表彰状 牧瀬隆敏
- 9) " " 56年5月1日 住吉全国奉納30周年記念 感謝状 西川 繁
- 10) " " 58年1月15日 京都三十三間堂大的大会 3位 出田一男
- 11) " " 59年6月10日 (財)八尾体育振興会10周年 感謝状 西川 繁
- " " " " 牧瀬隆敏
- " " " " 出田一男

八尾市柔道協会

活動のねらい

わが協会は、八尾市における柔道の普及振興をはかり、会員相互の親睦を深め、スポーツ精神の健全で好ましい社会文化の進展に寄与することを目的とし、次のような事業を行う。

- 八尾市における柔道の普及 技の向上
- 柔道における審判の講習、研究指導
- 柔道の大会などその他必要と認められた行事

設立年月日 昭和23年4月

代表者及び事務局所在地

代表者 会長 柴田 英一

所在地 八尾市本町二丁目8-18

電話 91-2174

沿革

昭和23年小川七段によって、八尾柔道有段者会が結成され、八尾警察道場において練習及び試合が行われた。八尾、住吉、枚岡、三市で大会が行われた。

昭和24年八尾対富田林の試合が八尾警察で10人対10人で（五段、四段、三段、二段、初段で10人）試合が行われた。八尾は24年、25年、26年優勝した。昭和27年、八尾市柔道協会が、会長の小川氏の他、村井、金沢、山沢、西、西尾の諸氏によって出来た。

・昭和31年八尾市体育連盟に、八尾市柔道協会が加盟した。

・昭和32年八尾警察道場で、小林会長、桑原先生により、小学生、中学生、高校生、一般者の練習を始めた。

・昭和41年より44年まで萱振道場で練習

・昭和44年より49年まで山本球場道場で練習

- ・昭和49年より八尾体育会館で練習
- ・昭和51年中華民国台湾省桃園縣柔道委員会が親善訪問。八尾市柔道協会
練習及び試合をした。
- ・全国青年大会で個人優勝をした。

◎八尾市柔道団体選手権大会成績

第1回	39年度	優勝	八尾警察署
2	40	〃	明治乳業労働組合大阪支部
3	41	〃	八尾市柔道協会
4	42	〃	菊水テープ株式会社
5	43	〃	近畿大学附属高等学校
6	44	〃	村井工業所
7	45	〃	芦田鋳金工業所
8	46	〃	株式会社岩田良
9	47	〃	近畿大学附属高等学校
10	48	〃	〃
11	49	〃	〃
12	50	〃	〃
13	51	〃	大阪商業大学附属高等学校
14	52	〃	〃
15	53	〃	〃
16	54	〃	近畿大学附属高等学校
17	55	〃	〃
18	56	〃	〃
19	57	〃	府立八尾高等学校
20	58	〃	近畿大学附属高等学校
21	59	〃	柴田接骨院

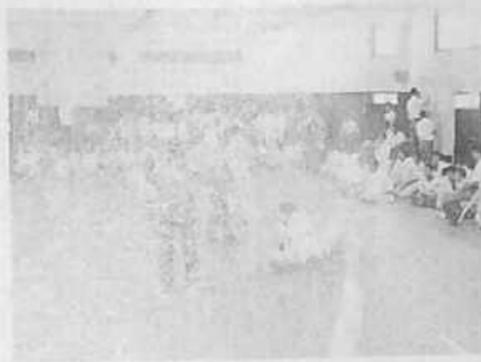
◎大阪府下招待柔道団体優勝大会成績

第1回	昭和42年度	団体優勝	八尾市柔道協会
2	43	〃	富永道場
3	44	〃	大阪産業大学
4	45	〃	朋来鉄工 k k
5	46	〃	大阪商業大学
6	47	〃	〃
7	48	〃	新日鉄 堺
8	49	〃	近大 クラブ
9	50	〃	〃
10	51	〃	〃
11	52	〃	大阪商業大学
12	53	〃	近畿大学
13	54	〃	新日鉄 堺
14	55	〃	大阪ガス
15	56	〃	新日鉄 堺
16	57	〃	ダイコロ 株式会社
17	58	〃	大阪 拘置所
18	59	〃	大阪工業大学附属高等学校

◎昭和60年度八尾市柔道協会行事予定表

4月	上旬	けい古始め、中旬研修会
5月	下旬	大阪府下柔道団体優勝大会
7月	下旬	昇級 審査会
8月	上旬	ゆかた会、下旬大阪府総合体育大会
9月	上旬	府下招待柔道団体優勝大会最終打ち合わせ
	中旬	大阪府スポーツ少年団柔道大会
	23日	大阪府下招待柔道団体優勝大会
10月	下旬	研修会

- 11月 上旬 大阪府下少年柔道大会
- 下旬 市民体育大会 東大阪柔道団体優勝大会
- 1月 上旬 鏡開き 寒げい古始め
- 中旬 新年会 研修会
- 下旬 寒げい古終り 少年柔道大会及び昇級審査会
- 2月 中旬 八尾市柔道選手権大会
- 3月 上旬 守口市 スポーツ少年団柔道大会
- 下旬 全国少年柔道大会 大阪府予選 けい古納め



八尾市連合青年会

活動のねらい

この会は、八尾市内の各種団体と連絡を密にし、相互の研さんを通じて青年の資質の向上と文化の発展をはかり、明るい地域社会の建設に寄与・貢献することを目的とする。

努力目標 団員数 2500名

対話・連帯・前進

創立年月日 昭和30年4月

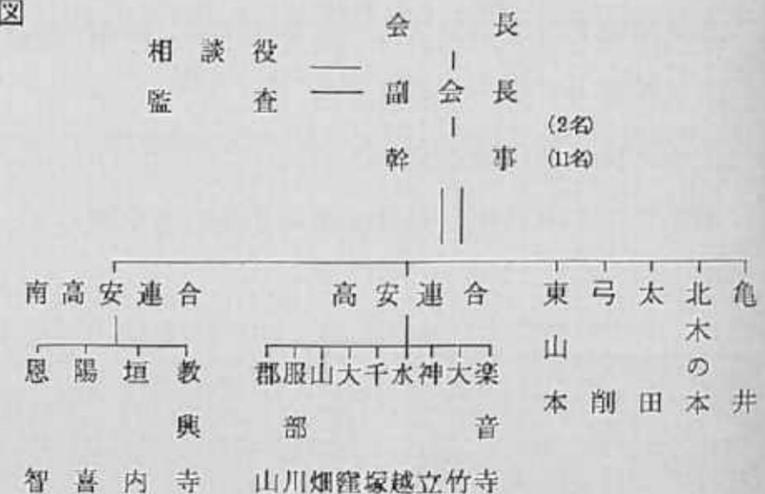
代表者(会長)及び事務局所在地

代表者 会長 前川勝己

所在地 八尾市清水町1-1-6 (市教委体育青少年課内)

電話 23-5101

組織構成図



沿革

昭和30年、八尾市に高安村、南高安村、曙川村等が合併と同時に八尾で連合青年団結成。その時からスポーツ、研修会等がさかんに行われ、加盟団体が最高24団体になった時もある。しかし、都市化の波におされ、少しずつ減少の道をたどる。しかし連合青年会の役員が実り、現在の団員数を保っている。

- 昭和30年 連合青年団結成 初代団長 畑中正一氏
 // 4月2代団長 辻田常三郎氏、スポーツ・研修会等さかんに行われる。
- 昭和40年 名称を八尾市連合青年会とする。
 3代会長 柏倉信次氏。同じくスポーツ・研修会等さかんに行われる。
- 昭和47年 4代会長 寺西繁利氏。以前と同じ
- 昭和50年 5代会長 上田敏次氏。事業は変わらずさかんであった。
 それに加えて、交通安全運動を行う。初めて傷害保険に加入。
- 昭和51年 八尾市から、初めての大阪府青年団協議会々長をだす。水野恵司氏（15代）
- 昭和54年 同じく大阪府青年団協議会々長をだす。田中洋晴氏（17代）
- 昭和55年 6代会長 高田佳定氏。この時スポーツだけではなく文化活動、女子団員の勧誘にも力を入れる。
- 昭和56年 青年団始まって以来とも言える大事業、演劇「かげの砦」を市立教育センターで行う。
- 昭和58年 7代会長 前川勝己氏
- 昭和60年 国際青年年と共に、結成30周年記念行事を組んでいる。



八尾市ソフトボール協会

活動のねらい

八尾市ソフトボール協会は、八尾市におけるソフトボールの普及振興を図り、楽しいスポーツの実践をとおして健全で好ましい社会づくりの一助とする。この目的達成のために次のような事業を行う。

1. 八尾市におけるソフトボール大会の主催と後援
2. ソフトボールの普及発展並びに技術向上に関する研究指導
3. ソフトボール審判員の資質の向上

設立年月日

昭和30年4月1日

代表者（会長）及び事務局所在地

代表者（会長） 三藤隼男

所在地 八尾市東山本町3-4-12-214

電話 99-9188

加盟チーム（昭和60年度）男子162・女子17 計 179チーム



沿革

昭和30年から昭和43年までは、女子のみの大会運営であったが、昭和44年から男子チームの大会を創設し今日の隆盛の足がかりとなる。昭和48年には、大阪ソフトボール協会への支部加盟が実現し、各種の全国大会予選会へ八尾代表を派遣できるようになり、加盟チームとりわけ男子チームの急増に対応すべく、協会の役員組織の強化を図り、専門部（審判・財務・庶務・普及・女子）を新設する。昭和50年9月から八尾市体育連盟から委託を受けての協会主催の大会開催が認められる。その後、チームの強化を目指して、男子はA・B・C級の3ランク制を女子はA・B級の2ランク制を採用し、それぞれに応じた身近な目標を設定し、全体としてのレベルアップを図ることにした。その結果、昭和53年7月の国体大阪予選会で山本フェローズ（現大阪フ

エローズ)が初優勝し、大阪代表として近畿予選会に進出、翌年には近畿予選に勝ち残り念願の全国大会へ、初出場を果たした。

その後、八尾大正(現大阪コンドル)も全国大会出場と続き、「昭和56年8月第1回全国家庭婦人ソフトボール大会では、八尾フレンズが全国大会初優勝を飾り」その活躍振りは、NHKのテレビを通して、八尾のソフトが全国的に有名となった。昭和59年秋には、協会創立30周年を迎え、記念事業として全チーム参加の大会開会式と祝賀記念式典を開催したが、折りも折り朗報として大阪フェローズが奈良県若草国体にこれまた、八尾の代表として初出場を果たす快挙が重なり、二重の喜びに湧いたところである。

今年にはいり、女子のミキハウスが山根新指導者を迎え、日本の一流チーム入りを目指しての活躍が今後の楽しみのひとつである。

大会記録(各年度別大会優勝チーム名)

一般男子A級

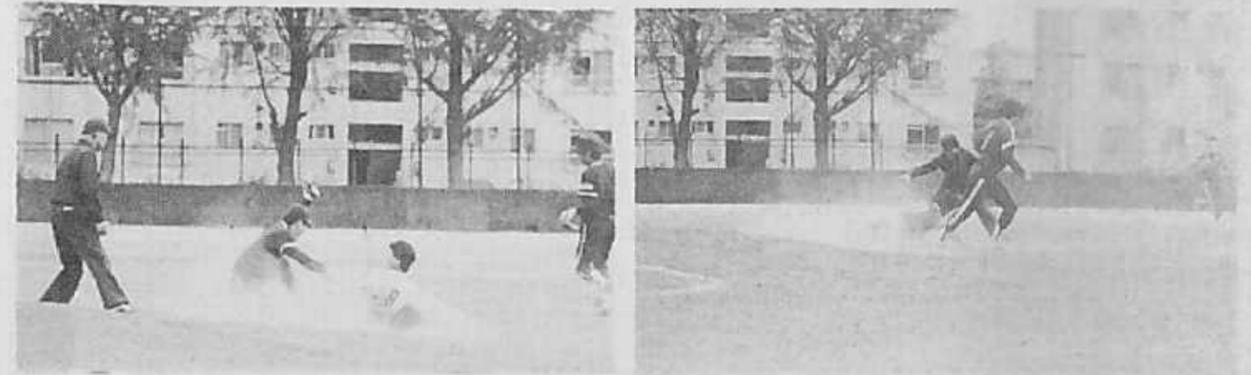
年度	大会回数	春 季	秋 季
44		丸 誠 重 工 業	自衛隊ヘリコプターズ
45		自衛隊ヘリコプターズ	近 工 ス タ ー ズ
46		〃	方 面 飛 行 隊
47		八 尾 ウ イ ン グ	山 本 小 職 員
48		ビ ク ト リ ー	八 尾 ユ ニ オ ン
49		〃	ビ ク ト リ ー
50	第1回	自 衛 隊 八 尾	自衛隊ユニオンズ
51	第2回	〃	自 衛 隊 八 尾
52	第3回	自衛隊八尾・山本フェローズ	南 山 本 ベ ア ー ズ
53	第4回	久 友 ク ラ ブ A	山 本 フ ェ ロ ー ズ
54	第5回	山 本 フ ェ ロ ー ズ	〃
55	第6回	〃	八 尾 大 正
56	第7回	〃	山 本 フ ェ ロ ー ズ
57	第8回	〃	〃
58	第9回	〃	〃
59	第10回	大 阪 フ ェ ロ ー ズ	大 阪 フ ェ ロ ー ズ
60	第11回	〃	〃

一般男子B級

年度	大会回数	春 季	秋 季
52	第3回	八 尾 ユ ニ オ ン ズ	ラ イ ナ ー ズ
53	第4回	信 貴	ブ ル ー ス タ ー ズ
54	第5回	用 和 ホ ー プ	ジ ュ ニ ア 福 方 寺
55	第6回	用 和 ヤ ン ガ ー ス	西 山 本 ロ ビ ン ズ
56	第7回	曙 川	〃
57	第8回	天 王 寺 屋 ク ラ ブ	志 紀 ク ラ ブ
58	第9回	曙 川	や は ぎ 南
59	第10回	高 安 西 フ レ ン ズ	久 友 ク ラ ブ A
60	第11回	ダ ン ダ ー ス	

一般男子C級

年度	大会回数	春 季	秋 季
52	第3回	信 貴	志 紀 ク ラ ブ
53	第4回	曙 川	メ ガ 外 科
54	第5回	〃	ビ ッ グ サ イ ン
55	第6回	上 ノ 鳥 フ レ ン ド	大 竹 ソ フ ト ク ラ ブ
56	第7回	志 紀 ク ラ ブ	フ レ ン ド リ ー
57	第8回	ア サ ヒ ク ラ ブ	ニ ュ ー 青 山
58	第9回	コ ー ボ 野 村 恩 智	久 友 ク ラ ブ B
59	第10回	タ ン ダ ー ズ	西 老 原 の ぎ く
60	第11回	フ レ ン ド タイ ガ ー	



八尾市卓球協会

一般女子 A 級

年度	大会回数	春 季	秋 季
47			用 和 ク ラ ブ
48		さ つ き	さ つ き
49		"	"
50	第1回	八 尾 マ ー プ ル	八 尾 ク ラ ブ A
51	第2回	山 本 フ ェ ロ ー ズ	八 尾 マ ー プ ル
52	第3回	ニ ュ ー フ ェ ロ ー ズ	ニ ュ ー フ ェ ロ ー ズ
53	第4回	フ レ ン ズ	フ レ ン ズ
54	第5回	"	"
55	第6回	八 尾 フ レ ン ズ	八 尾 大 正 マ ー プ ル
56	第7回	"	八 尾 フ レ ン ズ
57	第8回	八 尾 ク ラ ブ A	"
58	第9回	さ つ き	"
59	第10回	ミ キ ハ ウ ス	ミ キ ハ ウ ス
60	第11回	さ つ き	

一般女子 B 級

年度	大会回数	春 季	秋 季
57	第8回	M Y ク ラ ブ	ニ ュ ー ス タ ー ズ
58	第9回	も む じ	ミ キ ハ ウ ス
59	第10回	"	ミ キ ハ ウ ス 3 A
60	第11回	"	



活動のねらい

卓球は、だれでも手軽に親しめる大衆性に富むスポーツであり、又、やればやる程奥の深いスポーツでもある。ある人は健康の維持増進の為に、ある人はより高い技術の修得を目指し、ある若者は将来の一流選手を目指して、各々練習に励んでいる。

本協会は卓球を通じ、全員相互の親睦の輪を広めると共に、スポーツマンシップの高揚、市民スポーツの普及振興、青少年の健全育成の為に役立てるように努力を続けている。

創立 昭和25年

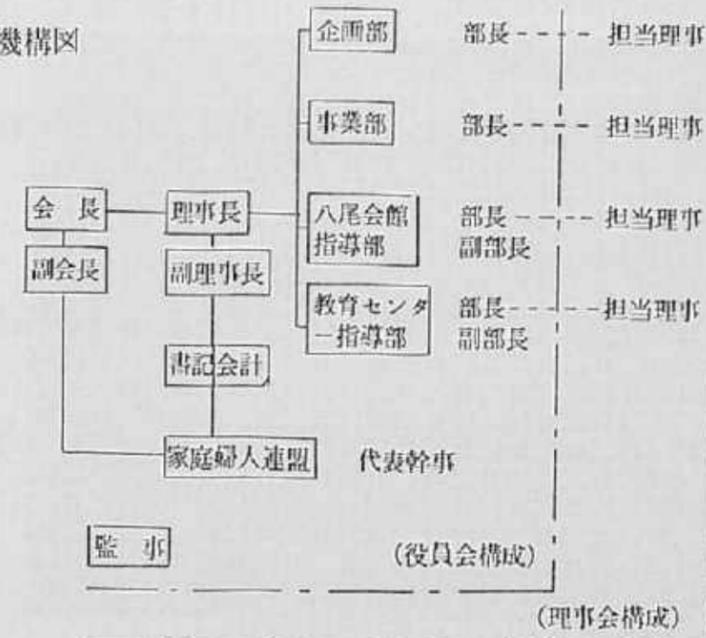
代表者及び事務局所在地

代表者 会長 中谷俊雄

所在地 八尾市清水町1丁目1番6号 市教委体育青少年課内

電話 23-5101

組織機構図



沿革

戦後間もなく、いくつかの同好会が誕生し、独自に行事を持って活動して来た。昭和25年にはこれらが合同し、八尾卓球協会として統一された。昭和30年には八尾市体育連盟が発足し、これと同時に八尾市卓球協会として加盟した。

以後、事業も漸次増やし、八尾市卓球選手権大会その他の大会を主催するほか、春・秋の市民体育大会卓球の部を運営するとともに、卓球教室を開く等指導者の育成や初心者の指導にも努めて来た。

また、大阪都市対抗（後に大阪府総合体育大会となる）にも選手を送り、昭和35年に男子チームが優勝したのをはじめ、以後女子チームも優勝する等毎年上位入賞を果たしている。全国青年大会にも、選手を送り、大阪代表として全国優勝するなどかがやかしい歴史と伝統を誇っている。年次を追って沿革を略記すると次の通りである。

- 昭和25年 八尾卓球協会として合同統一
- 27 第1回八尾市硬式卓球選手権大会（個人戦）開催
 - 28 第1回八尾市民体育大会卓球の部開催（旧八尾中体育館）
 - 29 卓球協会規約を改正
 - 30 八尾市体育連盟発足、八尾市卓球協会加盟
 - 34 社会教育10周年を記念し、八尾市教育委員会より感謝状を受ける。
 - 35 第14回大阪都市対抗、男子チーム優勝
 - 36 高槻、吹田、布施、河内、八尾の5市親善卓球大会開催（旧消防署）
 - 〃 第15回大阪都市対抗 男子チーム準決勝へ進出したが台風で中止
 - 37 第16回大阪都市対抗 男子チーム優勝
 - 〃 第11回全国青年大会出場 団体3位入賞
 - 〃 文化の日 八尾市より卓球協会が表彰を受ける

- 昭和38年 第12回八尾市卓球選手権大会より団体の部を設ける
- 〃 都市対抗八尾市代表選手選考会を兼ねて夏季大会を設ける
 - 39 第1回事業所対抗卓球大会開催
 - 〃 第14回全国青年大会出場 団体4位入賞
 - 42 第15回市民体育大会を体育館落成記念大会として開催
 - 〃 第1回冬季大会を開催
 - 43 第16回市民体育大会を市制20周年市民体育大会として開催
 - 44 第17回市民体育大会より、春季と秋季の年2回開催となる
 - 46 第8回事業所対抗卓球大会より、八尾市商工会議所と共催になる
 - 〃 第20回全国青年大会出場
 - 47 第1回家庭婦人大会をA級とB級に分けて開催
 - 48 第27回大阪都市対抗 男子チーム優勝
 - 49 第23回全国青年大会出場 個人女子優勝 団体3位入賞
 - 50 第24回全国青年大会出場
 - 52 第31回大阪府総合体育大会 男子チーム優勝
 - 56 八尾市卓球協会発足30周年式典と、高嶋規郎選手らを招待し、記念行事を行う



30周年記念式典

昭和57年 卓球協会規約を改正

- 58 第37回大阪府総合体育大会 女子チーム優勝
- 〃 元全日本チャンピオン高嶋規郎選手を招き指導者講習会を開催
- 59 全日本女子チーム監督田中拓先生を招き卓球講習会を開催
- 〃 本年度より夏季大会を八尾オープン大会として開催
- 〃 冬季大会（個人戦）を（ダブルス戦）として開催

（八尾市卓球協会年間行事予定） 60年度

- 5月 春季市民体育大会（個人戦）
- 6月 卓球講習会
- 7月 八尾オープン大会（個人戦）
- 9月 八尾市選手権大会（個人戦）
- 11月 秋季市民体育大会（個人戦）
- 12月 八尾市選手権大会（団体戦）
- 2月 冬季大会（ダブルス戦）
- 3月 事業所対抗大会（団体戦）
- 3月 家庭婦人大会（個人戦）



講習会風景

教育センター夜間練習会 5:30~9:00

- 4月~6月（木）スポーツ教室
- 7月~9月（金）
- 10月~12月（土）
- 1月~3月（火）



練習風景



総体優勝旗を開んで

八尾市軟式庭球協会

活動のねらい

本協会は、庭球を愛好する者をもって組織し、高潔な人格を養い心身の向上と技術の錬磨に努め、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

この目的達成のために、次のような事業を行う。

1. 中学生、高校生、社会人、等の大会、講習会の開催による軟式庭球技能の指導奨励。
2. 各地域、他団体の主催する大会への参加並びに相互親善試合の実施。
3. その他目的達成に必要な事業

創立年月日 昭和29年4月1日

代表者（会長）及事務局（理事長）所在地

代表者 会長 藤井克造

八尾市久宝寺3丁目10番11号

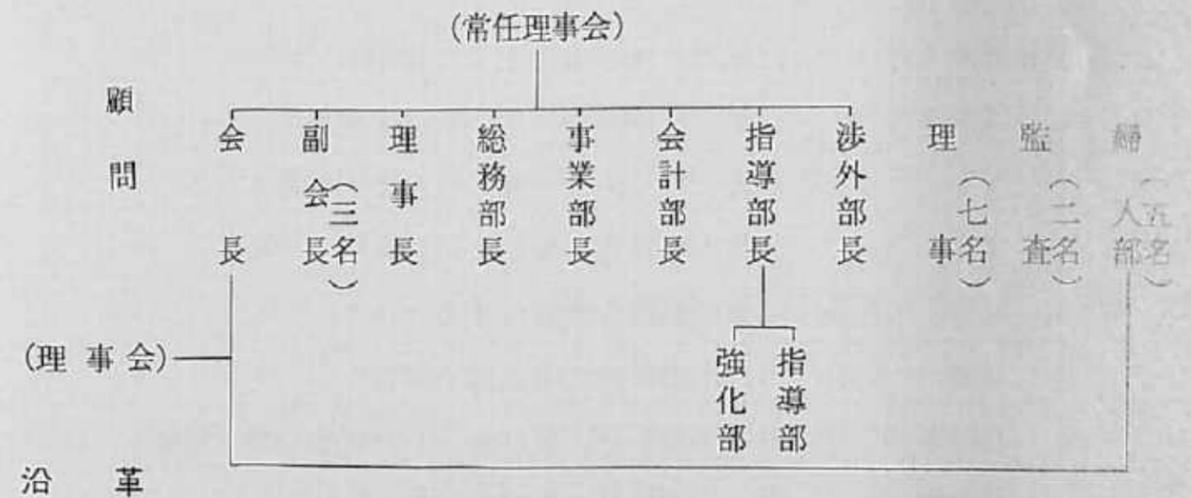
所在地 八尾市栄町1丁目8番14号

（理事長 福西謙治宅内）

電話 93-5838



組織構成図



市民においてテニス協会（当時）は、他スポーツ団体よりもいち早く活動を開始しており、少人数ながらも盛んであった。

昭和30年代は個人加盟よりも市内企業の団体加入が中心で構成され府大会及び全国大会にも優秀な成績を残し、多数の有名選手が活躍していた。昭和40年代には、池田会長（現名誉会長）を中心に役員諸氏の努力により中学生、高校生等の若い人の入会が多くなり一段と活発で、大組織となった。又、その後を継がれた余田会長（現、名誉顧問）になると 底辺の拡大と、技術的向上を図り対外試合にも積極的に参加し、大阪府のランキング選手中、西日本、全国大会に出場する選手が育ってきた。

又、婦人部を発足させママさんテニスにも力を入れ多数の入会者を見るようになった。

昭和40年代中ばには、協会主催の中学校選手権大会、及び20才未満の試合のジュニア大会を新設し若い人材育成の為に事業を行っている。

ただ永年、会員の望みである市民コートが一面も無いことが残念であり、旧清友高校コートや、八尾高コート等を借用し、練習に助んでいた。そしてついに、会員及び市民にも待望であった市民コートが昭和58年2月に完成した。これには、当協会歴代会長、市教育委員会、関係各位の御協力のお陰と感謝しているところである。当協会も、このコートをホームグラウンドとして、藤井会長を中心に、底辺拡大、技術向上、会員相互の親睦に向け、伝統ある軟式庭球協会を継続していく所存である。

- 昭和29年4月 八尾市テニス協会として発足
- 29年9月 八尾市長杯親善テニス大会を実施する
- 30年 市民テニス大会 春・秋の2回開催になる
- 30年 八尾市体育連盟発足と同時に加盟する
- 35年 協会の組織を確立化する
- 38年 10月市選手権大会を設立開催
- 45年8月 市中学校大会、及びジュニア大会を設立開催
- 45年12月 市インドア大会を設立開催
- 45年8月 市立体育館で夜間練習始める
- 46年 協会内に婦人部を設ける

- 50年～ 対外試合に積極的に参加する
- 52年～ 市教育委員会主催でテニス教室の指導に当たる
- 55年～ 中学生、ジュニア対象に審判講習会の開催始める
- 56年 婦人初心者対象のテニス教室の指導に当たる
- 58年2月 市民コート完成

八尾市選手権大会 優勝者

	男子	女子	壮年
54年	元井、福田	重村、上野	
55年	福西、高田	早川、服部	
56年	高橋、高田	中村、服部	前地、余田
57年	福西、高田(協会)	中村、服部	余田、宮部
58年	福西、平山(〃)		植田、岡西
59年	福西、平山(〃)		

八尾インドア選手権大会優勝者

	男子	女子	壮年
昭和43年	余田・浅井		
44	南野・友竹		
45	松尾・片岡	植田・稲井	
46	福西・磯田	植田・稲井	
47	松尾・片岡		
48	宮田・福井	植岡・田島	
49	山崎・栄		
50	福西・高田		
51	南野・平山	植岡・江平	
52	南野・藤井	植岡・江平	
53	福西・東山	屋田・服部	
54	福西・高田	早川・服部	前地・余田
55	鳥川・東山	早川・服部	前地・余田
56	佐伯・福田	中村・森本	余田・梅本
57	佐伯・福田	中村・服部	前地・宮部
58	佐伯・福田	中村・服部	植田・岡西
59	平野・高原	永田・高田	南野・宮部

八尾市軟式野球協会

活動のねらい

本協会は、軟式野球を通じ、会員相互の親睦を深めると共に、青少年の健全育成と市民の健康増進に寄与することを目的とする。

この目的達成のために、次のような事業を行う。

- 1 軟式野球大会の開催
- 2 軟式野球に関する研究指導及び講習会の開催
- 3 対外的競技会への参加、並びに協力
- 4 軟式野球の指導者の養成
- 5 優良チームの表彰
- 6 その他、本会の目的達成に必要な事業

創立年月日

昭和30年 4月1日

代表者(会長)及び事務局所在地

代表者 会長 古橋 了
 所在地 八尾市清水町1丁目1-6 市教委体育青少年課内
 電話23-5101

組織構成図

役員会 (理事会)	会長	初代会長	寺坂 登
	副会長	二代会長	古橋 了
	理事長	初代理事長	阿尾 彰
	副理事長	二代理事長	柴田 日文
	会計	三代理事長	隅谷 博
	監事	現 理事長	小川 忠昭
	理事		

加入規模

一般の部 165チーム(昭和59年度) 少年の部 54チーム(昭和59年度)

Aクラス 15チーム

Aクラス 27チーム(小学6年生)

Bクラス 38チーム

Bクラス 27チーム(小学5年生以下)

Cクラス 112チーム



写真は本堂杯野球創設に尽力された人々です。

沿革

本市は、昔からスポーツ、特に野球のさかんな所で、全国高等学校野球大会には、府立八尾高校が戦前戦後を通じて、春夏10回甲子園出場をはたし、幾多の若者がグラウンドに汗を流し、白球に夢をたくして来た。

又、本堂弥次氏(日新商業→プロ野球)のようにプロ野球で、大活躍され、青少年にスポーツへのあこがれと、夢を与えてくれた名選手も輩出している。

戦後の混乱期、諸先輩(植田、越智、岡本、梶谷、南野兄弟、友田、柴田、池田氏)らの御尽力により、本堂杯野球大会が少年を対象に開かれ、その後少年防犯野球大会、少年軟式野球大会と、名前こそ変わったが、現在も夏休み中に市立山本球場で開催されており、市内各小学校の児童が、A、B2クラスに別れて参加しお父さん、お母さんの熱い声援を受けてガンバッテいる。

昭和28年から、初代理事長阿尾 彰氏らにより、市長旗争奪軟式野球大会が、市民(クラブチーム)や職域チームの参加により開かれて、毎年チーム数も増加し、年々盛んになってきている。その中で選抜チームが大阪府総合体育大会軟式野球の部に出場し、過去優勝4回、3位1回と好成績を挙げ、本市の体育行政発展に寄与している。

昭和30年、市体育連盟発足と同時に加盟し組織化を図った。

本協会の理事は、全員が全日本軟式野球連盟公認審判員のライセンスを持ち、大阪府下でも有数の支部(全日本軟式野球連盟大阪府連盟八尾支部)と

なり、軟式野球を通じて他市町村と親睦を深めており、隅谷 博副会長が、支部選出理事として、府連盟で活躍している。

- 昭和23年 八尾市軟式野球の同好会が発足した。
- 昭和24年 本堂杯野球大会が少年を対象に開かれた。
- 昭和27年 大阪府総合体育大会軟式野球の部に優勝。
- 昭和28年 八尾市長旗争奪軟式野球大会が開かれた。
大阪府総合体育大会軟式野球の部で優勝。
- 昭和30年 八尾市体育連盟発足と同時に加盟し、協会が正式に発足。
初代会長に寺坂 登氏、理事長に阿尾 彰氏が就任する。
- 昭和35年 大阪府総合体育大会軟式野球の部で、3度目の優勝旗を八尾に持ち帰った。
- 昭和38年 第18回天皇賜杯大会に、八尾市役所野球部が大阪代表として、全国大会に出場した。
- 昭和41年 第2回常陸宮賜杯大会中の市立山本球場へ常陸宮同妃殿下をお迎えした。
- 昭和42年 当協会と府軟連八尾支部が合併一体化、より強力な組織となり、会長に古橋 了氏、理事長に柴田日文氏が就任した。
- 昭和47年 大阪府体育連合より、柴田日文氏が表彰された。
- 昭和50年 府軟連創立30周年記念の優秀チーム表彰を、志紀野鳩クラブが受彰した。
- 昭和54年 柴田日文氏が辞任、隅谷 博氏が理事長に就任する。
- 昭和55年 府軟連創立40周年記念の優秀チーム表彰を、松本油脂野球部が受彰した。
- 昭和58年 隅谷 博氏はその功績により、府体連より表彰を受けた。
小川忠昭氏が理事長に就任した。
大阪府総合体育大会軟式野球の部で4度目の優勝。

八尾市長旗争奪軟式野球大会 優勝・準優勝チーム一覧表 (過去10回分)

年 度	クラス	Aクラス	Bクラス	Cクラス	参加チーム数			
					A	B	C	計
50 (第16回)	優 勝 準優勝	森田特殊機工 共 立 鋼	山 水 工 業 日通ビューマーズ	大 阪 木 管 電和スターズ	24	110	48	計 182
51 (第17回)	優 勝 準優勝	電 華 ク ラ ブ 大 栄 倉 庫	近 鉄 高 安 A チャーリーベアー	日本バルカーOB 電 華 土 建	24	148	35	207
52 (第18回)	優 勝 準優勝	電々八尾寮 電 華 ク ラ ブ	中 野 F K 八 尾 現 業	丸 誠 重 工 S O U L	24	131	32	187
53 (第19回)	優 勝 準優勝	近 鉄 高 安 A 野 村 産 業 エレファンツ	電 華 操 車 場 駅 環 境 事 業 局 A	ケンタッキー 辻本ハットリーズ	24	154	32	210
54 (第20回)	優 勝 準優勝	チャーリーベアー 東 洋 フ ル ミ	ケンタッキー 八 尾 清 協	飯田ブラーズ 日本硬質技研	20	151	24	195
55 (第21回)	優 勝 準優勝	柏 村 野 球 ケンタッキー	松 本 油 脂 電 華 操 車 場 駅	金 田 組 山 徳	16	64	99	179
56 (第22回)	優 勝 準優勝	電々八尾寮 電 華 操 車 場 駅	八尾市水道局 シーホークス	太子クラブ デインジャーズ	18	58	106	182
57 (第23回)	優 勝 準優勝	東 洋 フ ル ミ チャーリーベアー	八 尾 ク ラ ブ 八尾ビクターズ O B	大 阪 日 産 八 尾 支 店 坂上工務店	16	54	96	166
58 (第24回)	優 勝 準優勝	次 郎 長 ク ラ ブ 柏 村 ク ラ ブ	八 尾 ル ー ト 25 ケイウン飯田	鍋倉金属工業 日本バルカー現役	14	44	108	166
59 (第25回)	優 勝 準優勝	ケンタッキー 八 尾 清 協	明 治 乳 業 鍋倉金属工業	ブルースター 刑部クラブ	15	38	112	165

最近、スポーツ熱が高まり、特にプロスポーツの影響で、見て楽しむスポーツから、自らプレーして楽しむスポーツに変革し、住民自らが何らかのスポーツを楽しむようになり、早期から家族ぐるみ、又、グループで楽しんでいるのが目につく。

この様な事から当協会は、軟式野球の底辺の拡充及び真のスポーツマンの育成を目ざして、ますます発展したいと念願している。

八尾市陸上協会

活動のねらい

この会の目的は、八尾市における陸上競技活動を盛んにし、優秀選手を育成強化すると共に、すべてのスポーツの基礎である「走る、跳ぶ、投げる」を普及し、底辺を拡大し、併せて「健康ランニング」を、市民生活のリズムとして定着させる地道な活動で、地域社会に貢献しようとするものである。

創設年月 昭和23年4月陸上競技部

昭和30年4月陸上競技協会

代表者(会長)及び事務局

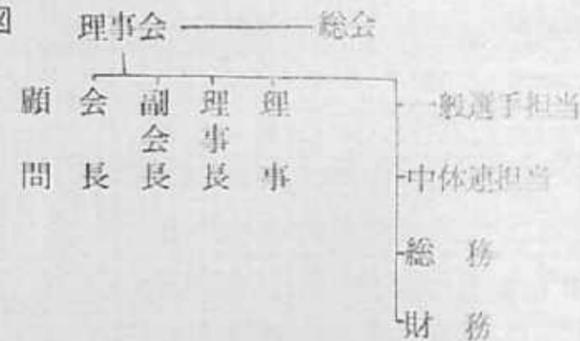
代表者 会長 上山 巍

所在地 八尾市清水町1丁目1番6号

市教委体育青少年課内

電話 23-5101

組織構成図



沿革

昭和23年4月陸上競技の愛好者によって陸上競技部が結成され、八尾市体育同好会に参加し、対外試合には、青年団や少数の愛好者の中から、八尾市代表選手が派遣されていたので、陸上競技部で予選会を行い、代表選手を選考するようになった。

昭和30年八尾市体育連盟結成を期に、八尾市陸上協会として発足し、本格的な活動が始まり、府大会、全国大会での活躍等、着々と足跡を印し、現在に至る。

昭和23年4月 陸上競技部として八尾市体育同好会に参加

“ 26年 第1回八尾市陸上競技選手権大会を開催

- 昭和27年 第1回市民マラソン大会を開催
- “ 34年2月15日 第9回大阪都市対抗駅伝大会 6位、1°17'09"
(コース 泉佐野～大浜 23km。)
- “ 39年12月13日 第13回八尾市民マラソン大会開催(大阪都市対抗駅伝競走大会予選会とする)コース、志紀中～飛行場～大和川堤防南～大正橋折返し、一般、高校、中学
- “ 40年 第19回大阪都市対抗総合体育大会(陸上競技)
女子の部 第2位 男子の部 第5位
- “ 41年8月28日 第20回大阪都市対抗 原田博行100m優勝(11"0)
- “ 41年11月20日 第16回八尾市陸上競技選手権大会を八尾高校にて開催、中学の部を新設
- “ 41年12月18日 第15回八尾市民マラソン大会を開催(コース、河内橋～明治橋折返し)一般の部 萩原三千夫 優勝
- “ 42年2月26日 第17回大阪都市駅伝競走大会 12位(北多、下池、福山、萩原、丸橋、保田) 1°20'48"
- “ 42年 第21回大阪都市対抗総合体育大会 400m上野行男 優勝(53"5)
- “ 42年11月8～11 第16回全国青年大会 府代表として、上野行男出場
- “ 42年12月3日 第16回八尾市民マラソン大会 一般8km、中学生3km、一般の部 清川敬太郎、中学 植田 優勝
- “ 43年9月1日 第22回大阪都市対抗総合体育大会(陸上競技の部)
青年男子の部、女子の部 優勝
走巾跳 中村武志、三段跳 柏山芳孝、60m 楠原順子、100m 中川麻里子、砲丸投げ 青山明己、三種競技 佐藤輝代、400mリレー(女子)優勝
- “ 43年11月9～13 第17回全国青年大会 府代表として、柏山芳孝(三段跳)中川麻里子(100m)青山明己(砲丸投)出場
- “ 44年 第17回秋季市民大会、一般の部100m 小川泰秀優勝

(11" 2) 800m 上野行男優勝 (2' 05" 6)

44年8月31日 第23回大阪都市対抗体育大会 走巾跳 中村武志
200m 芳井和子、スエーデンリレー 優勝

44年11月8日 第18回全国青年大会 府代表として出場 中村武志
(走巾跳) 芳井和子 (200m)

45年2月8日 第1回八尾市駅伝競走大会を開催 (コース、柏原高
校～大和川堤防～大正橋～柏原高校、18km)
優勝 丸一鋼管B (56' 56")

45年2月22日 第20回大阪都市対抗駅伝競走大会 (長居公園) 19位

45年6月7日 第18回春季市民大会を開催

45年8月 第20回八尾市陸上選手権を開催 (八尾高校)

46年 第25回大阪都市対抗 砲丸投 桑鶴順一 優勝

46年11月13日 第20回全国青年大会府代表として出場 桑鶴順一

47年2月4日 第3回八尾市駅伝競走大会 中学之部新設する
一般之部、ホーセイクラブ2連勝 (和田、米盛、大
丸、萩原、池辺、中学之部 大正中学校優勝)

47年8月13日 第21回大阪青年大会 1500m 岩村信行、5000m 関真
澄、砲丸投野口聡喜 優勝

48年2月25日 第23回大阪都市対抗駅伝競走大会、17位 (関、城内、
山根、嘉村、巽、上野) 1' 21' 57"

49年6月16日 第22回春季市民大会開催 (久宝寺緑地陸上競技場)

49年8月25日 第28回大阪都市総合体育大会、ジュニアの部、新設
される。門田昌司 (高美中学校) 走巾跳 優勝

50年8月31日 第29回大阪都市総合体育大会100m 丸田悦子 2位

50年 第23回秋季市民大会 800m 横山輝明 (2' 0" 9)

51年1月11日 第24回八尾市民マラソン大会を開催 (志紀中学校～
大井橋～大正橋～志紀中学校) 壮年の部新設 (8km
谷口、28' 11"、3km 永田、9' 11"、優勝)

51年2月29日 第29回大阪都市対抗駅伝競走大会 第8位 (馬場、

52年1月23日 第25回八尾市民マラソン大会を交通事情により、久
宝寺緑地公園内にコースを変更する。106名参加

52年2月6日 第8回八尾市駅伝競走大会 (久宝寺緑地公園内にコー
ス変更する) 一般之部18.8km、中学之部13km

52年12月 第26回八尾市民マラソン大会開催、一般女子之部、
壮年女子之部新設する。菅なら子、山崎徳子 優勝

53年2月26日 第28回市町村対抗駅伝競走大会 第3位、1' 16'
55" 吉田匡彦 区間優勝

54年1月28日 第10回八尾市駅伝競走大会を開催、一般之部、優勝
八尾教員クラブ 1' 04' 57" 中学之部、優勝
八尾中学校A、50' 07"

54年2月25日 第29回市町村対抗駅伝競走大会 第2位 (上窪、大
津、山田、広瀬、富岡、竹内) 1' 17' 18"

55年2月24日 第30回市町村対抗駅伝大会、第2位 (1' 16' 36")

55年7月27日 第30回八尾市陸上競技選手権を開催する。

56年12月13日 第30回八尾市民マラソン大会を開催する188名参加
一般之部 (8km) 山本健一郎優勝、27' 44"

57年1月 第13回八尾市駅伝競走大会を開催する。中学校の部
八尾中学校 4連勝 (栗田、梶原、下井、岡本、三
島) 51' 30"

57年5月9日 第30回春季市民大会を開催

58年2月27日 第33回市町村対抗駅伝競走大会 ジュニア之部に久
宝寺中学校が代表として出場 (田中、杉原、上久保、
大掘、西村、山下、黒崎、福井、坂本)

58年3月27日 第31回八尾市陸上選手権は、天候事情により3月開
催となる竜華中学校で実施

59年1月22日 第15回八尾市駅伝競走大会開催する。中学校之部
優勝、久宝寺中学校、2連勝

60年1月20日 第16回八尾市駅伝競走大会、女子之部を新設する。
上之島中学校が優勝する。34' 36"

八尾市剣道協会

活動のねらい

本会は、剣道を通じて、会員相互の親睦と、剣道同好者との交流を深めて古来より引きつがれて来た、剣の道の錬磨と普及、発展、技術の向上を期すとともに、人格の陶冶をはかり、あわせて心身の健全な育成に寄与することを目的としている。

この目的を達成するために、次の諸事業を行っている。

1. 剣道に関する研究・指導及び講習会
2. 剣道大会の開催
3. 対外競技参加に関する事
4. 段・級の審査会に関する事
5. その他、剣道の向上発展に寄与するための事業

創立年月日

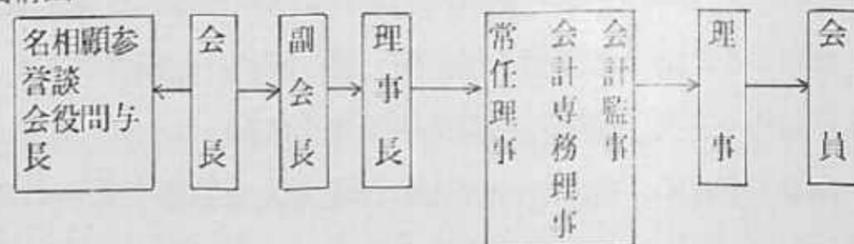
◎昭和34年4月20日 (大剣連届出) (同34、10、24 八尾体連届出)

◎剣道協会歴代会長 初代 石田善硯 二代 中西政太郎
三代 尾方勝躬 四代 本田留五郎
五代 奥平昌男

◎現剣道協会々長 小室 樹

◎事務局所在地 八尾市清水町1丁目1番6号 (市教委体育青少年課内) 電話 23-5101

◎組織機構図



◎段位、称号別、男女別総数 (59. 4. 30現在) 計152名

七段	範士	1	8名
	教士	7	
六段	教士	7	11名
	錬士	3	
	称号なし	1	
五段	教士	3	12名
	錬士	4	
	称号なし	5	

四段	男	9	13名
	女	4	
参段	男	24	30名
	女	6	
式段	男	19	34名
	女	15	
初段	男	18	27名
	女	9	
段外			24名

◎会員

本会は小学生、中学生を準会員、高校生 (社会人) 以上を正会員としている。

その内訳は概ね次のとおりである。

準会員 1,100名

正会員 160名

但し、市内に在住し在勤する剣道愛好者は、高等学校、大学、警察、消防、自衛隊、その他、一般企業に相当数あるものと推定される。

沿革

昭和20年8月15日の終戦によって連合軍は、好ましくないものとして剣道を含む武道の一切を禁止した。明治、大正、昭和の年輪を重ね、富国強兵の奨励もあり、武道は隆盛の歩みを続けて来たが、連合軍の意向を見た文部省は、自発的に学校教材としての武道を廃した。一方、一般社会では武徳会の解散をさせたことで、行政的にも、組織の上から言っても、解体されてしまったが、過去に剣道を体験して来た人々は再び世に剣道が出るという希望を持ちつづけた。敗戦の日より日時の経過とともに、社会的秩序を民主的な立場

から回復し、併せて敗戦の精神的打撃も立て直そうとする気運が盛り上がり国民の要求に対し先ずスポーツの復興に、政府が力を入れ始めた。スポーツとしての剣道の復活と言う形が出て来て、各都道府県に「新しい競技連盟」の結成を見たのが、昭和25年3月5日であったが、祖先より連綿として受けついできた伝統のある剣道と、スポーツとしての「新しい競技」は両者が一つになることは理の当然で、時代に即した剣道と言うことで研究され、昭和27年10月14日、全日本剣道連盟が結成された。これが現在の剣道発展の根本組織であり、八尾市剣道協会→大阪府剣道連盟→全日本剣道連盟と関係されている。(以上参考、剣道の習い方 鈴木政男)

前記の経過を見ても、本市に在住し剣の道を修業している愛好家の多くは剣道復活当時、道場等施設の関係で主として現在の東大阪市内方面に出かけて、稽古を重ねていた実情であったが、昭和34年新春頃より剣道有志の者が同好会的組織体を作ろうと話し合いを重ねて、同年4月20日、正式に八尾市剣道協会の発足を見た。

当時の記録は定かではないが、人員としては小教で、敗戦後10有余年も空白の時代を過ごして来たため、剣道愛好家を主体とした市立成法中学校体育館での稽古の際は、新しく加わった青少年を入れても、総数30名余との事で、今より見た限り、同好会的人員であった。稽古道場も、成法中学校、警察署道場、久宝寺小学校体育館、南山本小学校体育館、山本球場クラブハウス、西郡練成場、現八尾体育会館と変遷を重ねてきた。

現在市内の学校施設(主として小学校)には教校に一つの割合いで少年を対象とした剣道教室が開設され、これらに所属する幼、少年は男女合わせて1,500名以上に達し、毎年この数は増えている。また中学校、高等学校、大学には、剣道クラブが結成され、それぞれ稽古が行われているが、当協会が行う各種の剣道大会には、学年別、男女別、段数別等に分け技を競って居り毎回1,000名近くが参加し盛況である。さらに特色として婦人剣道教室が、体育会館内に開設されて10年余の経過があり、家庭婦人の精進の結果、多数の有段者が誕生しており、家庭生活と社会体育を両立させ、母と子とが互に

剣道に励む姿はほほえましい。

さらに台湾省剣道愛好者との合同稽古を数回行う外、米国ベルビュー市よりの交歓学生(女性)の短期指導も行ったことがあり、国際親善の一助を剣を通じて行った。

今後も当剣道協会挙げて自己研鑽につとめ、地域社会に貢献し得る青少年の健全育成に励み、老若男女を問わず、剣道の理念である「剣の理法の修練による人間形成の道である」を通じて、社会に貢献するよう努めるものである。



八尾市サイクリング協会

活動のねらい

本協会は、サイクリングを通して、協会員相互の親睦と健康の増進をはかり、スポーツ精神の涵養と、併せて交通安全意識の高揚をはかることを目的とする。

この目的を達成するために、次のような事業を行う。

1. サイクリング行事の企画、実施
2. サイクリングスポーツ大会の企画、実施
3. 交通安全意識の高揚にかかわる行事の企画、実施、後援
4. サイクリング活動の指導者の育成
5. その他、サイクリング活動にかかわる諸事業の企画、実施

体育連盟加盟年月日 :

昭和36年4月1日

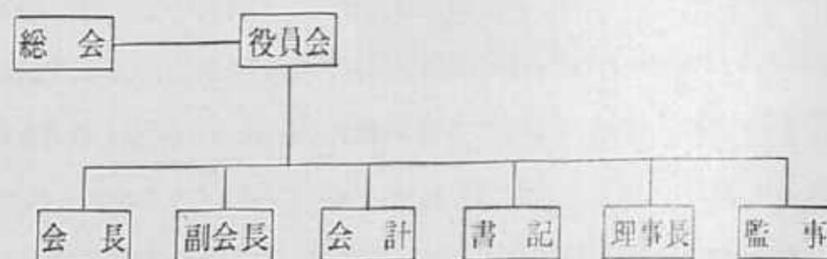
代表者(会長)及び事務局所在地 :

代表者(会長) 西峯 義人

事務局所在地 八尾市恩智中町3丁目153

電話 43-7152(西峯宅)

組織構成図



沿革

戦前から終戦後しばらくの間は、単なる運搬の手段としての技能しかなかった自転車が、日本経済のめざましい復興と自動車の普及によって、運搬や移動の手段から、健康づくりの手段として脚光を浴びる様になってきた。そして、昭和40年代の中頃に「バイコロジー」という新しい語が生まれ、「バイコロジー運動」という形で、私たちの注目を集めるようになった。これは、公害を出さない自転車で健康的な環境づくりを進めようという意味で、バイシクル(自転車)とエコロジー(環境)の2つをつないで作られた言葉である。そして、この運動を通して、自転車専用道路や自転車置場の整備拡充、自転車の再発見が行われてきた。

戦後のこの様な自転車の普及と、それによる健康増進の動きも、昭和48年の石油危機を一つの転機として、現在では、健康づくり、仲間づくりのために、正統的なポタリング(自転車散歩)やサイクリングを楽しむ人びとが大勢いる半面、ファッションの一部ファッションの素材という考えをもつ人も多くなった。その結果、自転車のカラー化が一層進み、街頭では個性的な自転車を見かけることもある。

しかし一方では道路行政の中で常に犠牲を強いられ、遅々として整備が進まない自転車専用道路や、最近では特に、モラルの低下による自転車盗の増加、また、駅周辺での自転車放置という社会問題が深刻化している事実も無視できない状況にある。

このような時代の変遷の中で、当協会では一貫して、「楽しみながら健康づくりをしよう!!」を合言葉に、誰でも気軽に参加できて、友達の輪を広げていけるような行事の企画を中心に、交通安全意識の高揚にも、大いに力を注いできた。そして、昭和36年、体育連盟加盟と同時に、協会組織の充実をはかった。

昭和36年4月1日 八尾市体育連盟加盟

初代会長に、西橋吉氏(故人)が選任される。

昭和38年1月4日 八尾市スポーツサイクリング少年団員約70名が、大和
~5日 路一周初詣サイクリングに参加。



橿原神宮→天理教本部
(泊)→春日大社→二
月堂→三月堂→大仏殿
等を巡拝。

(46年まで毎年1月4・

5日に実施)

昭和40年11月7日 第1回八尾市民スポーツ祭
のオープニングセレモニー
に、サイクリングパレード
で参加(山本球場)・オー
プニングパレードの後大和



路方面をサイクリングし、スポーツ祭閉会時に会場へ
帰着(41年の第2回大会も同じ形で参加)

昭和41年10月10日 大阪府サイクリング協会主催の「サイクリング電車」
ツアーに参加。

(44年まで毎年春秋の電車ツアーに参加し、赤穂、姫
路、徳島、彦根方面等を走る。)

昭和42年5月5日 「大阪府スポーツ少年団」の集いが服部緑地で開催さ
れ、八尾市スポーツサイクリング少年団も参加。

(46年まで毎年参加)

昭和43年～ 春季市民大会の行事として1000mタイムトライアルを
実施

(59年度まで同じ形で実施してきたが、会場の確保に
苦勞する。)

昭和43年～ 秋季市民大会の行事として、
奈良大和路を中心に、多数
の市民の参加を得て、サイ
クリング大会を実施。

(現在に至るまで継続実施中)



47年4月1日 第2代会長に田畑源一郎氏(故人)が選任される。

51年4月1日 第3代会長に西峯義春氏(故人)が選任される。

53年11月3日 西峯義春氏が、社会体育の分野で八尾市より文化表彰
を受ける。

60年6月 第1回八尾の史跡めぐりサイクリングを実施。

東部山ろく方面を半日サイクリング

以上の他にも、日本サイクリング協会主催「全国サイクリングラリー」へ
の参加や、昭和40年代初期に、各地方公共団体が行った「自転車運転合格証」
の発行を契機に、当協会としても、交通安全に関する啓蒙活動を行ってきた。
こうした地道な活動の積み重ねの中から、中国大陸をサイクリングツアーす
る協会員や、春季1000mタイムトライアルの参加協会員の中に、サイクルス
ポーツの分野で、ロードレースの国際大会において目ざましい戦績を収める
人も出てきて、他の協会員にとっては大きな励みになっており、これを契機
に、会の一層の発展を期しているところである。



八尾市野外活動協会

活動のねらい

本会は野外活動を通じて会員相互の親睦を深め市内の青少年グループの育成を図るとともに、野外活動の普及振興に努めることを目標とする。

事業

1. 市内の青少年グループを対象とする教育キャンプの指導
2. 市内の青少年グループの育成とリーダーの養成
3. 会員の資質向上に関すること
4. その他、本会の目的達成に必要なこと

代表者（会長）及び事務局所在地

代表者 会長 岡本 孝史

所在地 八尾市清水町1-1-6

市教委体育青少年課内

電話 23-5101



山のヘルパー達

沿革

地域子供会活動の必要性 指導者のあり方、キャンプのやり方、地形図の読み方などの講習会が実施され、その時の指導者、受講生が集まり野外活動友の会が誕生した。子供会活動の指導にあたる一方指導者の養成と研修に努めた。指導員、育成会の人々の協力を得て恩智に青少年キャンプ場が建設された。湿地帯に井戸を掘り飲み水の確保、かまど作り、ファイヤー場また便所なども整備し市内のこども会に利用されるようになった。

昭和36年頃野外活動友の会が八尾市野外活動協会と改称され角倉俊一氏が会長に選出され更に充実した会となり指導者養成のための講習会が実施され地域の育成者が多数参加し協会員もどんどん増え、他市にまで指導に行くこともあった。

昭和45年に山火事の類焼により山小屋が焼失、翌46年に現在のキャンプ場が再建され、かまど、水道が完備されドラム缶の風呂がシャワーに変わった。

年間の事業は、5月からオープンするキャンプ場の整地、暫く利用されな

かった水道タンク、落葉や土で埋まった溝の清掃、草刈り、そしてキャンプ場での指導、地域子供会のゲーム、ソングの指導、オリエンテーリング、また勤労青少年のスキー教室、他に協賛事業として、手をつなぐ子らのつどい、チビッコふれあいまつり、八尾まつりなどが主な活動になっている。

八尾市野外活動協会の思い出 創始者 角倉俊一

八尾市体育連盟30周年の記念すべき日を迎えられましたことに心からお祝い申し上げます。今から30年程前だったと思います。当時、青少年の非行化防止の一環として野外活動が大きく取りあげられた時代でした。そのころ八尾市も、子ども会が各地に結成されつつありました。スポーツには、ソフトボール、野外活動、当時八尾市にはキャンプ場がありませんでしたので、社会教育課長だった植田広先生と二人で、高安地区から南高安恩智神社一带を3日間山を歩きました。恩智神社から海拔250m高地に、戦前の実弾射撃場跡に目をつけて地主に会って早期に乗り出した、その時市の職員で安井さんがおられて地主の一人だったから話がスムーズに進んだ。その場所まで登って行く道は、道なき道といったところ、笹やぶの雑木で背の丈にのびてものにならない土地でありましたが、子供会育成の方々と友の会のメンバー40名程の人員が一致団結して協力してくれた奉仕精神のひとばかりであった。育成会の大正地区代表、楠実氏や重寛氏もキャンプ場の整地に取りかかった。暑い日も寒い日も、土、日曜日には山で寝起きして作業しました。一日平均70人から100人の奉仕活動の人が山をのぼって来てくれた。各自弁当持参の協力でありました。山でブタ汁をつくり共に食べがんばった。メンバーは、山から学校へ、職場へ、そして日が暮れて、又山に登って来てくれた。土曜日は山は賑やかに作業の計画、サイドのつくるメンバーの顔も明るい。この山で子ども会がキャンプをしながら良い仲間づくり、少年達に夢と希望を与え、楽しい思い出づくりが私達の夢でした。今考えてみれば当時、多くの人々の協力は、たいした力であった。電柱もたてました。キャンプ場の明かりの電燈もすべてメンバーでした。ほんとうに、よくやってくれた。メンバーの親達も協力、理解があった。

スタッフの思い出は家族に伝わっていくことである。メンバーの中には父

子、母子家庭等の青少年も多かった。岡本孝史リーダーが非常に苦心した。水取り方法、ブロック積みも素人ながら上手に水ためをつくってくれた。いよいよテントを張る。

子ども達の喜びの日が来た。立派に出来上がった山小屋も、もちろんメンバーの手でできたのである。あるときは比良山、金剛山、伊吹山にも登った、ユニホームもそろえ80人のメンバーになっていた。青少年の健全育成が会員のテーマであり世の為人の為に奉仕することになりました。この野外活動協会も八尾市体育連盟に加盟してレクリエーション活動の中心的な任務を今なお続けてくれている方々、誠に意義ある活動であります。今後も、ますますのご尽力をお願いしご発展を期待するものであります。

「野外活動協会の思い出」

戦後10年世相もやや落ち着き、青少年健全育成が大きな社会問題となってきた。学校教育、家庭教育も充実の傾向にあり次代を担う青少年の姿に明るさが一段と増してきた。子供達が成長する過程において、拘束されることなくのびのびと、自然に社会から知識及び能力を養っていく社会教育が、ここにきて大きく取り上げられるようになってきた。この種の組織として青年団、婦人会等大人の為の組織のみであったが新たに子ども会を中心とした若年層の青少年対策が進められる方向へと進んできた。当初少数の市社会教育課員と、民生委員及び青少年指導員等からなるスタッフでもって対応せざるを得なかったが、絶体数において指導者層の人的不足が目立ち思うような活動も出来なかった。ボーイスカウト、青少年指導員補助者等の力を借りて諸対策を進めた。この時期、幸いにして野外活動友の会が角倉俊一氏の提唱により発足した。青少年の健全育成を推進することに多くの共鳴者、ボランティアが誕生し、一つのおおきな目標が定まった。会員は必要な知識及び技能の訓練を積み重ね、職場から、学校からの帰路に直接市役所社会教育課に集合し、青色にリスと象のマークをつけた、「ちょっとはずかしかったが着ることに誇りを持った」ユニホームをまとい、連日連夜に亘り市域内各地区へ時には父兄との懇談会、キャンピングの実技指導等に青春のエネルギーをぶつけた。

一つの大きな目標に向かって前進することの喜びを感じとりながら参加者

は、大いに情熱を燃やした。その頃キャンプ場の設置が望まれ、各地域の候補地の内から、見晴らしの良い恩智山に地元の協力を得て設立が決定された。

10数年放置されており、まず進入路造りから作業が始まった。協会員が中心となり青少年関係者の力添えを願い、草を刈り、スコップ、トンガで進入路をつくり、砂、ブロック、セメント、木材等険しい山道の往復を繰り返して、上で水を飲み、下れば旧管理事務所で水を浴び、暑さと戦いながら山小屋の建設に取り組んだ。水の便が悪いと聞けば、谷間から水を汲み上げる索道を岡本孝史リーダーの指導により完成させた。苦勞が実り、ようやくキャンプ場の様相が整い、多数の子ども達を迎え、送り出すことが出来た感激、ヘルパーとして何日も山男で暮らした思い出、青春の情熱がしからしめたこの感動、野外活動協会バンザイと今も大声で叫びたい思いがする。

「山の味」

野外活動は、私の青春でした。すばらしい先輩諸兄にめぐまれて、有意義な人生の方向づけが出来たのも、当時、山の友の会へ参加できたからだと確信しています。山で心地よい汗を流し友と唄い、笑い、飯盒のこげめしを食べたこと、どれをとってもよき思い出として私の人生のアルバムに残っています。

現在の私は、キャンプや野外レクに参加する機会が少なくなっていますが、毎日の仕事に利用しているつもりです。めまぐるしい日常生活にふとした時に山小屋を思い出し、心のふる里にかえています。なんと云ってもおいしかったのは奉仕作業のあと、口の中が真っ黄色に色のつく1升ビン入りの濃縮ジュースでフウフウ云うほどのあつあつの味は、飲んだ者しかわかりませんよネ。現在のキャンプ場になるまでの苦勞話は当時それらにたづさわった人々の胸に見えない勲章として、光っています。そのころの事は、すべてがはっきりと思い出せるはずです。時代がかわってもそれらを受けついでがんばっている仲間達、科学的なあそびは数多くあるけれど、それにも増しておもしろ味があるのは、素朴な山の遊びだと思えます。本来の青少年健全育成のため、現代っ子にその山の味を伝えてほしいと念じています。

八尾市民踊協会

活動のねらい

この会は、市民の健全な娯楽として、健康づくりを目的とし、全員相互の親睦を図り、レクリエーションとして庶民が楽しむ郷土の民踊を研究し、人間関係をよりいっそう深める事を目的とする。

1. 皆で楽しむことを念頭におく
2. 明朗で相手を尊重し自分も楽しむ
3. 物質的（営利）な利益を得ようという考えをもたない
4. 自分が楽しむために使用した公共施設を大切にする
5. 所属団体の規則を守り他から批判を受けない

創立年月日 昭和38年11月1日

代表者及び事務局所在地

代表者会長 松本 富美子

事務連絡住所 八尾市久宝寺6丁目6番41号

電話 23-4168

沿革

昭和33年久宝寺地区内において、青年会の同好会として発足。八尾市体育連盟に昭和38年加盟名称を現在に改め、市民の楽しみとして活動し現在に至る。昭和41年公認指導者（文部省）の資格を取る事の出来る組織である日本フォークダンス連盟（日本民踊科）に加盟する。

永年にわたり行った行事も種々あるが、其の一部を記録する。

- 昭和41年6月御殿場青年の家において、郷土民踊河内音頭を、八尾市教育委員会の後援で全国に発表、講習する。
- 昭和45年3月大阪における万国博覧会で、人々は連日民踊に参加し楽しむ。
- 昭和46年5月第1会民踊の集い、八尾市教育センター内体育館で行う。

- 昭和47年2月11日建国記念日、大和橿原神宮神前において民踊奉納。例年行事として昭和55年迄行う。
 - 昭和47年日本国際芸能祭に民踊参加。
 - 昭和47年11月全国へ再度 河内音頭（まめかち）を発表。
 - 昭和48年11月大阪の民踊地蔵盆踊り全国講習で発表。
 - 昭和50年6月大阪の民踊大阪音頭全国講習発表。
 - 昭和52年6月ハワイ親善日本民踊交歓会参加。
 - 昭和55年松本栄蔵50周年民踊の集い南御堂会館において行う。これより毎年例年行事として5月に大会を行う。
 - 昭和56年10月大和橿原久米寺 久米仙人祭民踊奉納。以後例年行事として参加。
 - 昭和60年5月5日故松本栄蔵追悼民踊まつり、南御堂会館において行う。
 - 八尾まつり第1回より参加。
 - 八尾市教育委員会主催夏季講習会を例年行う。
- 例会日 毎月2回 八尾市教育センター内で行う。

久米仙人まつり



八尾市スカウト協会

活動のねらい

八尾市におけるスカウト運動の振興を図り、青少年の健全育成に寄与することを目的とする。この目的達成のために、スカウト精神とその教育活動の普及啓発、スカウト活動の振興に必要な指導者養成研修、スカウト関係者の友和連絡及び研究の援助等を行う。

創立 昭和34年

代表者及び事務局所在地

代表者 スカウト協会々長 北 和吉
(TEL22-3861)

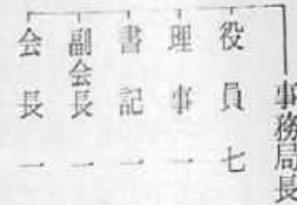
八尾市萱振町1-155

事務局 事務局長 岩城義雄 八尾市恩智南町3-50

(TEL 23-4968)

会員規模 八尾市に団本部を設置しているボーイスカウト ガールスカウト

組織構成図



団名	団本部所在地	団委員長 (代表)	団委員長の 住所	電 話	標 識	スカウト数	合計
ボーイスカウト 八尾第1団	萱振町4-1 (恵光寺)	本多淳信	萱振町4-1	22-2049	31	59	90
八尾第3団	久宝園1-141 (久宝寺教会)	小林達夫	末広町5-1-11	92-2033	19	58	77
八尾第4団	恩智中町1-60	安井福雄	恩智中町1-60	43-6359	39	68	107
八尾第5団	竹河17	吉村晋一	竹河17	707-4643	35	50	85
八尾第6団	萱振町4-1 (恵光寺)	北 和吉	萱振町1-155	22-3861	37	90	127
八尾第7団	若草町1-18-3	海野忠和	若草町1-18-3	91-2692	39	63	102
八尾第8団	山本町北5-7-8	広瀬立男	山本町北6-4-24	22-3489	35	49	75
八尾第9団	植松町3-3-6 (茨川神社)	山野正雄	植松町7-6-4	23-1193	22	47	69
ガールスカウト 大阪第16団	本町7-10 (西郷会館)	吉澤経子	本町3-3-12	93-5847	25	61	86
大阪第49団	久宝園1-1 (まふた保育園)	竹之内泰子	西木之本4-3	92-3046	17	34	51
大阪第83団	北本町4-7-24	澤田明美	北本町4-7-24	99-3582	27	63	90
事務局町		岩城義雄 (第6団所属)	恩智南町3-50	41-5157	317	642	959

沿 革

ボーイスカウト運動は、1907年英国のベーデン・パウエル卿によって創始された。この運動の目的は、青少年がその自発活動により、自らの健康を築き、社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体得し、かつ誠実、勇気、自信及び国際愛と人道主義を把握し、実践出来るよう教育することを目的としている。

スカウトになろうとするものは、自己の意志に基づいて仲間入りの約束として“ちかい”を立てる。これはそのスカウトの一生を内省する鏡であり、自らをいましめる力となる。“おきて”はスカウトが日常生活のよりどころ、物さしとして、自らを律するものである。これらの実践を基盤とし、班制教育と各種の進歩制度を、野外をおもな教場として展開するという独特な教育方法をとっている。

こうした運動をわが国に紹介した人々に、ときの文部大臣やロンドン全権大使、青年団の生みの親といわれる田中義一首相、学習院々長であった乃木希典などがあげられる。大正10年には皇太子裕仁殿下(今上天皇)が英国で、創始者ベーデン・パウエル卿と会見された。

大阪のボーイスカウト運動の起源は遠く62年余の昔にさかのぼる。子供ずきの大人が少年達のためにグループ活動を始めようとした時、何らかの機縁で、その頃さかんに紹介され始めていた英国のボーイスカウト運動に目を付け、自分達の団体にその教育方法を採用し、ともかく手さぐりで始めていったのである。昭和に入って国内はいちじるしく緊迫して来た。いわゆる臨戦態勢下のもと昭和16年大阪のボーイスカウトは影をひそめた。昭和22年1月焼け跡も姿を消したとはいえない復興のころ北摂箕面で豊能第一隊が誕生した。隊長と竜谷大学の同窓であった八尾萱振の恵光寺の本多淳信氏はこの影響を受け、昭和23年6月、八尾第一隊を設立した。本多氏自ら隊長となって、門信徒の子弟を集めて活動を開始したがその苦労はなみのものではなかった。スカウト達の必需品である野営用具をそろえるために、スカウト達は新聞配達を思い立った。新聞配達は2年6ヶ月もつづいた。寺の境内の一隅を耕し、さつま芋や大根をつくった。畠に水をやることも活動の一部であった。まさ

に自給自足の自発活動をしたのであった。門信徒や近隣の人々は、不自由な中からこうした活動を続けているスカウト運動を次第に理解し、数々の支援をしてくれるようになった。

スカウトたちも又、これに応じて墓地の清掃など奉仕することによってご恩返しをするようになった。やがてスカウトたちは、八尾全市から集まってくるようになり、昭和31年に少女を対象としたガールスカウト第16団が誕生し、昭和38年にボーイスカウト八尾第3団が設立された。

この頃、市教育委員会社会教育課長は大いにこの運動に関心をよせ支援した。

(昭和40年に八尾市体育連盟へ加盟する。)

行政のこうした支援に力を得て、各地でスカウト団が相ついで設立され、その数、11ヶ団1千名を数えるに至った。

このスカウトたちは、基本的に野外を教場として、身体をつよくし、心すこやかに、いつも他の人々をたすけるという、“ちかい”を信条とし、みづからの“おきて”を日常生活のものさしとして自発活動をしている。

募金活動をしたり、放置自転車追放運動のてつだい、八尾史跡ハイキングコースの清掃は、年間を通じてのプログラムに組みこまれ、奉仕を通じて自らが生かされている大自然や、地域社会に対する恩恵を身体でおぼえご恩がえしをしようとするものである。又、目的を同じくする他の団体の人々とも、積極的に交流をふかめおおぜいの仲間をつくることにも心がけている。

昭和59年7月、協会発足25周年記念スカウト大会を盛大に挙行了。八尾市長はじめ教育長やライオンズ、ロータリーの方々や育成連絡協議会など、多彩なご来賓をお迎えしての記念行事は、協会発足当時を知るものにとって、まことに感涙の思いであった。



ガールスカウト運動のはじまりは、ボーイスカウトの創始者であるイギリスのロバート・ベーデン・パウエル卿が1909年、特に少女のために始められた。1912年に結婚されたオリーブ夫人とあいたずさえて献身的な努力により、このすぐれた目的と、組織と活動と、プログラムをもつ運動はたちまち世界の人々に共鳴され、1928年には世界連盟が設置された。



現在世界連盟加盟国は104ヶ国、会員数は800万近い人数に達している。日本では1920年(大正9年)東京で初めて団が設立され、しだいに組織が広がって行ったが、第2次大戦中は一時解散しなければならなかった。戦後再び活発となり1949年(昭和24年)に日本連盟が結成された。以来めざましい発展を続け、現在では約66000人余りの少女会員、それを支える大人達も含めて93000人をこえる人々が登録している。

ガールスカウトの目的は、同じ年ごろの少女達がグループを作り、グループ活動の中で楽しみながら心豊かに創造性を養い、実生活に役立つ技術を身につけ将来に備えるとともに、現在おかれている立場で人の役に立つことである。

現在八尾市には、大阪府第16団、49団、83団の3ヶ団あるが、発団30年を迎える16団はスカウティングフォアゲームに基づいて活動を続けている。49団は久宝寺まふね保育園内に有りキリスト教会を母体に「神と国を愛し、いつも他の人を助ける」キリスト教の「隣人を愛せよ」の精神に基づき活動を続けている。83団は用和小学校内で昭和47年に発団「やくそく」と「おきて」を守り 三本の柱「自然と共に」「自己開発」「人との交わり」の教育方針に基づき活動を続けている。激しく変わって行く社会の中で創始者ベーデン・パウエル卿の意志のもとにどのような環境の中にあっても心身共に健やかな青少年に育ててほしいと願っている。

八尾市相撲協会

活動のねらい

本協会は、相撲競技を普及振興して、体位の向上に資し、社会文化の進展に寄与するとともに、相撲愛好者の親睦を図ることを目的とする。

創立年月日 昭和40年4月1日

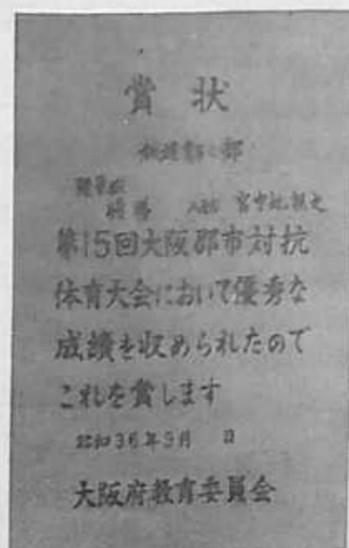
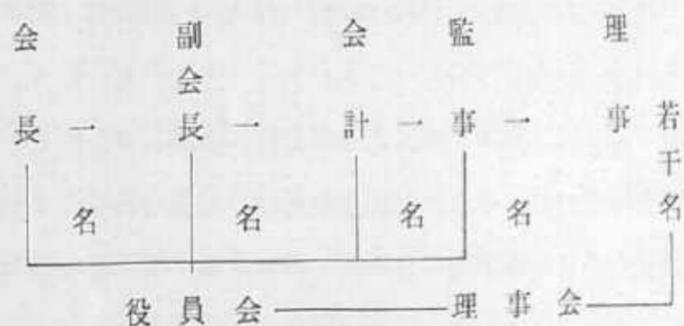
代表者及び事務局所在地

代表者 会長 高田 寛治

所在地 八尾市清水町1丁目1番6号 市教委体育青少年課内

電話 23-5101

組織構成図



沿革

八尾を中心とする中河内地方は、古くから河内相撲の盛んなところであるが、とりわけ八尾市と旧布施市一帯には「素人相撲中組協会」があり数カ所の力士部屋があったほどである。

このような伝統を引き継いで愛好者が集まり、体力づくりを目的として誕生したのが今日の八尾市相撲協会の始まりであって、昭和40年市立山本球場内に相撲場が建設されると同時に芋谷清先生を初代会長に迎えて発足した。

以来府下大会に参加を重ね、3年後には全国大会に出場してベスト8にまで進出するという実力を備えるに至った。しかし、その後山本球場内の相撲場がトレーニング・ルーム開設によって姿を消し、また時代の風潮が“するスポーツ”から“観るスポーツ”へと変化したことも手伝ってか、成人よりむしろ子供中心の「ちびっ子相撲」がその主流をなしているのが現状である。



バスケットボール協会

活動のねらい

バスケットボールを通して、身体的発達（持久性、敏しょう性、巧ち性など）を養成し、同好者が親睦を深め、協力、寛容などスポーツマンシップの涵養あらゆる社会性を育成しながら人格の陶冶を図る。また、安全、健康への意欲を喚起し、あわせて八尾市バスケットボール界の発達に寄与することを目的とする。

この目的を達成するために、次のような事業を行う。

1. 競技会の開催
2. 講習会の開催
3. 競技規則、施設、用具等の研究指導

組 織

会長 国尾一嘉
副会長 (1名) 川本好秀
理事長 佐藤 茂

- 総務部 小川幹之、林田孝一、平沢正太郎
- 競技部 寺辺浩二、岩松孝和、八百親司
- 審判部 長田正治、奥田貢、谷陸博
- 技術部 平島直人、沢田昌伸、楠本薫、西村真樹夫
- 安全対策部 米崎博行、村尾千代香、中田淳一



創立 昭和40年4月

代表者及び事務局所在地

代表者 会長 国尾一嘉

所在地 八尾市清水町1-3-31

電話 22-7084

歴 史

1891年、アメリカのYMCA訓練学校の教師ネイ・スミスが、冬季に室内で行える自由で創造的活動のゲームとして考案した。

わが国には、1908年に同校を卒業して帰国した大森平蔵が神田YMCAに勤め、はじめて紹介したといわれる。しかし、国内で普及する契機となったのは、1914年に来日した米人ブラウンが神戸、横浜など各地のYMCAに紹介したことによる。



今後の課題

生活化への育成

男女共に運動量を適当に加減することができるので、かなり年をとっても行うことができると共に、常日頃練習して身についたプレーが瞬間的に行われるので、ハビットゲームと云われる程で、日常の生活化への導入に努力しながら、バスケットボールを通じて生活文化の向上を促進させたい。



大会記録

市民体育大会 最近5年間の 1位のみ

55年春季	中学女子	高美中	中学男子	桂中
	一般〃	コスモス	一般〃	久宝寺BBC
55年秋季	中学〃	高美中	中学〃	志記中
	一般〃	コスモス	一般〃	八尾中OB
56年春季	中学〃	高美中	中学〃	東中
	一般〃	コスモス	一般〃	八尾中OB
56年秋季	中学〃	成法中	中学〃	八尾中
	一般〃	八尾東高	一般〃	山本高OB
57年春季	中学〃	成法中	中学〃	曙川中
	一般〃	コスモス	一般〃	高美中OB
57年秋季	中学〃	成法中	中学〃	曙川中
	一般〃	コスモス	一般〃	ボーイズ
58年春季	中学〃	成法中	中学〃	曙川中
	一般〃	コスモス	一般〃	日立八尾
58年秋季	中学〃	成法中	中学〃	曙川中
	一般〃	コスモス	一般〃	久宝寺BBC
59年春季	中学〃	曙川中	中学〃	曙川中
	一般〃	コスモス	一般〃	夕陽丘クラブ
59年秋季	中学〃	成法中	中学〃	桂中
	一般〃	高美中OG	一般〃	日立八尾

大阪府総合体育大会

男子 優勝 22回 29回 33回 34回 35回大会 計 5回

第2位 5回 第3位 4回

女子 優勝 34回大会 1回 第3位 3回 第5位 2回

八尾市空手道協会

活動のねらい

空手道の技術及び理論の研究、実践を行うとともに、空手道の普及、発展を図り、空手道を通じて健全なる精神の涵養と体力の向上に努めるとともに、会員相互の親睦を図る。

創立 昭和28年9月

会長 田中 彰

事務局 八尾市高砂町2-28 府住19-634 竹本英文方

沿革

昭和28年9月 日本空手道会系東流拳龍会八尾道場の有志により、空手道を通じて、心身ともに健全な、次代をにやう青少年の育成を目ざし、八尾市空手道協会が結成され、八尾隣保館（南本町3-4）に道場を開設する。

昭和30年~33年 八尾市民体育大会において、協会員による空手道演武会を帝国製糸グラウンドで開催、(この演武会は、当時空手に対する世間の評価が必ずしも好ましいものではなかった時代に、正しい空手道の普及、発展を図るうえで大きな役割を果たした。)

昭和39年10月 全日本空手道連盟発足。

昭和41年8月 八尾隣保館の建替えにより、道場閉鎖。

〃 9月 常光寺片岡住職のご好意により、境内を拝借し、青空道場として再開する。

夜間、投光器の下、夏は泥まみれになり、冬は1、2月の厳寒期、寒風吹きすさび、境内の楠の梢を鳴らすその音が一層寒気をつのらせ、凍りつくような冷たさの中で、身につけるものは空手着一枚、歯をガチガチ鳴らし、震えながらした練習も、今は懐かしい思い出である。

- 昭和44年1月 全日本空手道連盟が財団法人の認可を受ける。
- 10月 道場を山本球場内クラブハウスに移す。
- 10月 第1回全日本空手道選手権大会が開催される。
- 昭和45年10月 第1回世界空手道選手権大会が開催される。
世界33ヶ国参加（東京武道館）
- 昭和46年 山本球場内に柔剣道場が建設される。
道場を、柔剣道場に移す。
- 昭和47年3月 （財）全日本空手道連盟がアマチュアスポーツとして（財）
日本体育協会に加盟を承認される。
- 昭和49年9月 八尾体育会館竣工にともない、道場を八尾体育会館に移す。
柔剣道場内空手道教室は、地元より継続の要望があり、南
山本小学校体育館空手道教室として新設する。
- 昭和50年4月 八尾体育会館空手道教室開設にともない、その指導に当る。
- 昭和56年 空手道が、国民体育大会に正式種目として採用される。

空手道は、その技の持つ独特な魅力もさることながら、健康と体力の維持・増進、健全な精神の涵養、更には人間形成の上でも多大の効果をもたらすものとして、今日、わが国のみならず、広く世界各国に普及し、その発展はめざましいものがある。

当協会も結成以来、大過なく順調に発展してきた。これもひとえに関係各位のご協力と、ご支援のたまものと深く感謝している。

今後とも体育連盟の一員として、社会体育の発展のために、微力ではあるが、空手道を通じて寄与していきたいと思っている。

終わりに、近年の協会活動を略記するとつぎのとおりである。

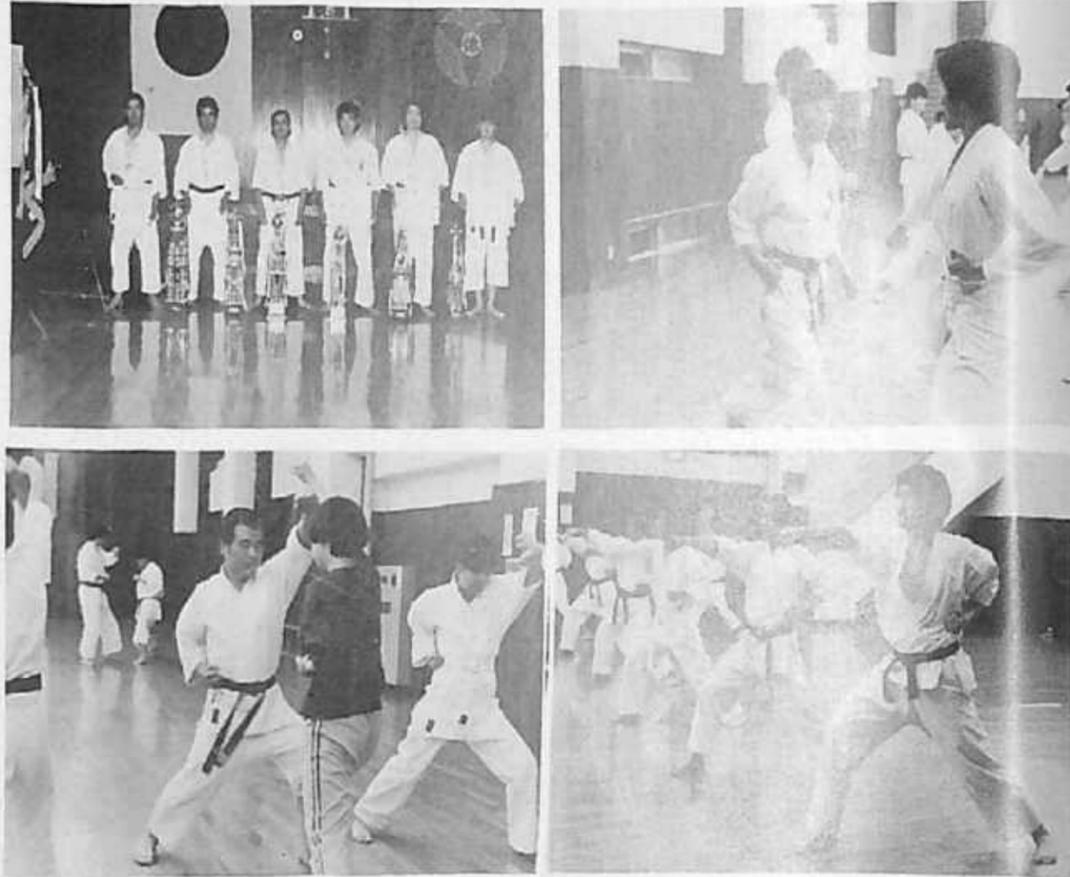
協会活動記録

- 57・5・30 第16回大阪府空手道選手権大会
団体戦 八尾市 2位
個人戦 中量級 優勝 矢部満彦
無差別級 2位 山口 純
- 57・8・22 第37回国民体育大会近畿地区大会（ミニ国体）
空手道競技の部（大阪府代表）
個人戦 中量級 優勝 矢部満彦
重量級 優勝 山口 純
- 57・10・2～4 山口純君 鳥根国体空手道競技重量級3位入賞
- 57・12・12 山口純君 第10回全日本空手道選手権大会に大阪府代表として出場
- 58・5・22 第17回大阪府空手道選手権大会
兼第10回都市対抗団体戦
団体戦 優勝 八尾市
個人戦 中量級 優勝 矢部満彦
女子組手の部 3位 徳丸和実
- 59・5・20 第18回大阪府空手道選手権大会
個人戦 重量級 優勝 山口 純
2位 荻本謙二
無差別級 優勝 矢部満彦
- 59・7・28 第24回空手道糸東会全国選手権大会
団体戦 優勝 八尾体育会館空手道教室
個人戦 無差別級 優勝 矢部満彦
- 59・10・13～15 奈良わかくさ国体空手道競技の部
無差別級 山口 純
中量級 矢部満彦
の2名が大阪府代表として出場し、
矢部君は中量級で優勝した。

兼第12回郡市対抗団体戦

団体戦	優勝	八尾市	
個人戦	重量級	優勝	山口 純
	中量級	2位	奥野真人
	無差別級	3位	矢部満彦

なお、現在練習は市内各所で行っています。



八尾市バレーボール協会

活動のねらい

わが協会は、バレーボールを通して八尾市民及びスポーツ団体の親睦と、技術の向上を図り心身を鍛練し、併せて斯道の発展、普及に寄与することを目的とし、次のような事業を行う。

1. 八尾市教育委員会、体育連盟と協力し市民及びその団体のバレーボール大会の開催と後援
2. バレーボールの普及発展と技術向上に関する指導
3. バレーボール審判員の養成

設立年月日 昭和30年4月1日

代表者(会長)及び事務局所在地

代表者(会長) 井上愿彦

所在地 八尾市陽光園2丁目5番28号 近江スポーツ館内

電話 22-2688

沿革

バレーボールが、わが国に導入されてからの歴史は古く、70有余年となりその間の普及と発展は日ざましく、現今バレーボールは実施可能の範囲を網羅して学校に、職場に、家庭に、老若男女を問わず興味をわかせて、競技の永続性と、優秀性を誇りつつ、心身を白球にゆだねて、明るくゲームを展開し、いまやわが国スポーツ界で優位を占め、とどまりを知らない発展をみせている。

八尾市においても、東京オリンピック(昭和39年)を契機に、バレーボール愛好者が増えてきた。

この大会の前年(昭和38年3月)に八尾市実業団バレーボール連盟(会長 田中誠三郎、理事長 堀 博幸)が結成され、スポーツを通して、八尾市内の企業の発展と若者の心身の育成に寄与してきた。

それまで八尾市教育委員会主催の春秋の市民大会しか試合が開催できなかったが、実業団連盟の結成と、協会の再編により、年間競技数も倍増し、バレー

ボール愛好者が増加した。実業団連盟発足当時は、男女20チームが加盟登録し、試合は屋外で行われ、会場の確保と当日雨天の場合の処理に役員は大変な苦勞を重ねた。その後家庭婦人のバレーボール愛好者が増えて、市内の各小学校・中学校の校区を中心としたチームが各大会に出場するようになり、昭和46年には八尾市家庭人バレーボール連盟（会長 神立悦二 副会長 辻本寿美子 理事長 山中昌子）が結成され協会の下部組織として加盟をした。家庭人連盟も年ごとに会員の増加をたどりながら、会員相互の親睦を図り大きく成長し、現在では、33チームが加盟し、会員数も500名を越え、華々しく活躍をしている。

又協会として人材育成のため、市内中学校、高校の大会等についても、大いに協力し参画をしてきた。

八尾市からは、東京、ミュンヘン両オリンピックで名を世界にとどろかせた、千葉勝美（旧姓 松村 植松出身 竜華中学校—四天王寺高校—ニチボー貝塚）をはじめ多くのバレーボール選手を送り出してきた。

毎年行われる大阪府都市対抗大会には、単独又は選抜男女チームを派遣し好成績を残してきた。特に昭和45年、昭和46年には、2年連続で、全国青年大会女子之部で、大阪府代表で出場し、昭和45年には見事全国制覇を成し遂げた偉業は絶賛に値するものである。

現在、八尾市バレーボール協会がここまで立派に成長したのも、偏に歴代役員の間々ならぬ努力のたまものと深く感謝すると共に、今後協会の益々の発展を念願する次第である。



全国青年大会優勝 選手及び役員
(昭和45年 東京)



家庭人連盟結成10周年記念式典
(昭和55年)

昭和60年度 協会登録チーム数 男女38チーム (約600名)

春秋季市民体育大会

年度	男子の部			女子の部			
	優 勝	準 優 勝	三 位	優 勝	準 優 勝	三 位	
50	春	東洋アルミ		曙川クラブ	若草クラブ		
	秋	山本クラブ	東洋アルミ	市役所 市排 役 竜 所 会	曙川クラブ	志紀クラブ	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
51	春	八尾航空隊	市役所	松本油脂	曙川クラブ	志紀クラブ	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
	秋	大川家具	市役所	東洋アルミ 市排 役 竜 所 会	球友会	志紀クラブ	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
52	春	大川家具	山本クラブ	ヤマトエスロン 久保田鉄工 平野金屈 久保田鉄工	球友会	S V B M	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
	秋	大川家具	東洋アルミ	象印クラブ	志紀クラブ	東山本小P	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
53	春	東洋アルミ	市役所	象印クラブ	象印マホービン	曙川クラブ	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
	秋	山本クラブ	東洋アルミ	象印クラブ	曙川クラブ	パンサス	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
54	春	大川家具	八尾自衛隊	電々八尾 大正クラブ	曙川クラブ	球友会	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
	秋	大川家具	排 竜 会	桂 Y C C	曙川クラブ	ぎんなん	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
55	春	東洋アルミ	はくび会	大川家具 電々八尾 曙大川東	曙川クラブ	竜 華	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
	秋	東洋アルミ	大川家具A	電々八尾 曙大川東	曙川クラブ	球友会	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
56	春	六 三 志	大川家具	電々八尾 曙大川東	曙川クラブ	パンサス	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
	秋	六 三 志	大川家具B	星桂 電 器 C	曙川クラブ	志紀クラブ	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
57	春	大川家具	東洋アルミ	六久保田鉄工 三田鉄工	曙川クラブ	パンサス	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
	秋	東洋アルミ	桂 C	大川家具 排 竜 会 A	曙川クラブ	竜 華	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
58	春	大川家具	六 三 志	東洋アルミ 東川中 O B	曙川クラブ	てんとう虫	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
	秋	大川家具	六 三 志	排 竜 会 大 経 法 大	パンサス	曙川クラブ	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
59	春	星 電 器	久保田鉄工	らいおん	曙川クラブ	パンサス	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ
	秋	八尾 A スポーツマン C	八尾 B スポーツマン C	大川家具 らいおん	パンサス	球友会	曙川クラブ 志紀クラブ 曙川クラブ

9人制総合選手権大会

年度	男子の部			女子の部		
	優勝	準優勝	三位	優勝	準優勝	三位
50	松本油脂	市役所	星電器	曙川クラブ	志紀クラブ	刑部小P
51	久保田鉄工	市役所	東洋アルミ	曙川クラブ	志紀クラブ	若草クラブ
52	大川家具	久保田鉄工	新田ゼラチン	曙川クラブ	志紀クラブ	市役所
53	象印C	東洋アルミ	松本油脂	曙川クラブ	ぎんなん	パンサス
54	久保田鉄工	排電会	平野金	曙川クラブ	球友会A	久宝寺P
55	大川家具	六三志	久保田鉄工	曙川クラブ	志紀クラブ	パンサス
56	大川家具	六三志	市役所	球友会	竜華	久宝寺P
57	大川家具A	排電会	市役所	球友会	パンサス	久宝寺P
58	六三志	排電会	市役所	パンサス	志紀クラブ	久宝寺P
59	大川家具	東洋アルミ	市役所	パンサス	曙川クラブ	久宝寺P

6人制選手権大会

年度	男子の部			女子の部		
	優勝	準優勝	三位	優勝	準優勝	三位
50	八尾高クラブ	松本油脂		曙川クラブ	南高安小P	パンサス
51	山本クラブ	東洋アルミ	久保田鉄工	志紀クラブ	球友会	南高安小P
52	象印C	八尾高クラブ	東洋アルミ	八尾高校	パンサス	志紀クラブ
53	排電会	八尾高校	東洋アルミ	パンサス	竜華	市役所
54	大川家具	八尾高校	八尾高クラブ	パンサス	志紀クラブ	球友会
55	八尾高校	大川家具A	電々八尾	パンサス	竜華	電球クラブ
56	大川家具B	大川家具A	大川家具B	球友会	パンサス	星電器
57	大経法大	八尾航空隊	東洋アルミ	志紀クラブA	パンサス	志紀クラブA
58	六三志A	六三志B	大川家具	パンサス	曙川クラブ	東高安
59	西朋クラブ	大川家具	八尾スポーツマン	パンサス	てんとう虫	志紀クラブ

八尾市体操協会

活動のねらい

本協会は、八尾市における体操愛好者の集まりであり、スポーツを通じ体操の美と創造を求め、会員の体力向上、会員相互の親睦及び友好、友情の輪を広めること、さらに体操の普及活動を通して、市民の体操への感心を一段と高め、体操を愛し自らも進んで正しく、楽しく、安全に体操する習慣を身につける為技術の向上を図り、ひいては心身の健全な育成に寄与することを目的とする。

目的達成の為に次のような事業を行う。

1. 練習会の開催
2. 指導者講習、研修会の実施
3. 市民大会及び体操クラブ大会等競技会の実施
4. 府下における各種体操クラブとの実演会 研究会の実施

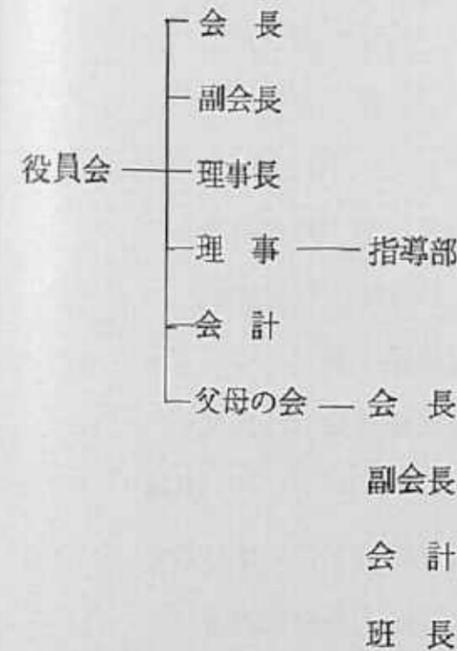
協会創立年月日 昭和43年4月1日（大阪府下初めて）

◎会長 西田 進（西田鉄工株式会社）

◎理事長 平田正司（豊辰 平田商店 八尾市会議員）

◎事務局 八尾市本町4-4-17 電話22-2820

◎組織図 昭和60年度会員数65名（男子24 女子41）



現協会員

沿革

我が国の体操界を顧みると、昭和30年代後半の東京オリンピックから40年代の全盛期は、オリンピック、世界選手権大会等において連続制覇の偉業を達成するなど「体操日本」の名をほしいままにした栄光の時代であった。

器械体操と云えば、他のスポーツとは一味違って一般的になじみの薄い競技種目であるが八尾市立教育センター設立を契機に市内体操愛好者のたゆまぬ情熱により、大阪府下では初めて体操クラブ組織として八尾市体操協会が発足し同時に八尾市体育連盟に加入した。その間、大阪府下大会はもとより、近畿大会、全日本大会、国民体育大会、そして国際大会等にも出場出来る優秀な選手を育て、「体操八尾」の名を体操界に強く売って来た。又当時の協会内での会員の結びつきは単なる平面的対話によるものだけではなく、お互いに汗を流し合い、心身共に触れ合うことを信条として自然発生的雰囲気の中で行動を共にした。このことは体操の個人プレーをおぎなう集団生活において、規律性、協調性、創造性、愛好心、友情、そしてスポーツ意識をより一層深めたと思う。又体操種目という個人競技の特殊性ゆえに「自主性と責任感のある自己表現」をモットーに練習に励んで来た。現今では選手層の低年齢化がさげば大阪府下においても数多くの体操クラブが普及されているが、八尾市体操協会としては、社会体育のあり方を忘れる事なく、子供達が正しい目標のもとで楽しく体操が出来るよう方向づけて行きたいと願うものである。

◎歩み

・43年協会設立

- ・毎週一回教育センターにおいて練習会始める
- ・大阪高校体操選手権大会（於教育センター）

平田哲史 個人総合第2位 床第1位 鞍馬第1位

平行棒第2位 鉄棒第2位 鞍馬第3位

・全国高校体操選手権大会

平田哲史 鞍馬第2位 鉄棒第3位

国民体育大会

平田哲史 団体第4位 鞍馬第2位

・44年

- ・大阪体操選手権兼国体予選大会

平田正司 第7位 島崎康行 第3位

平田哲史 第2位 森脇純 第9位

- ・国民体育大会

島崎康行 平田哲史

・45年

- ・大阪体操選手権兼国体予選大会

島崎康行 第1位 平田哲史 第1位

- ・国民体育大会

島崎康行 平田哲史

・46年

- ・大阪体操選手権兼国体予選大会

島崎康行第1位 田中幹雄 第9位

- ・国民体育大会

平田正司（監督） 島崎泰行

- ・オリンピック選手一同大阪体操祭

平田正司（役員）

平田哲史（選手）

・47年

- ・大阪体操選手権兼国体予選大会

島崎泰行 第3位 末正均 第8位

- ・ミュンヘンオリンピック日本代表大阪大会

平田正司（役員）

・48年

- ・全日本中学生体操選手権大会大阪大会（於教育センター）

市内中学生出場



協会設立当初メンバー



和歌山国体



三重国体



練習風景

・全日本ジュニア体操選手権大会

平田正司（役員）

・49年

・日本、中国友好体操競技大会

平田正司（役員）

・全日本中学生体操選手権大会（於教育センター）

市内中学生出場

・50年

・第1回大阪ジュニア体操競技大会（於教育センター） 練習風景

市内小中学生出場

・国民体育大会

平田正司（監督）

・大阪府下体操講習会（於教育センター）

八尾市民大会（春秋）

八尾体操クラブ杯大会

八尾体操理事長杯大会

NYK杯体育競技大会

八尾体操フェスティバル

◎八尾市体操協会で育った優秀選手

・平田正司氏 全日本クラス 国体選手 監督（現八尾市会議員）

・島崎康行氏 国際、全日本クラス、国体選手（現大阪商大附属高教師）

・平田哲史氏 国際、全日本クラス、国体選手西ドイツ留学（現、福教大助教）

・森脇 純氏 府下大会ランキング入賞、国体選手（現自営）

・末正 均氏 府下大会 近畿大会ランキング入賞（現八尾南高教師）

・品川美加氏 府下大会入賞（現エアロビクス・ジャズダンス講師）

・福丸久美氏 国体出場（現四天王寺高校生）



大会記念写真

八尾市サッカー協会

活動のねらい

本会は、サッカー競技の健全な発達及び普及振興をはかることを通して、入会団体並びに会員・同好者相互の親睦とスポーツマンシップの高揚をはかることを目的とする。

この目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 試合、研修会並びに指導
2. 普及並びに宣伝
3. その他、本会の目的を達成するために必要な諸事業

設立年月日 昭和43年12月1日

代表者（会長）及び事務局所在地

代表者 会長 日吉政男

所在地 八尾市清水町1-1-6

市教委体育青少年課内

電話 23-5101

組織

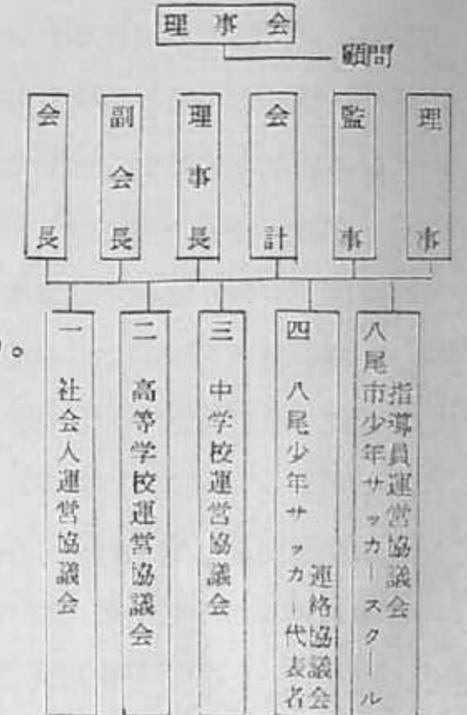
1. 第1種 社会人 19団体
2. " 2 " 高等学校
3. " 3 " 中学校 12団体
4. " 4 " 地域少年サッカークラブ 8団体

第5回全日本少年サッカー

大阪大会参加記念



組織機構図



沿革

昭和43年メキシコオリンピックのサッカー種目において、日本代表チーム（当時釜本選手が得点王になるなど活躍）が、日本サッカー史上初の堂々たる銅メダル獲得の大快挙を成し遂げ、全国的にサッカーブームが高まりつつあった背景の中で、当時日本サッカーリーグ二部電々近畿監督として活躍しておられた故嶋野耕三郎先生の熱心な御指導により、同年10月4日市内事業所・学校・市役所等のサッカー愛好家一同が八尾市役所職員会館に集まり、八尾市サッカー協会結成準備実行委員会が発足し、同年12月1日八尾市サッカー協会結成と同時に、連盟入会団体並びに会員の組織化に着手した。

特に、底辺を拡大するための少年サッカー普及を最重点目標にかかげ、地域少年サッカークラブ並びに学校サッカークラブ育成に努めてきた。

本協会結成以来満16年の歩みについて、略記すると次の通りである。

- 昭和44年4月1日 第1回八尾市サッカー協会総会開催、初代会長に寺坂登氏就任
- 〃 10月 八尾市体育連盟に加盟、初代連盟理事に嶋野耕三郎氏選出
- 45年1月18日 第1回東大阪蹴球連盟親善対抗試合開催
- 〃 4月26日 第18回春季八尾市民体育大会にサッカー社会人の部開催（本協会主管）
- 〃 6月14日 第1回八尾社会人技術講習会開催
- 〃 8月30日 第24回大阪府都市対抗体育大会で八尾市社会人選抜チームが初優勝
- 〃 12月 第1回八尾社会人サッカーリーグ開催
- 46年1月 市教委主催第1回八尾市少年サッカースクール開校（本協会主管）
- 47年4月 嶋野耕三郎氏八尾市体育指導委員連絡協議会会長に就任
- 〃 6月11日 第1回審判講習会開催
- 48年8月 全国自治体職員サッカー大会に関西代表として八尾市

役所チームが出場

- 49年4月 本協会2代会長に千波正氏就任、体連理事に新納正彦氏選出
- 〃 4月 南山本地区に本協会少年サッカースクール開校
- 51年4月 八尾、久宝寺地区に本協会少年サッカースクール開校
- 53年4月 本協会3代会長に日吉政男氏就任
- 54年7月19日 第1回八尾少年ミニサッカー大会開催
- 55年5月29日 第28回春季八尾市民体育大会にサッカー小学生、中学生の部開催（本協会主管）
- 〃 6月11日 第1回八尾市少年サッカー新人戦大会開催
- 〃 8月 第1回八尾市少年サッカースクール夏季合宿開催
- 〃 11月9日 第1回八尾市少年サッカー選手権大会開催
- 56年3月30日 第1回八尾市少年サッカースクール卒業記念大会開催
- 57年5月27日 第1回嶋野杯争奪少年サッカー大会開催
- 〃 11月18日 第1回八尾菊花ライオンズクラブ杯争奪少年サッカー大会開催
- 58年10月16日 第1回八尾市婦人団体連合会会長杯争奪少年サッカー大会開催
- 60年1月4日 第1回セゾンスーパーカップ争奪少年サッカー大会開催

八尾少年サッカー新人戦大会成績

回	年度	優勝チーム名
1	55	大正FC
2	56	大正FC
3	57	大正FC
4	58	住北FC
5	59	交野FC

八尾少年サッカー選手権大会成績

回	年度	Aクラス	Bクラス	Cクラス
1	55	大正FC		
2	56	大正FC		
3	57	大正FC	大正FC	八尾FC
4	58	久宝寺JSC	大正FC	久宝寺JSC
5	59	大正FC	大正FC	久宝寺JSC

八尾市民体育大会

回	年度	季別	一般(社会人)の部	中学生の部	小学生の部		
					Aクラス	Bクラス	Cクラス
25	52	春秋	八尾市役所 豊崎SC				
26	53	春秋	八尾市役所 豊崎SC				
27	54	春秋	志紀SC 八尾市役所				
28	55	春秋	八尾市役所 豊崎SC	八尾中学校	大正FC 大正FC		
29	56	春秋	豊崎SC プロスポーツ	桂中学校	大正FC 大正FC		
30	57	春秋	豊崎SC 豊崎SC	曙川南中学校	大正FC 大正FC	大正FC 八尾FC	八尾FC 南山本J.S.S
31	58	春秋	八尾市役所 八尾東高校OB	曙川南中学校	久宝寺JSC 大正FC	大正FC 久宝寺JSC	久宝寺JSC 久宝寺JSC
32	59	春秋	八尾市役所 八尾東高校OB		大正FC 大正FC	大正FC 南山本J.S.S.	久宝寺JSC 久宝寺JSC

八尾市社会人サッカーリーグ戦

回	年度	Aブロック	Bブロック	Cブロック
1	45	東洋アルミ		
2	46	東洋アルミ		
3	47	八尾市役所		
4	48	シャープ	八尾市役所	
5	49	シャープ	豊崎SC	
6	50	光洋精工	豊崎SC	
7	51	八尾市役所	誠友SC	
8	52	光洋精工	志紀SC	
9	53	八尾市役所	光洋キカイ	
10	54	豊崎SC	光洋キカイ	
11	55	豊崎SC	ホワイトベアー	
12	56	豊崎SC	柏原市役所	光洋キカイ
13	57	柏原市役所	花岡FC	東洋アルミ
14	58			
15	59	東洋アルミ	1FC松原	

八尾市社会人サッカー選手権大会

回	年度	優勝チーム名
1	44	シャープ
2	45	シャープ
3	46	山本高校OB
4	47	山本高校OB
5	48	八尾市役所
6	49	八尾市役所
7	50	光洋精工
8	51	豊崎SC
9	52	八尾市役所
10	53	八尾市役所
11	54	志紀SC
12	55	八尾市役所
13	56	豊崎SC
14	57	豊崎SC
15	58	八尾市役所
16	59	八尾市役所

八尾市ハンドボール協会

活動のねらい

ハンドボール競技の普及と、競技を通して青少年の健全な育成を図る。すなわち、ルールの遵守、チームワークに不可欠な責任感と協調性。

これらを自然に身につけることによって、将来社会に貢献できる人材が育つことを願って活動するのである。

この目的達成のために、次のような事業を行う。

1. 競技会の開催
2. 八尾市民体育大会の協賛
3. 競技の指導、奨励
4. 審判員の指導育成
5. その他目的達成に必要な事業



創立 昭和47年4月1日

体育連盟加盟 昭和47年10月

会長 内田邦夫

副会長 松井良夫

事務局 八尾市志紀町2-42-14 かりかわ歯科内 田村 繁

電話 49-9578

ハンドボールは走・跳・投の基本的運動要素を利用して、ボールをパス、キャッチ、ドリブルしながら相手ゴールにボールを投げ込む競技である。誰でもできる気楽さの反面、ポ



ールを片手で握ってプレーするので、スピードにのった多彩なテクニックが駆使でき、チーム全員のコンビネーション、敏しょう性、巧ち性が要求されるスポーツである。



ハンドボールの起源は古く、古代ギリシヤ時代からよく似た競技があったが、近代ハンドボールは1915年ドイツで創案されたトーフバル（門球）に始まり、それをもとに1920年カールシュランツが11人制の男女ともできるハンドボールを制定した。

日本には1922年（大正11年）大谷武一氏によって紹介された。

オリンピックには1972年のミュンヘン大会で正式種目に採用され、日本も出場し11位と健闘した。これを機に実業団チームも増え、非常に盛んに行われるようになった。



八尾市ローンテニス協会

活動のねらい

本協会は、テニスにより、会員相互の親睦を深め、スポーツ精神の涵養を図り、あわせて、本市テニス界の発展に寄与することを目的とする。

本会は、目的達成のため、次のような事業を行う。

1. テニス講習会、研修会、練習会の開催
2. 各種テニス大会の開催
3. 各地域のテニス団体との親善試合
4. その他本会の目的達成に必要な業務

設立年月日 昭和45年4月1日

会長、理事長及び事務局所在地

会長 乾 隆光

理事長 藤原堅三

事務局所在地 八尾市佐堂町3丁目1番A-9号

ヤオスポーツ内(22)5294

沿革

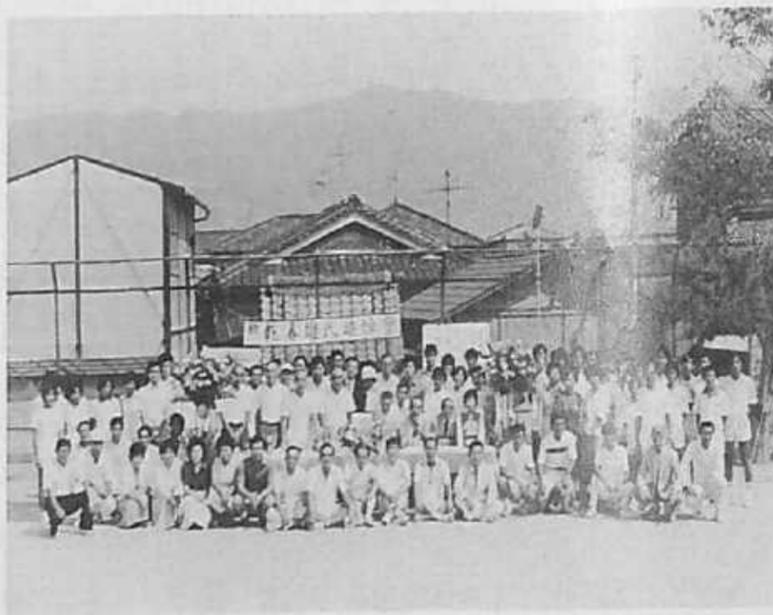
八尾のテニスの歴史は古く、戦後、有名プレーヤーが続出し、テニス界にいろいろ貢献した。

本市のテニス協会のはじまりは、八尾高校テニス部、山本高校テニス部の卒業生によって、その基礎ができた。昭和45年にテニス愛好者が集い、八尾市ローンテニス協会を設立し、初代会長に（故）乾 春雄氏がその職にあたられた。氏は、全日本ベテランのチャンピオンとして、ながく活躍されていたが、他界されたため、昭和53年、その後任に副会長であった乾 隆光（旧制八尾中、関学大で大活躍した）が、会長の職につき、現在に至っている。また、藤原堅三理事長は、本市体育連盟の理事、大阪テニス協会の理事の職を兼ねて、現在に至っている。

本テニス協会は、八尾市体育連盟に、昭和49年から加盟し、他協会との親睦を図りながら現在に至っている。いまだ、他協会のような充分な組織づくり、活動ができていないが、今後、体育連盟の指導のもと、除々にでも、充実した協会にしていきたいと考えている。

近年、本市硬式テニス大会も、一回の参加者が、男子、360人、女子、120人と多数になり、一会場では消化できず、三会場を使って、2日間かかるような盛大な行事になりつつある。

現在、協会に加盟（協力）いただいているクラブ等は、次のとおりである。ヤオテニスクラブ、ヤオグリーンテニスクラブ、北山本テニスクラブ、八尾市役所テニスクラブ、八光信用金庫テニスクラブ、八尾市農協テニスクラブ、不曇のりテニスクラブ、ガードサイドテニスクラブ、ヤマトエスロンテニスクラブ、R. T. T（竜華土建）テニスクラブ、日本電炉テニスクラブ、松本油脂テニスクラブ、東洋アルミテニスクラブ、星電器テニスクラブ、服部川テニスクラブ、八尾高テニスクラブ、山本高テニスクラブ、八尾東高テニスクラブ、清友高テニスクラブ、八尾北高テニスクラブ、八尾南高テニスクラブ、久宝寺中テニスクラブ、志紀テニスクラブ、徳州会テニスクラブ、八尾郵便局テニスクラブ、八尾高OB、OGテニスクラブ、山本高OB、OGテニスクラブほか



八尾市拳法協会

活動のねらい

拳法協会は、八尾市に居住する市民、及び、八尾市内の事業所に勤務するもの、また、市内の学校に通学する学生などの精神教養、護身練胆、健康増進をはかり、市民相互の親睦と明るく楽しい郷土、社会の建設に寄与することを目的とする。

この目的達成のために、次の事業を行う。

1. 演武会、講演会、合同練習、地区大会等の開催及び後援
2. 各種大会への代表選手派遣
3. 拳法の普及と発展、並びに技術の向上に関する指導
4. 各種体育団体との連絡、相互の親睦および協議
5. その他、目的達成のために必要な事業

設立年月日 昭和50年9月1日

役員・事務局所在地

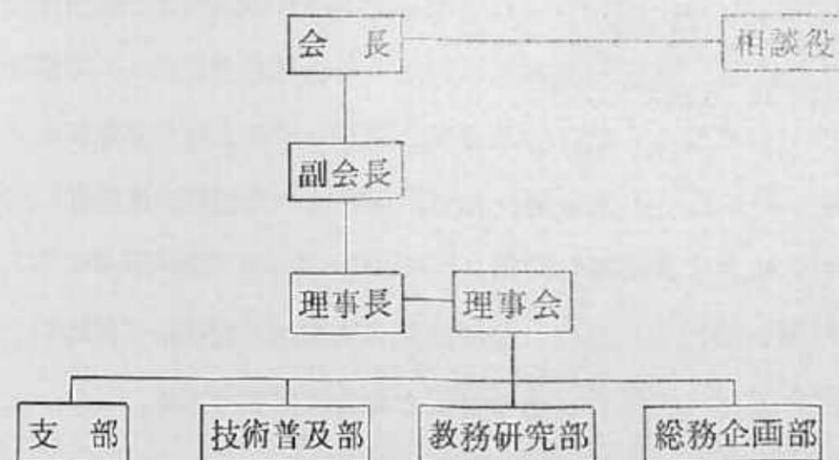
会長 梶田正造
 理事長 中矢富数
 所在地 八尾市太子堂



1-2-12

電話 92-5500

組織



沿革 (日本少林寺拳法の歴史)

今から約1500年前、釈尊の正しい教えを伝えようとはるばる印度から中国に渡り、河南省の崇山少林寺に留まった達磨大師が、寺僧たちの身心一体の行法として、座禅行とともに易筋行(拳法)を修行させたのがその起りとされている。

禅門の行として生まれたこの拳法は、時の流れとともに武術としての色彩を強め、少林武術の名は天下に冠たりと称されるまでになったが、反面、行の影は次第に薄れ、やがては中国古来の各種武術の中に埋もれていった。

昭和の初期、日本民族の捨て石となって大陸へ渡った先代の宗道臣師家は、縁あって少林武術の流れを汲む北少林義和門拳を継承することになるが、それとて、現代の北少林寺拳法にくらべて技術の点でわずかに原形をしのばせるものがあるという程度で、宗門の行としての原点も少なく師家自身、この当時武術を志す意志は全くなかった。

昭和20年8月、満洲で敗戦を迎え、極限状況下での様々な人間の赤裸々な行動の数々を目のあたりにした道臣師家は、法律も、軍事も、政治のあり方もすべてそれにたずさわる人間の考え方や人格によることを痛感し、人づくりによる国づくりを決意して帰国した。



敗戦後の日本人は、道義心も愛国心も失ったばかりか、生きる理想までも失っていた。この混乱から立ちなおし平和な日本を再建するには、剛健な肉体と不屈な精神力を基盤とした自信と勇気と慈悲心にあふれた青少年を一人でも多く育てる以外にないと確信された道臣師家は、香川県多度津町に自己確立、自他共榮をめざす金剛禅を開創、その主行として、中国在住中に学んだ各種の拳技を再編、整理し、達磨以来、絶えて久しかった仏伝正統の行としての少林寺拳法を復元、再興し、その初祖となられたのである。

以来、69才で世を去るまでの33年、開祖道臣師家が声を大にして説きつづけた少林寺拳法の宗門の行としての体質は、二世宗道臣管長とそれを支える100万の門信徒によって正しく受け継がれ、新たな飛躍に向けて運動を展開している。

(協会の沿革)

八尾の土地に少林寺拳法が芽を出したのは、昭和40年6月であり、開祖宗道臣師家によって日本に伝えられて18年をすぎた当時でも、大阪府下における道院、支部数は少なく今日、かくも素晴らしく発展するとは予想もしなかった。

元来、八尾は以前から組織されていた南河内連合会に属し運動を共にし、交流を深めていたが、より地域と密着した活動を発展させようと、50年9月に連合会が発足し、51年4月に体連加盟となった。

八尾地区に進出して以来20年、体連加盟以来10年の歩みの中で、少林寺拳法の持つ教育性と市民に貢献する体育面を運動の中心として展開している。

そのため、各支部において、週2～3日の練習を通じ少林寺拳法の普及、発展に努め、併せて技術を修得することにより目的達成に邁進し、また、毎月1回の昇級試験を合同で実施しレベルアップを図っている。

1年の大会、行事はおおよそ次のとおり(関係分のみ)であり、積極的に参加、派遣を行っている。

- 1月 本部鏡開き式に参加
- 5月 大阪府合同練習に参加
全国指導者研修回に参加
- 6月 春季市民体育大会の開催
- 7月 全国大会大阪府予選へ派遣
- 8月 大阪府スポーツ少年団大会へ派遣
- 9月 関西大会へ派遣
- 11月 秋季市民体育大会の開催
全国大会へ派遣



八尾市バドミントン協会

活動のねらい

本協会は、八尾市におけるバドミントン競技を総括代表し、バドミントン競技の健全な普及発達を図り、併せて、市民の体位向上、並びに市民相互の親睦を深め、市民スポーツの発展に寄与することを目的とする。

目的達成のために次のような事業を行う。

1. 中央における一般（社会人、家庭婦人）を対象にスポーツ教室を行う。
2. 各地域における親子を対象にした巡回スポーツ教室を行う。
3. バドミントン競技に対する講習会の開催
4. 各種バドミントン大会等の行事の開催、または後援
5. その他、斯道の向上、発展に寄与するための諸事業

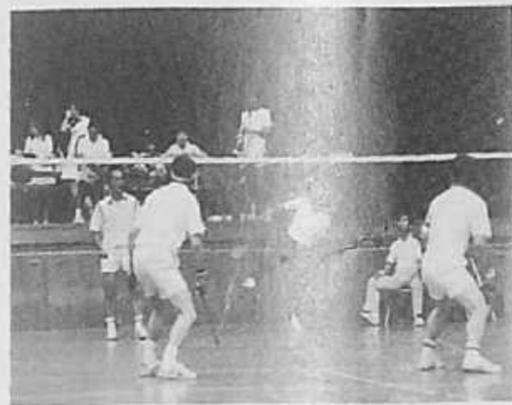
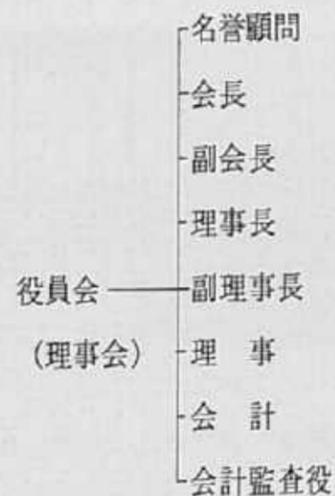
協会創立年月日 昭和51年4月1日

代表者 会長 山口博一

所在地 八尾市清水町1丁目1番6号（市教委 体育青少年課内）

電話 23-5101

組織構成図



下部組織構成図（婦人部）



協会加入者数と年齢分布 昭和60年4月現在

年代 性別	10代	20代	30代	40代	50代	合計
男子	2	18	17	2	4	43
女子	0	16	12	8	0	36
合計	2	34	29	10	4	79

婦人部

20代	30代	40代	50代	合計
1	21	20	2	44

沿革

- 昭和51年4月1日 八尾市体育連盟に加盟、初代会長 山口博一
市立清友高等学校体育館で練習開始
第24回春季市民大会に初参加
- 昭和52年3月20日 第1回八尾市バドミントン選手権大会を開催
八尾市立体育館で夜間練習を始める。
- 昭和53年10月～12月 第1回スポーツ教室を開く、対象家庭婦人3ヶ月
- 昭和54年6月 市立永畑小学校体育館で練習を始める。
- 昭和55年1月8日 家庭婦人部が本協会の下部組織に所属する。
- 昭和56年4月26日 第1回家庭婦人大会を行う。
9月6日 地域巡回スポーツ教室 対象は親子30組
市立山本小学校体育館
- 昭和57年1月 協会報「羽球」初版を発行 年2回発行。
- 昭和58年9月 第37回大阪府総合体育大会 男子優勝する。
- 昭和59年1月～3月 夜間スポーツ教室 対象一般男女
2月11日 審判講習会開催 一般家庭婦人を対象
- 昭和60年3月21日 第9回八尾市バドミントン選手権大会よりシングルス大会 ダブルス大会に分けて行う。

純白のシャトルコックを打ち合うバドミントンは、老若男女だれでもが手

軽に楽しく行うことができるレクリエーション運動として、広く一般の人々に親しまれている。また、その反面、デリケートなラケットさばきによって空飛ぶ鳥のように自由自在な飛び方をするシャトルを追って、コート内を駆けめくり、互に虚々実々のプレーを展開する近代スポーツとして、高度な技術と体力を必要とするものであり、練習を積むほどその無限の奥深さを痛感するスポーツでもある。

今後は、協会の目的達成のため、底辺拡充、育成をめざすとともに、楽しめる市民のスポーツとして発展させたいと願っている。

八尾市バドミントン選手権大会優勝者

回	年度	男 子		女 子	
		シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス
1	昭和52年	福塚徳義	豊田 昭 福塚徳義	中 みは	伊藤 宗竹
2	53	江上剛司	江上剛司 小倉 隆	久家典子	高野久美子 加藤ゆり子
3	54	豊田 昭	川田祐慈 北川行夫	高野久美子	合地清子 高野久美子
4	55	三坪吉幸	江上剛司 渋谷誠一	徳海弘子	合地清子 高野久美子
5	56	三坪吉幸	三坪吉幸 豊田 昭	中 みは	合地清子 高野久美子
6	57	岩本貴嗣	片谷省三 渋谷誠一	金本順子	羽田美保子 金本順子
7	58	松浦一浩	三坪吉幸 松浦一浩	金本順子	金本順子 大内美貴子
8	59	松浦一浩	三坪吉幸 松浦一浩	吉田法子	金本順子 宮崎美恵子
9	60	田中一寛	田中一寛 井谷隆夫	西明希子	金沢浩子 西明希子

市民大会風景



八尾市合気道協会

活動のねらい

「弱きに勇気、強きに愛を与え世界の人々が仲良く勇んで暮せる世の中を」との合気道開祖の導きに基づき次のことを守り活動する。

- ① 老人を敬い、大切にす。② 父母や師の教えを正しく学ぶ。
- ③ 自分の主張をもち、責任ある行動をする。④ 知人、友人と仲良くする。
- ⑤ 人と人とのかかわり合いを大切にしながら、道場においては、心、技、体を一如として「和合武道の錬磨に励み、日常生活においては、朝夕の挨拶に始まり、礼儀を重んじ、人格を高めるために修業を続けること。

組織図



役職名	氏 名	住 所	電 話
会 長	山田文也	南本町1丁目6の12	91-7292
副会長	泉谷一弘	松山町2丁目5の19	91-9673
〃	指吸武志	相生町1丁目8の35	91-1527
会 計	林 敏治	東大阪市 玉串町東3丁目1の5	0729-0729
幹 事	阪口芳和	植松町2丁目9の6	94-8060
〃	村尾明人	西木ノ本3丁目14	92-3385
〃	赤崎真佐夫	久宝寺2丁目1-907	93-0757
顧問	三木田博則	本町7丁目11の10	94-7671
〃	垣内博美	東山本1丁目6の26	99-3140

「合気道」が生まれるまで、



明治16(1883)年12月14日合気道開祖、植芝盛平、和歌山県(現田辺市元町)に生まれる。

18才で上京し人生修業を積みながら、起倒流柔術を習う。

20代前半は陸軍へ、銃剣術、隊内随一となる。退役、実家の農業に従事しながら古流柔術、講道館柔道、柳生流柔術、神陰流剣術など修得。

明治45年～大正元年（1910）政府募集の北海道開拓民に応募し、紋別郡白滝原野開墾に着手、成功し村会議員も務める。この頃（32才）大東流柔術の達人武田惣角氏に会い教えを乞う。大正5年（1916）大東流柔術の免許を受ける。大正8年（1919）帰郷の途中、京都綾部で大本教の出口王仁三郎氏に会う。鎮魂婦神など精神的修養に打ち込む。武術「植芝塾」を開設し、尚一層の修練により心、技、体一如の境地を開き、その神髓を「合気」と呼称し主唱する。

昭和2年（1927）一家をあげて上京、その指導に当たる。

昭和5年（1930）講道館の嘉納治五郎氏来訪親交を結ぶ。

昭和6年（1931）現在の新宿区若松町に専門道場を建設し「皇武館」と称す。

昭和15年（1940）財団法人皇武会として認可される。

昭和17年（1942）「合気道」と呼称する。

昭和18年（1943）茨城県岩間町に合気神社建立する。

昭和20年（1945）8月15日太平洋戦争終戦となる。

同年、茨城県岩間町に合気神社附属茨木道場完成。

昭和22年（1947）「財団法人合気会」とする。

昭和23年（1948）文部省より認可される。

昭和31年（1956）戦後最初の一般公開演武を開催する。（開祖73才）

昭和35年（1960）開祖（77才）に紫綬褒章が日本国政府より贈られる。同年財団法人合気会主催の第1回演武会開催、この年より毎年開催となる。

昭和39年（1964）開祖（81才）に勲四等旭日小綬章が贈られる。

昭和44年（1969）4月26日午前5時 合気道開祖、植芝盛平翁（86才）は天寿を全うし昇神（正五位勲三等瑞宝章が贈られる）

”大宇宙、合気の道はもろ人の光となりて、世をば開かん“（合気道歌）
現在の合気道は、植芝吉祥丸二代目道主を中心に国内（約300）国外（約40ヶ国）官公庁、会社クラブ（約300）、国際合気道連盟、全日本合気道連盟



みそぎ



入身投技

他、拡大発展の途上にある。



正座

「合気とは
萬和合の力なり
たゆまずみがけ
道の人びと」

「合気道のすすめ」

合気道は、日本古来のいろいろな武術修得の中から、開祖植芝盛平が人格的研さんによって精神性、求道性を加え「術」から「道」へと完成させたものである。合気道は、相手を倒す武術ではなく「和合の武道」である。

宇宙遍在 根源の「気」と人間の呼吸を通じて一体化するところにその究極を置く。気と理を和する武道である。



膝行

合気道の特色は、無理をせず素直に合理的な動きが自然に出来るように稽古を重ねる。したがって逆ったり、衝突しては技にならない。

成長期の少年には身体のバランスづくり、心身の鍛練、集中力の養成、青年層には剣、杖を含む多彩な技、女性には美容法と護身術、高年層には健康法として修業を重ねるごとに技の豊富さと、その道の深さの魅力を肌を感じるものである。

合気道には試合がないことも自然と一体となって無理のない動きから当然であり、老若男女を問わず、心身の鍛練法として最も理想的である。



「合気道」練習御案内

場所……八尾市清水町1丁目3の24 又、稽古日以外の時は下記へ

電話……(93)9884 (91)7292(山田)迄

練習日…毎週火木土(祝祭日休み) (91)1527(指吸)迄

練習時間…〔児童の部〕

1部 午後5:00-6:15

2部 午後6:30-7:45

〔一般の部-中学生以上〕

午後8:00-9:15

稽古着…柔道着、空手着いずれも使用

入会手続(入会、会費、休会、退会)は

上記道場へ問い合わせること。

上達方法…昇級(年6回)昇段(年2回)

の審査によって行う。

審査日…原則として、偶数月の第2日旺

審査場所は八尾体育会館3階道場

その他…くわしくは上記道場へ



受身

八尾市ラグビーフットボール協会

活動のねらい

本協会は、アマチュアスポーツとしての正しいラグビーフットボールを普及振興し、その健全な発達を図るとともに、市民の体力向上と明朗なスポーツマンシップの涵養につとめ、本市の文化の向上発展と、市民相互の親睦に寄与することを目的とする。

本協会は、前記の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) ラグビーフットボールの普及発展に関する企画。
- (2) ラグビーフットボールの技術向上に関する企画、及び指導。
- (3) 八尾ラグビーフットボール・カーニバルの開催。
- (4) その他、前記の目的を達成するために必要な事業。

代表者 及び 事務局

代表者 岡島 猛

事務局 上野国彦

事務局所在地 八尾市光南町2-2-13 (電話 91-3112)

沿革

八尾市ラグビーフットボール協会は、注) 八尾ラグビースクールの開設が発端となって、設立された。八尾市体育連盟に加盟しているスポーツ団体の中で、最も新しい協会である。協会の設立は新しいが、八尾におけるラグビーフットボールの歴史は古く、昭和3年(1928年)に八尾中等学校(現 八尾高等学校)一当時、中河内郡八尾村と呼ばれていた一で初めてのラグビーフットボールが行われた。その当時、大阪府下でラグビー部のある中等学校は、数えるほどしかなく、勿論河内の中で八尾が最初にラグビーフットボールを導入したことになる。

注) 八尾ラグビースクールは、昭和58年4月29日に開設され、八尾市内の小・中学校の児童生徒を対象に、ラグビーの実技指導を通して、青少年の心身の健全育成を目標としている。現在、旧中河内郡で唯一のラグビースクールである。

本協会は、市の体育連盟に加盟して2年目であり、八尾市民の方々には、馴染みがうすく、その活動も今のところ、八尾ラグビースクールのみの活動にとどまっている状態である。

今後、本協会の活動として、八尾市内の社会人、クラブ（高校OB）、大学、高校、中学等のチームに協会への加盟を呼びかけ、各チームの技術の向上と発展に寄与するとともに、ラグビーフットボールの普及振興に努めるよう考えている。本協会に対して、八尾市民の方々のご協力ご支援をお願いする所である。

八尾市内のラグビーフットボール・チーム

種別	チーム名	部長	及び	連絡先
社会人	星電気	竹治幸一	八尾市北久宝寺1-4-33	生産管理課 宗森厚樹
クラブ(高校OB)	八尾高OB	武田文男	八尾市光南町2-2-13	上野国彦
クラブ(高校OB)	八尾東高校OB	小林孝二	八尾市神宮寺3-107	八尾東高校内
大学	大阪経済法科大学	中村浩爾	八尾市楽音町602	
高校	八尾高校	合志純夫	八尾市高町1-74	
高校	八尾北高校	川崎政宏	八尾市堂振7	
高校	八尾東高校	小林孝二	八尾市神宮寺3-107	
高校	八尾南高校	田中忠士	八尾市南木ノ木3-1	
高校	山本高校	筒井啓行	八尾市山本町北1-1-44	
高校	清友高校	森口進	八尾市千塚102	
中学校	上ノ島中学校	村橋操	八尾市上ノ島町南6-5-1	
中学校	桂中学校	宮本克己	八尾市桂町3-47	
中学校	高安中学校	萩原雄一	八尾市水越181	
中学校	八尾中学校	大城国夫	八尾市緑ヶ丘1-17	
中学校	曙川南中学校	長田一也	八尾市八尾木167	
スクール	八尾ラグビースクール	岡島猛	八尾市光南町2-2-13	上野国彦

八尾ラグビースクールの現況(昭和60年度)

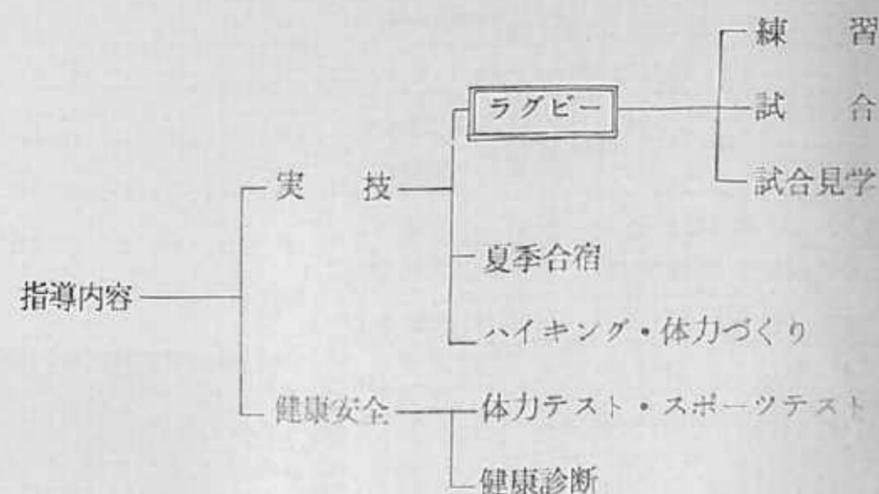
スクールの指導方針

児童生徒の心身の発達に即した指導を行い、子どもたちが伸び伸びと楽しく活動できる学習の場をつくることに努力する。そのため、年齢に応じた運動の時間、質、量、並びに競技規則を考え、しかも子どもたちにラグビーの面白さと、スポーツの厳しさを身をもって会得させる。

また、ラグビーには、身体を強健、敏捷にするという特質の他に、公正、忍耐、協力など、精神面においても、大いにプラスとなる特性が備わってお

り、その二面を併行して、単なるスポーツマンの育成にとどまらず、より立派な人間を育てることを目標としている。

スクールの指導内容

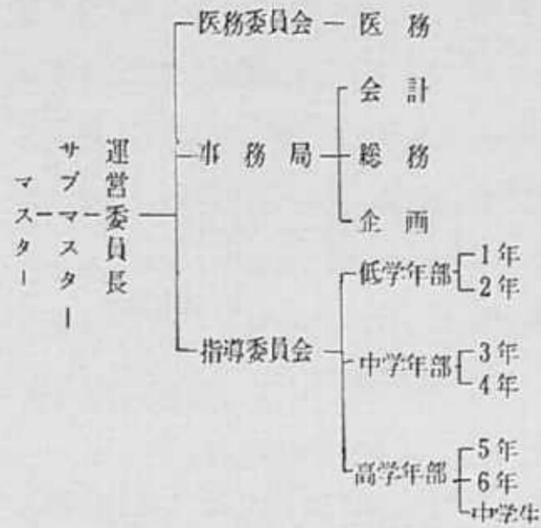


ラグビーの実技を通して、ラグビーをよりよく理解させることは勿論のこと、心身の調和的発達を促進させ、併せて社会的態度の育成を主たる内容とする。また、ラグビーの実技指導だけではなく、季節にあわせて、ハイキング、体力テスト・スポーツテスト、夏季合宿などを計画し、幅広く体力づくりと、諸能力の開発を側面から援助したいと考えている。

スクールの主な年間行事

- (1) 体力テスト・スポーツテスト。
 - (2) 夏季合宿練習(奈良県、天川村洞川高原)
 - (3) 大阪府ラグビーフットボール・カーニバルに参加
 - (4) 大阪府ラグビースクール大会に参加
 - (5) 八尾ラグビーフットボール・カーニバルに参加
 - (6) その他、他地区のラグビースクールとの交歓ゲーム。
 - (7) ラグビーフットボール・ゲームの観戦見学。
- ◎ 毎月3回(日曜日)午前10時～正午、ラグビーの実技練習。

スクールの組織



5. スクール生徒の内訳 (昭和60年5月現在)

・学年別・男女別人数

	幼稚園	小学1年	2年	3年	4年	5年	6年	中学1年	2年	計
男	3	12	7	7	15	14	18	5	6	87
女	0	0	1	1	2	0	1	0	0	5
計	3	12	8	8	17	14	19	5	6	92

・八尾市内の小・中学生

校種	学校名	人数										
小学校	刑部	3	志紀	10	久宝寺	2	八尾	9	永畑	3	竜華	3
	曙川	3	用和	7	長池	3	高安西	7	南高安	4	高美	5
	南山本	4	亀井	1	安中	1	北高安	2	大正	1	山本	1
中学校	八尾	1	成法	2	曙川	3	竜華	1	大正	1	上ノ島	2

・他市の幼・小・中学生

市名	幼稚園	小学校	中学校
大阪市	3	5	1
東大阪市	0	2	0
松原市	0	2	0

大阪府総合体育大会 成績一覧表

年度(回)成績	総合順位	男子総合順位	女子総合順位	種目順位
27(6)				軟式野球 1位
28(7)				軟式野球 1位
31(10)				ソフトボール女子 1位
32(11)				卓球女子 5位
33(12)				卓球女子 3位
34(13)				卓球女子 5位
35(14)				軟式野球 1位、卓球男子 1位
37(16)				卓球男子 1位
38(17)				ソフトボール女子 1位
39(18)	10位	13位	4位	卓球女子 3位、軟式野球 5位、軟式庭球女子 5位、相撲 5位、陸上男子 8位
40(19)	9位	6位	1位	陸上女子 2位、男子 5位、ソフトボール女子 3位、軟式庭球女子 3位、卓球女子 3位、バレーボール女子 3位、相撲 5位、剣道男子 5位、柔道男子 5位、軟式庭球男子 5位
41(20)	5位	4位	5位	剣道男子 2位、卓球女子 3位、男子 5位、陸上女子 4位、男子 5位、相撲 4位、ソフトボール女子 5位、バレーボール女子 5位、柔道男子 5位、軟式野球 5位、軟式庭球男子 5位
42(21)	9位	4位	13位	相撲 2位、軟式庭球男子 3位、卓球男子 5位、柔道 5位、剣道 5位、バレーボール女子 5位、水泳女子 6位、男子 8位
43(22)	5位	7位	2位	バスケットボール男子 1位、相撲 2位、ソフトボール女子 2位、バドミントン女子 3位、水泳女子 4位、軟式庭球男子 5位、柔道 5位、卓球女子 5位、バレーボール男子 5位、女子 5位、水泳男子 6位、陸上女子 6位、男子 8位
44(23)	5位	15位	4位	卓球女子 3位、バドミントン女子 4位、剣道 5位、柔道 5位、陸上女子 5位、男子 7位

年度(回)成績	総合順位	男子総合順位	女子総合順位	種目順位
45 (24)	2位	2位	2位	ソフトボール女子1位、バレーボール男子1位、女子2位、サッカー1位、相撲2位、柔道3位、バスケットボール男子3位、女子3位、バドミントン女子4位、卓球女子5位、陸上女子5位、男子7位
46 (25)	6位	16位	3位	ソフトボール女子1位、卓球女子2位、バドミントン女子4位、軟式庭球男子5位、バレーボール男子5位、女子5位、陸上女子5位、男子6位
47 (26)	4位	7位	5位	卓球女子2位、バスケットボール男子2位、バドミントン女子3位、相撲4位、バレーボール男子5位、卓球男子5位、柔道5位、剣道5位、軟式庭球女子5位、サッカー5位、
48 (27)	6位	5位	7位	卓球男子1位、バレーボール女子1位、バスケットボール男子2位
49 (28)	4位	8位	3位	バレーボール女子1位、卓球女子2位、男子3位、バスケットボール男子2位、女子2位
50 (29)	7位	7位	7位	バスケットボール男子1位、女子5位、卓球男子2位、陸上女子5位、バレーボール男子5位、女子5位、ソフトボール女子5位、軟式庭球女子5位
51 (30)	5位	6位	6位	ソフトボール女子1位、卓球男子2位、女子2位、バスケットボール男子3位、女子5位、柔道3位、サッカー3位、軟式庭球女子5位
52 (31)	5位	4位	6位	卓球男子1位、女子3位、軟式野球1位、バレーボール女子2位、男子5位、バスケットボール男子3位、剣道5位、陸上女子6位
53 (32)	10位	9位	8位	卓球男子2位、バスケットボール男子2位、駅伝競走大会2位、ソフトボール女子3位、バドミントン女子5位、陸上女子6位、バレーボール女子5位

年度(回)成績	総合順位	男子総合順位	女子総合順位	種目順位
54 (33)	6位	5位	7位	バスケットボール男子1位、女子3位、卓球男子2位、女子3位、ソフトボール男子2位、テニス男子2位、ハンドボール男子3位、女子3位、陸上女子5位、バドミントン男子5位、女子5位、柔道6位、弓道7位
55 (34)	2位	1位	3位	剣道1位、バスケットボール男子1位、女子1位、弓道1位、卓球女子3位、男子5位、ハンドボール男子3位、女子3位、柔道4位、テニス男子3位、軟式野球5位、バドミントン女子5位、バレーボール男子5位、女子5位
56 (35)	4位	3位	11位	バスケットボール男子1位、女子3位、卓球男子2位、柔道3位、ソフトボール男子3位、テニス男子3位、剣道5位、軟式庭球女子5位、バドミントン女子5位、ハンドボール男子3位、弓道8位、バレーボール男子5位
57 (36)	8位	6位	10位	剣道2位、卓球男子2位、女子3位、バスケットボール女子3位、軟式庭球男子5位、バレーボール女子5位、ソフトボール男子5位、バドミントン男子5位、女子5位、柔道6位
58 (37)	4位	2位	7位	バドミントン男子1位、軟式野球1位、卓球女子1位、男子2位、ソフトボール男子2位、バスケットボール男子3位、弓道4位、テニス女子5位、男子5位、バレーボール女子5位
59 (38)	6位	3位	9位	卓球男子2位、女子3位、テニス男子3位、ソフトボール男子3位、軟式庭球女子5位、軟式野球3位、陸上男子5位、弓道6位

 We want you to put in the splendid life with wonderful things.



あらゆるギフトの総合メーカー

GIFT
all gift & novelty maker

いつだって気をつけているのです。
もらって嬉しいもの・楽しいもの・便利なものをも贈る側からより、
もらう側の気持ちになって喜んでもらえるかな、使ってもらえるかな。
これが岩田良産品創りの基本です。

- 札幌営業所 ☎011-231-6550 ●仙台営業所 ☎0222-65-3391 ●東京営業所 ☎03-663-1245-7
- 横浜営業所 ☎045-261-8631 ●名古屋営業所 ☎052-203-1131 ●大阪営業所 ☎06-343-5212-3
- 広島営業所 ☎0822-27-5170 ●福岡営業所 ☎092-411-7026-7 ●岡山営業所 ☎0862-25-6541

贈る楽しさ 贈られる喜び
 株式会社 **岩田良**
本社 〒581 大阪府八尾市西山本町1-2-35
TEL 0729(99)2345(代表)

祝

労災・各種保険取扱

ヘルストロン ほねつぎ

柴田整骨院

院長	柴田英一
	柴田宗孝
	小堀達也
	福田直

八尾市本町2丁目8番18号

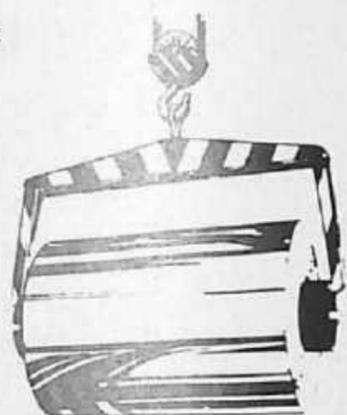
TEL(0729)91-2174 自宅(0729)22-2370
94-0503



八尾製造所全景

アルミ箔・アルミ板・アルミ粉・アルペースト製造・販売

21世紀の金属
アルミニウムに取組む



Toyal 東洋アルミ

八尾製造所：八尾市相生町4-1
本社：大阪市東区南久太郎町4-25
(大和ビル)

女性に好かれる

ゴルフ・ボウリング・麻雀等の商品はぜひ……

婦人用品の **かもじや**

資生堂化粧品

ガンゼ アングル 肌着

ワコール

八尾ファミリーロード

TEL (23) 1525

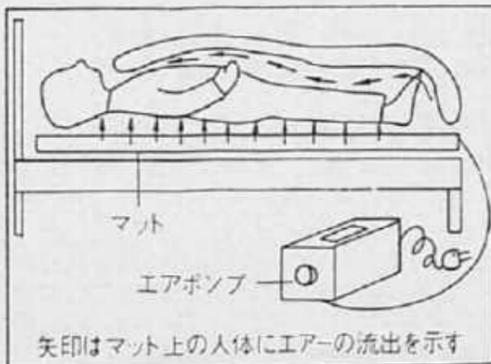
エアースペシャル型 特許 **サンケンマット®**

◇寝たきり病人や看護者に朗報◇

※従来の床ずれ治療器と根本的に原理が異り、空気を噴き出し、皮膚を乾燥状態に保ちます。



- ◇病人独自の悪臭を追放することが認められた。
- ◇一般の健康人の使用にも寝具がむれず衛生的で、特に寝返りの不能な幼児や老人の褥瘡、しっしの防止に大役を果たして居ります。
- ◇重症の長期床ずれ患者で御使用後早い方は5日位より患部の乾燥と回復徴候を発見でき、使後も良くなり、その実績は医師、看護婦の方々より高く評価されました。



厚生省日常生活用具造器品 **エアースペシャル**

特長

- 1 調節器も特許の防音装置で25ホーンと無音状態です。
- 2 一日の電気使用代は約5円と最も格安です。
- 3 マットは一般の敷布団は不要で、硬軟が出来ます。
- 4 汚れにはブラシ水洗が可能で、防水速乾性です。

特許 サンケンマット
医理化機
器製造元



特許 試験管立
三和化研工業株式会社
本社工場 〒581 大阪府八尾市太田新町2丁目41番地
TEL 0729 (49) 7123 (代)・FAX (49) 0007

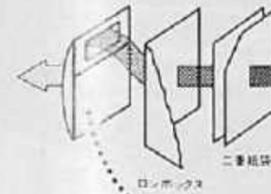


SHARP

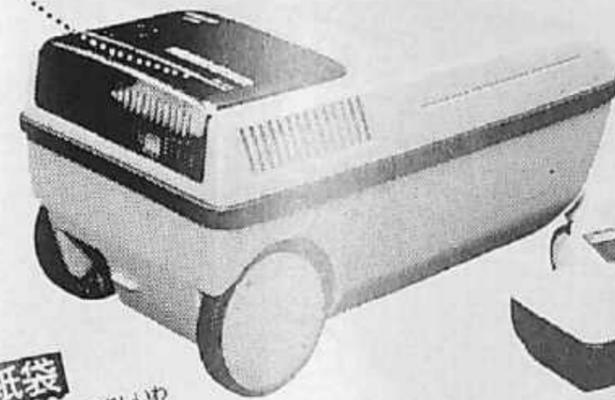
うちの子もよくノドを痛めます。

さっそく、**ミクロン掃除**にしました。

ミクロンフィルター
静電気の働きで、2ミクロンのホコリもとれるのだ



小児ぜんそくやアレルギーの原因のひとつといわれているカビやダニの粉など、ミクロン単位の小さなホコリもキャッチ。健康を考慮の設計です。
(1ミクロン=1/1000mm)



モーターつきだけど、コンパクトで使いやすいですよ

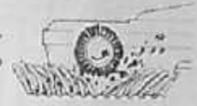
二重紙袋
ゴミ袋がラクなのもうれしいわ



たまったゴミは、バックしてそのまま紙袋ごと取り、この袋とゴミボックスで、5ミクロンまでのホコリもキャッチします。

パワーブラシ
毛足の長いシャギーのじゅうたんもラクにお掃除

モーターが回転ブラシをまわし、じゅうたんの毛足の奥のホコリもかさだすように吸いこみます。



上手に持って上手にお掃除

最近、近所のおかあさん方の中で話題になるのが、小児ぜんそくやアレルギーのこと。こまかいホコリがよくないと知って、お掃除には気をつけています。そこでこのミクロン掃除、さっそくはじめました。



シャープ掃除機
ドラク **Dr. クリーン**
EC-A81P(W)本体(R)レド 標準価格43,000円
●家具にやさしいソフトブラシ ●吸込仕事率160W ●低重心スタイル ●ロングホース ●ロングホース開閉吸込口つき ●本体寸法:長さ435×幅260×高さ218mm ●本体重量:4.7kg
大阪市平野区にお住まいの
高嶋 朱実さん
長男 良樹ちゃん

シャープ株式会社 ●お問い合わせは……シャープ株式会社 電化システム事業本部・ランドリーシステム事業部営業部 〒545 大阪市阿倍野区長池町22番22号 TEL.06-621-1221(大代表)

SMFT
TENNIS
BALL
赤Mボール

M

今、軟庭の未来をめざす！
一段と輝きをまして！！
本場アメリカへ、そして世界へかぎりないドラマをお届けします。

RUBBER BASEBALL
軟式野球ボール
エスチーボール

(全日本軟式野球連盟公認球)

- L号(一般用) ●A号(中学生用) ●C号(小学生用)
- D号(小学生低学年用)オレンジ ●バッティングセンター専用L号

SHOWA
SHOWA RUBBER CO., LTD. 福岡・大阪

東京・名古屋

老人病専門

関屋病院

奈良県北葛城郡香芝町関屋
デンワ 07457 (7) 2434

老寿サナトリウム

河内長野市小山田
(南海高野線千代田駅西へ2km)
デンワ 0721(55)0200

弘生会病院

東大阪市長堂2-92
デンワ 06(781)2791

院長 北畑金治

祝

柔道衣・剣道衣・空手衣

綿織物・PR用品・印入ハッピー・各種染物

(株) 田 渕 商 店

代表取締役 田 渕 悟

八尾市太田1丁目148

TEL (0729) 49 { 5557 番
5692 }



アチ印 各種建築金物製造

西村蝶番工業株式会社

代表取締役社長 西村 忠次郎

〒581 大阪府八尾市千塚170番地
電話 (0729) 41-8681 番(代表)

発展する東・南大阪を結ぶ 八光信金ネットワーク

平野支店	山本支店	柏原支店	松原支店	国分支店
古市支店	河内支店	中野支店	初芝支店	小阪支店
布施支店	弥刀支店	城東支店	寝屋川支店	河内長野支店
長吉支店	恵我之荘支店	八尾北支店	北山本支店	恩智支店

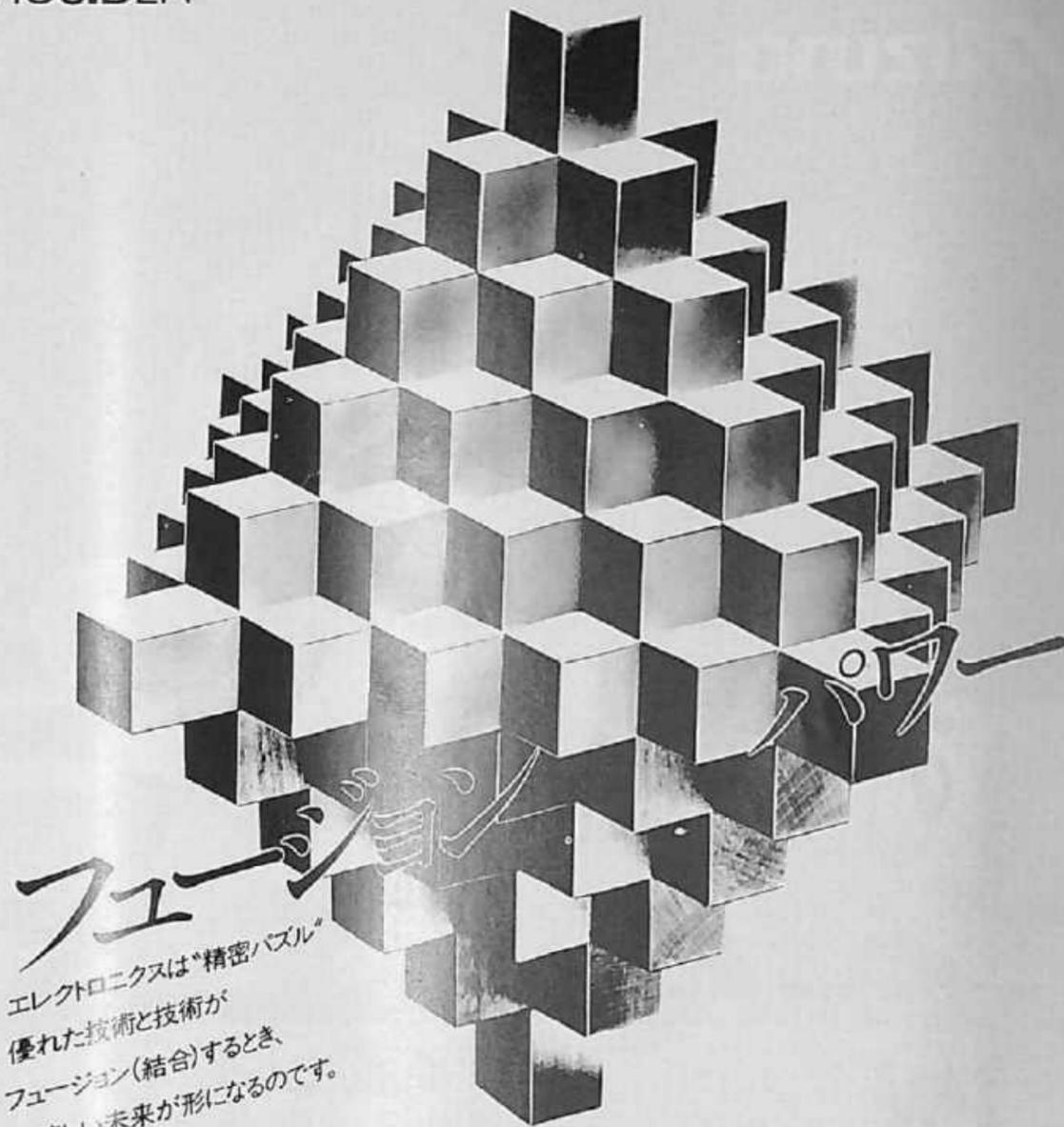
いつも身近に



八光信用金庫

本店 八尾市本町2丁目8番1号
TEL 0729 (23) 1981(代)

HOSIDEN



フュージョン
エレクトロニクスは「精密パズル」
優れた技術と技術が
フュージョン(結合)するとき、
素晴らしい未来が形になるのです。

「プラス1が、3にも10にもなる不思議算...それは技術と技術のたし算です。私たちの歴史はいつも、画期的で有益な技術のフュージョン(結合)によって変革されながら、進んできました。そして今——暮らしを変え、時代を変える新しいフュージョンパワーが、続々と誕生しています。CATV、文字多重、CAPTAIN、衛星放送といった情報手段。そしてLSIをはじめとするマイクロエレクトロニクスの進歩。ホシデンの技術と情熱は、こうした多様なニューメディアをますます高度化すると同時に、より身近な存在へと変えてきました。明日のコミュニケーションのために、私たちは情報化社会の推進力としてお役に立ちたいと考えています。

主要品目: コネクタ・スイッチ・モータ・ソレノイド・サーキットプロテクタ・ヘッドホン・マイクロホン・液晶表示素子

星電器製造株式会社

本社	〒561 大阪府八尾市北久安寺1丁目4番33号 電話 0729 33 1010	ホシデン・グループ	星電器・東北星電・新得星電・中部星電
大阪営業部	〒561 大阪府八尾市北久安寺1丁目4番33号 電話 0729 33 1010		星電精工・星電子工業・星電化成・徳島星電
名古屋営業所	〒471 愛知県豊田市中野町2-1026 電話 0565 80 5711		星電・九州星電・韓国星電・台湾星電
東京営業部	〒222 横浜市都筑区北山町04 電話 045 541 7221		HOSIDEN AMERICA・HOSIDEN SINGAPORE・デュッセルドルフ駐在事務所・オーストラリア
北関東営業所	〒372 群馬県伊勢崎市府前町329 電話 0730 32 1131		

文化書道 藤蔭書塾
墨友会

会長 吉川勝美 (号藤蔭)
顧問 三藤隼男 (号藤蔭)

八尾市教育書道協会会長

〈みふじ文化教室〉

☆書道・ペン習字

☆総合手芸

☆琴・三絃

八尾市公民館講師 三藤隼男 号藤蔭

” 三藤さく子 号香春

日本当道音楽会 三藤寿英 (菊重精峰)
菊友会所属

教室 八尾市水越407 TEL 41-0828

医療法人 麩齒会

もりかわ歯科

初診受付随時

●西武百貨店診療所

八尾市光町2-60(八尾西武7階)

休診日・木曜日(日曜日診療) TEL 97-1304

●八尾本町診療所

八尾市本町5-4-7(八尾表町、富士銀行前)

休診日・日曜日 祝日 TEL 91-9700

●志紀診療所

八尾市志紀町2-42-14

(志紀駅西、阪南信用金庫南側)

休診日・日曜日 祝日 TEL 49-4673

祝

八尾市体育連盟30周年

八尾市
バドミントン協会

会長 山口 博一

MIZUNO 美津濃 特約店
ZETT ゼット

スポーツ用品のデパート

株式会社 近江スポーツ

八尾市陽光園二丁目五番二八号
(国鉄八尾駅前)

電話 八尾(0729) { 22-2688
22-5884
92-1361

健康保険取扱

医療法人 崇仁会

小室 齒科 久宝寺診療所
上六診療所
(近鉄上六百貨店5F)

TEL { 0729(94)5661 番
06(772)4181 番

まごころ鮮やか、選べる西武。

西武の商品券

全国の西武百貨店、西友ストア、PARCO、
各種レジャー施設などをご利用いただけます。

お買物も世界のほんものから、
美術観賞、一流レストランのお食事、旅…と、
先様のお好みや個性を生かせるまごころギフトです。

近鉄八尾駅前



八尾

本館定休・0729-97-0111大代表

取扱商品券種

500円、3,000円、5,000円、10,000円、20,000円、30,000円、50,000円、100,000円

地域社会に貢献する総合建設業

中川建鉄株式会社

代表取締役 中川 健一

本社 〒581 大阪府八尾市老原8丁目3番地
TEL (0729) 91-2720 代 FAX (0729) 94-7867
奈良支店 〒630 奈良市福智院町29-1
TEL (0742) 26-0473
泉佐野支店 〒598 大阪府泉佐野市日根野3959-4
TEL (0724) 62-5071 代

日々多忙、責任ある年代—健康な体でいつまでもアクティブライフ

サウナ &
アスレチック



近鉄八尾駅前

八尾市光町1-53
☎ 0729-97-8515

地元と
共に
栄える

心のふれ合いを大切に...

大阪府八尾市春日町2丁目6番6号
福寿信用組合
八尾支店
☎ 0729(23)0284代

★ 営業時間 土曜・日祝日 午前8時～午後9時
平日 午前9時～午後9時

BG ベストゴルフセンター

八尾市安中町9丁目1-12
国鉄八尾駅より歩いて8分
TEL 0729-22-2004(代)

ヒマシ油誘導体とその他の化学品



豊国製油株式会社

取締役社長 今川金治

〒581 大阪府八尾市荒原4丁目170番地
TEL 0729 (49) 4121 代表

mikiHOUSE®

三起商行株式会社

〒581 大阪府八尾市大窪936番地
TEL 0729 (41) 3225 (代)

しあわせをみんなに

 **八尾市農協**

組合長理事 森岡安治郎
役・職員一同

本店（農協会館）〒581 八尾市南小阪合町2丁目1番2号
☎ 0729 (96) 1717 (代)

未来を見つめ
考え創造する...



プラスチックの総合メーカー



ヤマトエスロン株式会社

本社工場	〒581	大阪府八尾市本町1丁目5番15号	電話 八尾(0729)	93-2251 番代
大阪工場	〒581	大阪府八尾市東本町5丁目1番31号	電話 八尾(0729)	91-1261 番代
関東工場	〒327	栃木県佐野市栄町5番4	電話 佐野(0283)	24-4131 番代
福岡工場	〒811-31	福岡県粕屋郡古賀町大字青柳2843番2	電話 古賀(092)	943-2414 番
静岡工場	〒437	静岡県袋井市延久字高田270番1		

総合建設請負・設計施工

株式会社 **堂前建設**

代表取締役 堂前 春義

〒581 八尾市西山本町1丁目1番32号
TEL (0729) 事務所 97-6724
工場 99-9287
自宅 99-6963

日本金属産業株式会社

代表取締役 吉田 八郎

大阪府八尾市北亀井町2丁目5番21号

電話(0729) 23-1288 代表
92-1826

天然銘木

安多化粧合板製作所

代表者 安多重忠

八尾市太田新町7丁目163番地
TEL (0729) 49-5746 (代)



クラシックバレエ
モダンバレエ・リズムダンス

あづみ **安積由高バレエ団**
安積バレエ研究所

(本部教室) 八尾市旭ヶ丘5-1
〒581 TEL 0729-22-7391
(支部教室)

八尾市・柏原市・富田林市・羽曳野市・大阪市・東大阪市・
大東市・高槻市・豊岡市・八尾町

輸入管楽器・手工弦楽器・教育用楽器

アルト楽器社

大阪市旭区森小路2丁目11番28号
電話(06)951-7018
京阪森小路駅前商店街中央角

内科・小児科・外科・整形外科

(救急労災指定)

医療法人 銀生会

今川病院

近鉄八尾駅東側 ☎ 0729-93-5761

祝 八尾市体育連盟30周年

上野機工

代表者 上野 國彦 (八尾高九期卒)
(八尾ラグビースクール事務局長)

店 八尾市高美町4丁目17 TEL 0729 (91) 3142(代)
自宅 八尾市光南町2-2-13 9346

雑誌・書籍・参考書・文具

(株) 梅村書店

本店 八尾市北本町2-15-32
TEL 0729-97-8571
西店 八尾市本町7-13-17
TEL 0729-22-3015

大石鉄工建設(株)

代表取締役 大石 孝

八尾市志紀町1-15 TEL (0729) 49-3558 (代)

大阪菓子工業団地協同組合

理事長 野村三男
副理事長 溝田伍兵
専務理事 上野忠数

'80年代の健康を考えた

ミルミルE
ビフィズスヨーグルト・はっ酵乳100ml

おなかのなかのよい菌の代表選手、
ビフィズス菌が生きています。
健康時代の注目のビタミン「E」が
おぎなえる

大阪東部ヤクルト販売株式会社

〒581 八尾市東山本新町3-6-4
電話 (0729) 96-8960

大阪府八尾市日中友好協会

会長 福本昭三

大阪ユーキ塗料株式会社

代表取締役 指吸武志

本社・工場 八尾市相生町1丁目8-43 TEL 0729-91-1525
東京出張所 東京都墨田区錦糸4丁目11-12 TEL 03-622-7919

祝 八尾市体育連盟30周年

株式会社 加藤数物製作所

代表取締役 加藤泰一郎 (八尾高3期卒業)
(八尾ラグビースクールサブマスター)

本社 八尾市安中町5-5-46 TEL 22-2843(代)
FAX 91-1135
大阪営業所 大阪市西区立売堀1-9-11 TEL 531-2484(代)

祝 八尾市体育連盟30周年

カワイ事務機株式会社

キャノンOA機器サービス代行店

南野 勝

〒581 本社 八尾市田井中4丁目55 TEL 0729(49)7833
〒543 大阪営業所 大阪市天王寺区清水谷町18-18 TEL 06(764)7551

祝 八尾市体育連盟結成30周年

和洋酒・調味料・食料品・たばこ

川上酒店

八尾市二俣266番80

TEL (0729) 98-2446

装う!! 包む!!

新しいパッケージをクリエートします

包装資材 製造及び販売

関西紙工株式会社

八尾市太田新町5丁目30番地 ☎0729(49)4077

建築木材・新建材一式

共盛木材店

長谷部 輝一郎

八尾市緑ヶ丘4丁目18番地

TEL (0729) 99-6053・7187

祝 八尾市体育連盟30周年

鯉ヶ濱

代表者 松本義雄 (八尾高13期卒)

(八尾ラグビースクール指導員)

店 八尾市山本町1-8-26 TEL0729(22)8516

自宅 八尾市東山本新町3-2-19 TEL0729(97)3073



各種印刷

トムソン紙器全般

三京紙工株式会社

代表取締役 梅田 穂

〒581 大阪府八尾市楠根町3丁目17番地

電話 0729-96-1151(代表)

祝 八尾市体育連盟30周年

(株) サンダグリンズ

代表取締役 森田 満 (八尾高15期卒)

(八尾ラグビースクール運営委員長)

本社 茨木市宮町1丁目1-1 TEL0726(36)3377(代表)

自宅 八尾市恩智北町3-60 TEL0729(41)0283

三陽カルチュア加美

少林寺拳法教室

毎週月曜日 PM5:30~9:30

〒547 大阪市平野区加美東7-2-53 TEL06-793-1902

文化と情報を提供する

国鉄八尾駅前

杉安書店

TEL 92-6638

各種ギフト・進物品・カップ・トロフィー

SS 相互進物

〒544 大阪市生野区巽東2丁目12-5
TEL 06(758) 3232 番代
東大阪店(783)6164 番

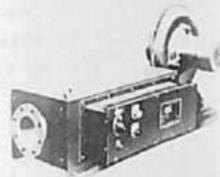
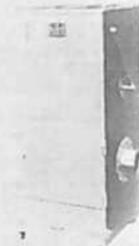
中古車販売 各メーカー新車販売
整備・車検・钣金・各保険

大東自動車

〒547 大阪市平野区加美北6丁目7-28
☎06-792-8454



技術と精神で信頼されたブランド!!



電動送排風機 集塵機 熱風発生機



ファンとブローのコンサルタント
株式会社 高木鐵工所

本社・工場 八尾市太子堂5-1-45
TEL(0729)91-1212#0
東京営業所 (03) 834-6838#0

総合建設業(各種建築設計・施工)

株式会社 竹田工務店

TEL 0729-99-3845

御婚礼布団・和洋寝具

谷村綿店

本町1丁目4-1(市役所前)
TEL 22-2906

★アメリカ業界が"Big one in Japan"と認めた高品質のトムソン刃と豊富なバリエーション。
★躍進するビジネスフォーム印刷に貢献する"横ミシン刃、縦ミシン刃、マーシナルリング、ピン、ダイス他"

株式会社 塚谷刃物製作所

代表取締役 塚谷俊介

本社 八尾市楠根町3丁目39番地 TEL 代表 0729(96)8770
東京営業所 東京都杉並区和泉3丁目59-24 TEL 代表 03(325)8131

欧州車・新車・中古車販売

TUKIMORI

東大阪市川俣2丁目17番地
電話 06-782-0306(代)

高級美術金属板印刷

株式会社 東伸金属印刷工業

八尾市宮町3丁目4番70号
電話大阪(0729)23-0921番

菓子缶・薬品缶・塗料缶・食品缶砂糖缶・海苔缶・茶缶・金属玩具
王冠キャップ・180缶・ペール缶・トイレ・ワックス缶 その他金属印刷

梅田 急 銘 葉 街
 梅田 神 葉 子 街
 アベノ 鉄 銘 葉 街
 上六 鉄 銘 葉 街
 心斎橋 大 丸 銘 葉 街
 なんば 高島屋 東館 銘 葉 街
 八尾 西武百貨店 味の街
 近鉄 東大阪店 銘 葉 街
 布 近 高島屋 銘 葉 街
 横 浜 高島屋 銘 葉 街

風土菓
 桃 林 堂
 大阪府八尾市東本町二丁目一五番一
 電話(〇七二九)九一〇二一六八
 桃 林 堂 陌 草 園
 八尾市山本町南八丁目十九
 電話(〇七二九)三三〇〇三
 桃 林 堂 上 野 店
 東京都台東区上野桜木一丁目一五番一
 電話(〇三三)八二八一九八二六
 桃 林 堂 青 山 店
 東京都港区北青山三丁目一六
 電話(〇三三)四〇〇一八七〇三

八尾市ソフトボール協会 御指定球



NAIGAI BASEBALL
 NAIGAI SOFTBALL

内外ゴム株式会社

ようこそ丸善石油へ **祝**

あなたの町のSSです!
 ぜひお立寄り下さい

丸善石油八尾市サービスステーション



八尾市萱振町1丁目54番地
 TEL (0729) 98-3113(代)

雑誌から専門書まで



ナンバブックセンター

大阪市南区難波3丁目7-20
 TEL 644-5501

(財)全日本軟式野球連盟公認球 (財)日本ソフトボール協会検定球 (財)日本軟式庭球連盟公認球

KENKO KENKO N-ONE
 BALL SOFTBALL TENNIS BALL



スポーツライフをめざす
 長瀬ゴム工業株式会社



NISHIOKA

体育施設のコンサルタント

より堅牢に より機能的に
 豊かな体力づくりに尽くす

西岡体機工業 株式会社

大阪市住吉区南住吉3丁目17番5号
 電話 大阪(06)639-5756~9
 FAX (06)694-5040

主要各社自転車・バイク販売・修理
 自動車販売、車検、定期点検、钣金、保険

まごころサービスと交通安全宣言の店

ニシミネ・サイクル(水曜定休)

近鉄恩智駅東100m天王の森前
 TEL 43-7152

NISSHIN GAUGE MFG. CO., LTD.

JIS表示許可工場 第9998号 圧力計 金属温度計 製造 販売



日新計器株式会社

大阪府八尾市北亀井町3丁目2番3号
 〒581 TEL 0729(94)6200 番代表(総務部・営業部)
 TEL 0729(94)6201 番代表(技術部・製造部)
 本社 大阪・営業所 東京

金 属 印 刷

日東金属工業株式会社

〒581 大阪府八尾市太田7丁目16番地

電話 (0729) 49-6711~5
49-6759



ハマダ卓球

卓球用品のことから技術指導まで卓球に関することでしたら気軽に御相談下さい。

日本卓球協会検定品及び推薦品なら何でもあります

☎ 06(649)5324

〒556 大阪市浪速区難波中1-16-6
(ナンバ府立体育館前入る)

企画から製品まで

ファッションポーチ



おしゃれ袋物の総合メーカー

株式会社パン・クリエーション

代表取締役 荻原孝義

本 社 大阪府八尾市山本町北2-8-27
TEL. 0729-98-2399(代)
第一工場 岡山県英田郡作楽町
第二工場 兵庫県播磨郡御津町
本社工場 大阪府八尾市上之島町

婦人洋品・トリンプファンデーション専門店
(取扱ブランド) ピアジェ・全ブランド・トマツ・キング・馬里邑・他
ファッションクレジット クリスタルカード入会承り中 毎月10,000円コースから

美 晃 堂

御坊前店 八尾市本町5丁目6-11番地 ☎(0729)91-9797

モール店 八尾市北本町2-2 ベントモール ☎(0729)96-5640
八尾三番街19

医薬品・食品包装関連企業

- グラビア印刷
- 各種ラミネート加工紙
- オフセット印刷
- 印刷製袋加工
- 各種自動包装機用フィルム
- その他包装資材

平 野 包 装

〒581 八尾市荘内町1丁目1-7 TEL 0729(93)5417番



渡 辺 哲 也

八尾市北本町2丁目8-3

TEL. (0729) 98-1265

行動する男のカジュアルウェア
おしゃれのゴルフウェア

★DOLCE

★DiMAGGIO

★スラセンジャー

男子専科のことなら

八尾ファミリーロード

フ タ バ ヤ

TEL 0729(22)2292

MAX石鹸本舗

株式会社 マ ッ ク ス

本 社 大阪府八尾市植松町2丁目9-29
電話 八尾 (0729) 94-5050番(代)

総合プロパンガス

家庭用・業務用・工業用(金属熱処理)・工業用(工業用熱源)・
オートガス自動車用器具燃焼装置・配管発生装置設計施工
白灯油・重油

松本興産(株)

本社完備所 八尾市跡部北ノ町1丁目2-1 TEL(0729)91-3421(代)
オートガスタンク

丸協石油株式会社

八尾市太子堂4-4-29

社長 坂上 節 哉



MGV5 ¥4,850
排定球5号・スーパーソフト
国際公認球・天然皮革

ロサンゼルスからソウルへ

'88ソウルオリンピック大会
バレーボール公式試合球
1985ユニバーシアード
神戸大会公式試合球



大阪プロ調理師会常任理事

みやこ

創業大正15年
おんじ

日本料理

美家古

ヨイ オオイコー

☎0729(八尾本社)41-0015(代)・☎0723(松原)37-0666

☎0729(東大阪)85-5539・☎0729(藤井寺・羽曳野)56-1811

人の和と奉仕をモットーとしております。
労務、経営管理の相談指導、手続届出代行一切

村田社会保険労務事務所

社会保険労務士 村田 孝之助

☎581 八尾市山本町北6丁目8-13
TEL (0729) 97-1203



八尾市体育連盟結成 30周年記念

お好み焼。
定食類。
軽食。



八尾市役所通り(青果市場前)
八尾市本町5丁目1-39
TEL 0729 22-2853
94-4203

八尾商工会議所

今日の健康、明日の幸せ

クスリ の事なら 安さと品揃えの 八尾阪神薬局

北本町ニチイ前店	八尾市北本町2-12-32	☎	22-6514
御坊ジャスコ前店	八尾市本町5-6-12	☎	91-5034
竜華市場前店	八尾市植松町5-5-12	☎	94-9218
南植松本店	八尾市南植松町3-13-2	☎	93-5137
天満店	大阪市北区天神橋5-1-4	☎	06-352-9364

六角ボルト } 製造販売
各種ネジ }

八尾ネジ製作所

大阪市平野区加美北9-11-2
☎ 06-792-4214

八尾ロータリークラブ

八尾市本町2丁目2番8号
八尾商工会議所会館内
(0729) 91-2129番



知事許可販売店

安井米穀店

恩智店 八尾市恩智中町1丁目6-1
TEL 0729 (43) 7170
老原店 八尾市老原4丁目2-4
TEL 0729 (92) 5454

1級建築士事務所
総合建築設計施工

山下建設株式会社

代表取締役 山下 豊史

東大阪市上小阪1丁目2番3号 TEL. (06) 721-1834

山信建設株式会社

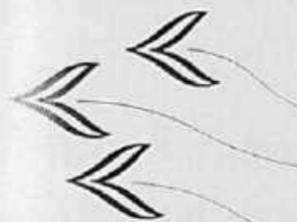
本社/八尾市春日町1丁目4番13号(山信ビル)

☎ (0729) 94-7822代

全戸長期住宅ローン付

第1期分譲予約開始販売価格1,590万円より

国鉄関西線「八尾駅」歩2分 今回分譲戸数〈20戸〉



私たちのテーマは美しさの開発です

株式会社  ラッキーコーポレーション

本社 〒542 大阪市南区南船場1丁目12番13号 ☎ 06(261)1234代

八尾物流センター 〒581 大阪府八尾市西高安町1丁目39番地 ☎ 0729(99)1111代

LUCKY

東京支社 名古屋支店 福岡営業所 札幌出張所



メンズショップ ルイ

〒581 八尾市北本町1-2
ベントモール八尾2-11
Phone (0729) 23-0275

祝 30周年

社団法人 八尾青年会議所

八尾市体育連盟結成30周年記念事業の経過

昭和59年6月7日 昭和59年度第1回理事会において、結成30周年記念事業について提案する。

- 〃 7月24日 役員会開催（第2回理事会に向けて案件の検討）
- (1) 記念事業の内容、予算について
 - (2) 記念事業実行委員会の組織と分担
 - (3) 記念式典、功労者顕彰について

- 〃 10月8日 第2回理事会開催
- (1) 記念事業実施を承認
 - (2) 記念事業実行委員会を設置
 - ・各部会（総務部会、編集部会、式典部会）にわかれて第1回の部会を開く。（部会長、副部会長を選出）

昭和59年10月8日 ◎総務部会（計3回開催）

- （ 11月9日 第2回） ・記念事業予算案の作成
S60 2月22日 第3回） ・協賛団体の抽出、趣意書の作成、発送
・功労者顕彰要領案作成

昭和59年10月8日 ◎編集部会（計4回開催）

- （ S60 4月2日、第2回） ・記念誌部数、内容（ページ割等）、協会分投稿期日等設定
6月20日、第3回） ・記念誌諸経費の算出
8月9日、第4回） ・印刷業者の選定
・校正作業

昭和59年10月8日 ◎式典部会（計4回開催）

- （ 11月6日、第2回） ・式典日時の設定、会場の確保、司会者等の手配
S60 5月8日、第3回） ・当日の準備等の各協会任務分担。（動員の確保）
8月30日、第4回） ・案内状、感謝状、式典プログラム原案作成
・参加記念品の選定

昭和60年4月9日 昭和60年度第1回理事会

(1)式典期日の決定（9月28日）

(2)各部会より経過報告、各部会提出案件の承認

昭和60年6月27日 ◎顕彰委員会開催

- ・各協会より提出された顕彰候補者の審査、決定
- ・顕彰者の追加決定

〃 8月9日 第2回理事会

- (1) 式典期日を11月9日に変更
- (2) 記念事業予算の補正案を承認

〃 10月3日 第3回理事会

- (1) 各部会提出案件の承認
- (2) 校正作業

あとがき

八尾市体育連盟結成30周年を迎え、記念誌を発行することになりました。この種の刊行に当って最も苦心するのは、創成期の記述であります。幸い、事務局からはほう大な書類の中から貴重な記録を抜き出して提供いただきましたし、各協会からも積極的なご協力をいただき、やっと発行することができました。

編集作業を通じ、八尾市体育連盟の事業をはじめ、各協会の事業や過去の記録をふりかえりながら30年間の活動の重みと、ご苦勞の跡を改めてつかむことができました。ここまでの礎を築いていただいた先人の功績に深く感謝し、贖辭を送りたいと思います。

又、この記念誌を発行するにあたり、常にご指導ご支援を賜っている方々からご祝辭を頂戴し、この記念誌に重味を加えていただいたことについても厚くお礼申しあげます。

結果については、できるだけ正確を期し、体育連盟の変遷が一望できるよう系統的にまとめたつもりです。そのため、紙面に制限を加えたり、ご無理をお願いした部分もございますがご了承頂きたいと思えます。なお、中には重要な箇所を抜かしたり、誤った表記も出てくるかも知れません。お気づきの方はその都度ご指摘下さい。改めて正して行きたいと考えております。

この記念誌によって、八尾市体育連盟がどのように育って来たか、将来どのように育って行けばよいか語り合う糧になれば幸いです。

発刊に対し、お寄せいただいた関係各位のご厚志に深く感謝を申し述べ、あとがきとします。

八尾市体育連盟結成30周年記念事業実行委員会

大澤秀壽	新居正	鈴木脩弘
三藤隼男	上野国彦	長井良一
柴田英一	上山巍	中西正
中谷俊雄	内田邦夫	中矢富数
山口博一	梅田穂	西峯義人
角倉俊一	小川忠昭	逸民正剛
平田正司	岡本孝史	藤井克造
宮宇地親之	北山徳彦	藤原堅三
	倉地孝	堀博幸
	佐藤茂	松本富美子
	下川智司	山田文也
	新納正彦	吉沢経子

発行年月日 昭和60年11月9日

発行者 八尾市体育連盟

所在地 〒581 八尾市清水町1丁目1番6号

(八尾市教育委員会 体育青少年課内)

電話0729-23-5101

印刷 大阪市北区黒崎町11-14

株式会社 近畿出版印刷

電話 06-371-9669

